



RAW 画像現像／閲覧／編集ソフトウェア

Digital Photo Professional




Ver.2.2

使用説明書

● 本使用説明書上のおことわり

- 名称の Digital Photo Professional を DPP と表記しています。
- Mac OS X 10.3 を使用した画面を例に説明しています。
- ▶ の手順は、プルダウンメニューの選択順序を示しています。
(例：メニューの [表示] ▶ [整列] ▶ [ファイル名] を選ぶ)
- [] 内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- < > 内の語句は、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
また、クリックすると参照ページが表示されます。
-  : 注意事項です。
-  : 補足説明です。

● ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
 -  : 次ページ
 -  : 前ページ
 -  : ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された章見出しをクリックすると、章目次のページが表示されます。さらに、目次の読みたい項目をクリックするとそのページが表示されます。

● ヘルプとショートカットキー

- メニューから開くヘルプも参照してください。
- 迅速な操作に有効なショートカットキーは、ヘルプの「ショートカットキー一覧」を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

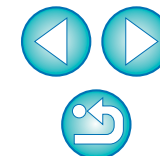
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



デジタルフォトプロフェッショナル ディーピーピー
Digital Photo Professional (以降 DPP と表記) は、EOS DIGITAL
カメラ用の高性能 RAW 画像閲覧/現像/編集ソフトウェアです。RAW 画像
は、一般的な JPEG 画像に比べ、取り扱いが難しいと思われがちですが、
DPP を使用すると、高度で多彩な編集や RAW 画像の印刷を簡単に行うこと
ができます。

RAW 画像とその特長

RAW 画像ってなに？

RAW 画像は、撮像素子の出力をそのまま記録した画像データです。撮影時
にカメラ内部での画像処理は行わず、「RAW 画像データ + 撮影時の画像処理
条件の情報」という特殊な形で記録されているため、画像を見たり編集する
には専用のソフトウェアが必要です。

※「RAW」とは「生の」や「そのまま」の意味です。

RAW 現像ってなに？

RAW 画像は、フィルムでいえば撮影済で未現像状態（潜像）のような概念
になります。

フィルムは、現像してはじめて画像が現れますが、この RAW 画像もその
後の画像信号処理を行わないと、パソコン上で画像として見ることはできま
せん。

そこで、この処理のことをデジタルでも「現像」と呼び、EOS DIGITAL
では、DPP を使用して行います。

なお、DPP では、特に現像処理ということ意識することなく、RAW 画
像の閲覧、編集、印刷などを簡単に行うことができます。

RAW 画像のメリットは？

RAW 画像は、「RAW 画像データ + 撮影時の画像処理条件の情報」という
形で記録されています。DPP で RAW 画像を開くと瞬時に現像が行われ、撮
影時の画像処理条件の情報が適用された画像として見るすることができます。

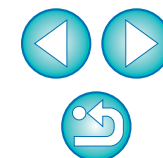
また、開いた画像にさまざまな編集（その都度、自動現像処理）を行って
も、画像処理条件（現像条件）が変更されるだけで、「オリジナル画像データ
そのもの」はまったく変わりません。したがって、劣化をまったく気にする
ことなく、撮影後にじっくりと画像を創り上げる「作品派」ユーザーにぴっ
たりの画像データであると言えます。

なお、DPP では、DPP で編集できる「画像処理条件の情報」を「レシピ」
と呼んでいます。



RAW 画像データ

画像処理条件の情報



DPP できること

パソコンに取り込んだ画像に対し、主に次のことができます。

- RAW 画像の閲覧／整理
- RAW 画像のリアルタイム編集
- ピクチャスタイルの自由な適用
- 切り抜き（トリミング）や画像サイズの変更
- 自動ゴミ消し処理
- RAW 画像から JPEG 画像、TIFF 画像への変換／保存
- RAW 画像の印刷
- 画像編集用ソフトウェアへの画像転送
- 大量 RAW 画像の一括画像処理
- JPEG 画像、TIFF 画像の閲覧／整理
- JPEG 画像、TIFF 画像のリアルタイム編集
- JPEG 画像、TIFF 画像の印刷
- カラーマネジメント対応
- 商用印刷用 CMYK シミュレーション

動作環境

OS (オペレーティングシステム)	Mac OS X 10.2 ~ 10.4
機種	上記の日本語版 OS がインストールされている Macintosh
CPU (シーピーユー)	PowerPC G3 400MHz 以上、G4、G5、Intel プロセッサ
RAM (メモリー)	512MB 以上
ディスプレイ	解像度：1024 × 768 以上 カラー：約 32,000 カラー以上

- UFS (UNIX File System) フォーマットされたディスクには対応していません。

対応画像

本ソフトウェアが対応しているのは、以下の画像です。

	画像の種類／撮影したカメラ	拡張子
RAW 画像	EOS-1D Mark II N EOS-1D Mark II EOS 30D EOS Kiss Digital X EOS D6000*	EOS-1Ds Mark II EOS 5D EOS 20D / 20Da EOS Kiss Digital N EOS D2000*
	EOS-1Ds	EOS-1D
	EOS 10D EOS D60	EOS Kiss Digital EOS D30
JPEG 画像	Exif 2.2、2.21 に準拠した JPEG 画像	.JPG / .JPEG
TIFF 画像	Exif 規格に準拠した TIFF 画像	.TIF / .TIFF

* CR2 Converter で「.CR2」の拡張子が付いた RAW 画像に変換した画像。
CR2 Converter については、弊社ホームページをご覧ください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

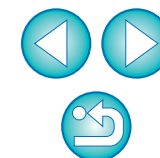
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引





やりたいこと目次

パソコンへの画像取り込み

- カメラをパソコンにつないで取り込みたい → p.6
- カードリーダーを使って取り込みたい → p.35

RAW 画像の閲覧と確認

- 任意の部分を素早く拡大したい → p.9
- 画像を分類したい (チェックマーク) → p.15、p.16
- 一覧表示 (サムネイル) の画像を鮮明にしたい → p.17
- 撮影日などの撮影情報を確認したい → p.8、p.17

RAW 画像の編集 (調整)

- 明るく／暗く調整したい → p.10、p.18
- 自動調整したい → p.24
- ピクチャースタイルを変えたい → p.19
- 色のメリハリや明暗差をはっきりさせたい (コントラスト) → p.20
- 肌色を健康的にしたい (色あい) → p.20
- 色鮮やかな画像にしたい (色の濃さ) → p.20
- くっきり硬めの画像にしたい (シャープネス) → p.22
- 自然な色あいになるよう調整したい (ホワイトバランス) → p.22
- 白黒やセピア調の画像にしたい (モノクロ) → p.21

- 調整前の画像を見ながら編集したい → p.38
- 画像に写り込んだゴミを消したい → p.43、p.44
- 画像を部分的に切り抜きたい (トリミング) → p.26
- 印刷する用紙サイズにあった縦横比にしたい → p.26
- 効率よく編集したい → p.25
- 画像を撮影時の状態に戻したい → p.28
- じゃまな部分を消したい → p.46

印刷

- 印刷したい
 キヤノンのプリンターできれいに印刷したい → p.30、p.48
 被写体の色を忠実に再現して印刷したい → p.30、p.48
 撮影情報を付けて印刷したい → p.47
 一覧で印刷したい → p.47
- パソコンで見た色と印刷結果の色を近づけたい → p.53、p.54

画像の変換

- RAW 画像を JPEG 画像に変換したい → p.29、p.59
- Photoshop で編集したい → p.46、p.60
- 一括 (バッチ) 処理をしたい → p.59
- JPEG 画像の編集 (調整) がしたい → p.62

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

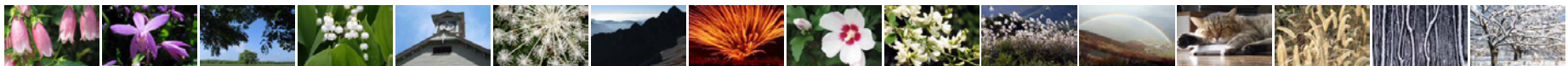
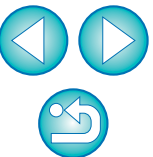
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



1 かんたんな基本操作



カメラで撮影した画像をパソコンへ取り込む方法から、取り込んだ RAW 画像の確認、編集、保存、印刷までの基本的な操作の流れについて説明します。

DPP を開く.....	6
パソコンに画像を取り込む.....	6
画像を見る.....	8
メイン画面で画像を一覧する.....	8
画像の大きさを変える.....	8
編集画面で画像を拡大して見る.....	9
特定の箇所を拡大して見る.....	9
画像を調整する.....	10
保存する.....	11
印刷する.....	12
DPP を閉じる.....	12

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

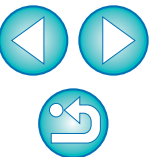
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



DPP を開く

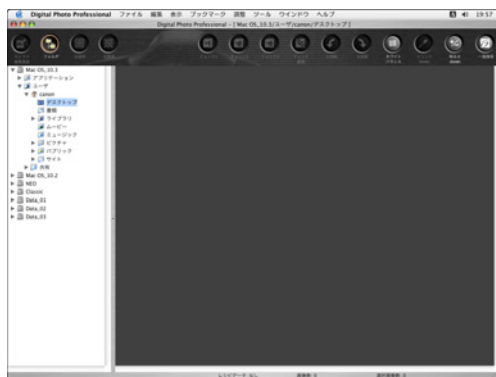
ドック
Dock のアイコンをクリック



→ 起動するとメイン画面が表示されます。



メイン画面



パソコンに画像を取り込む

カメラとパソコンを付属のケーブルで接続して、カメラ内のメモリーカードに保存された画像をパソコンに取り込みます。

なお、画像の取り込みには、カメラ用ソフトウェア「EOS Utility」を DPP から開いて使用します。

1 画像の保存先を選ぶ

- 画像の保存先を、メイン画面左側のフォルダエリアで選びます。
- フォルダを作成するときは、p.34 を参照してください。



2 EOS Utility を開く

- メニューの [ツール] ▶ [EOS Utility を起動] を選びます。



→ EOS Utility が起動します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

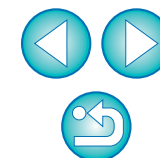
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引

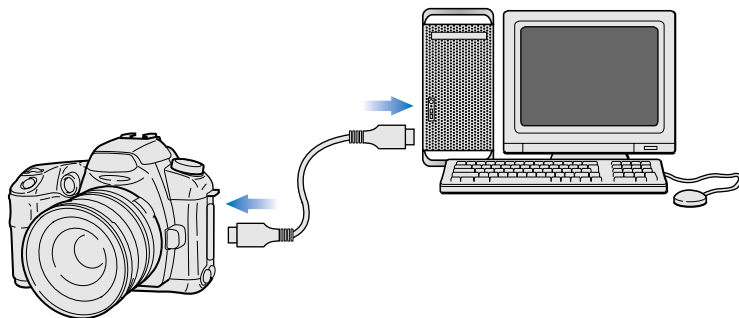


EOS Utility



3 カメラとパソコンを接続してカメラの電源スイッチを入れる


- カメラに付属のインターフェースケーブルで、カメラの「DIGITAL」端子とパソコンを接続します。
- カメラとパソコンの詳しい接続方法は、「EOS Utility 使用説明書」(PDF形式の電子マニュアル)を参照してください。



4 画像を取り込む



- 画像の取り込みが開始されます。
- 取り込まれた画像は、手順 1 で選んだ場所に保存され、DPP のメイン画面に表示されます。

 市販のカードリーダーを使った画像の取り込みについては、[p.35](#) を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

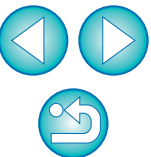
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



画像を見る

パソコンに取り込んだ画像は、メイン画面にサムネイル画像として一覧表示されます。

画像をダブルクリックすると、編集画面が開いて画像が大きく表示されます。

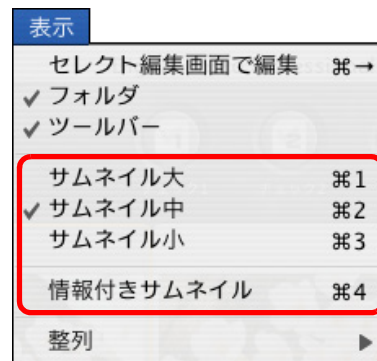
メイン画面で画像を一覧する



画像の大きさを変える

メイン画面で一覧表示されるサムネイル画像の大きさを変えたり、撮影情報付きで表示させることができます。

メニューの【表示】▶ 目的の項目を選ぶ



→ 選んだ項目の表示に切り換わります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

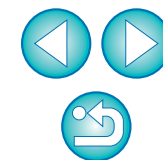
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

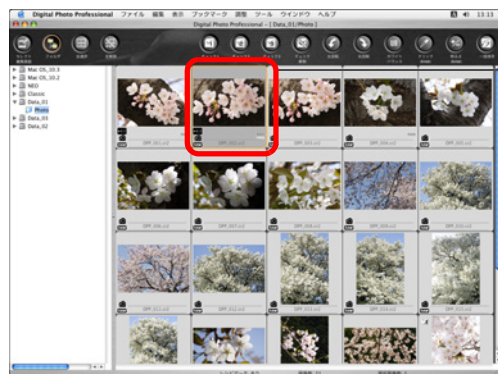
資料

索引



メイン画面の機能一覧は、p.80 を参照してください。

編集画面で画像を拡大して見る



ダブルクリック

→ 編集画面が表示されます。



編集画面



ツールパレット

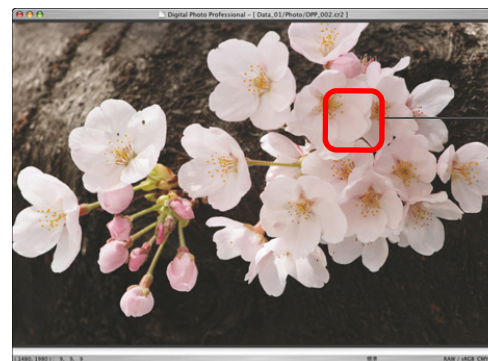
→ 画像が鮮明な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

- 編集画面を閉じるときは、画面左上の【閉じる】を押します。

編集画面の機能一覧は、p.82 を参照してください。

特定の箇所を拡大して見る

拡大したい箇所をダブルクリックする

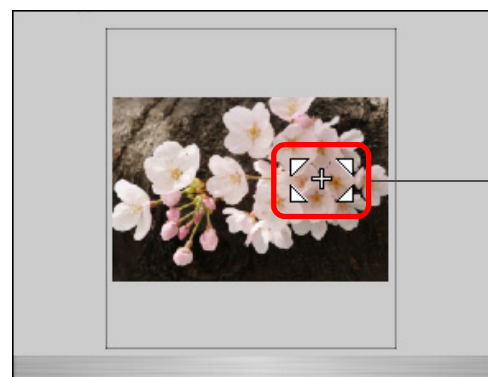


ダブルクリック

→ ダブルクリックした箇所を中心に、100%（ピクセル等倍）の拡大表示になります。

- 表示位置を変えるときは、画像上をドラッグするか、ツールパレットの拡大表示位置をドラッグします。
- 再度ダブルクリックすると全体表示に戻ります。

ツールパレットの拡大表示位置



ドラッグして
拡大表示位置を変える

- 100%表示以外の拡大率に変えるときは、メニューの【表示】▶ 目的の拡大率を選びます。
- 【50%表示】、【200%表示】の状態では画像上をダブルクリックすると全体表示（【画面に合わせる】）になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

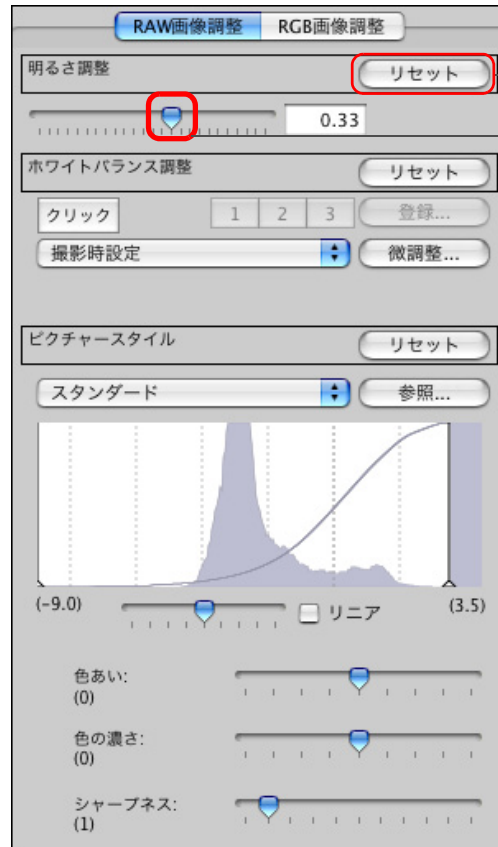


画像を調整する

編集画面のツールパレットを使って、明るさの調整やピクチャースタイルの設定変更など、様々な画像調整を行うことができます。なお RAW 画像では、間違った調整や設定をしても【リセット】ボタンで簡単に元の状態に戻すことができます。色々な調整を試してみてください。

ここでは、例として画像の明るさ調整を説明します。

ツールパレット



調整前に戻す

左右に動かす

→ 調整量に応じて、画像の明るさがリアルタイムで調整されます。

ツールパレットが表示されないときは、メニューの【表示】▶【ツールパレット】を選びます。

DPP では、編集画面の【RAW 画像調整】ツールパレットと【RGB 画像調整】ツールパレット (p.83) を使用して、RAW 画像に以下の調整を行うことができます。また、画像に行った調整内容は、レシピ (画像処理条件の情報) として画像に付けることができます。

調整項目	ツールパレット	
	RAW 画像調整	RGB 画像調整
明るさ	○	○
ホワイトバランス	○	—
クリックホワイトバランス	○	○
ピクチャースタイル	○	—
コントラスト	○	○
色あい	○	○
色の濃さ	○	○
シャープネス	○	○
ダイナミックレンジ	○	○
自動調整	—	○
トーンカーブ	—	○

- どちらのツールパレットで画像の調整を行っても、レシピが変更されるだけで、オリジナルの「RAW 画像データ」そのものはまったく変わりません。
- RAW 画像の調整は、最初に【RAW 画像調整】ツールパレットで行い、さらに調整が必要なときに【RGB 画像調整】ツールパレットを使用するという順序をおすすめします。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

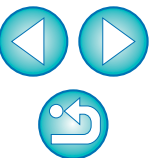
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

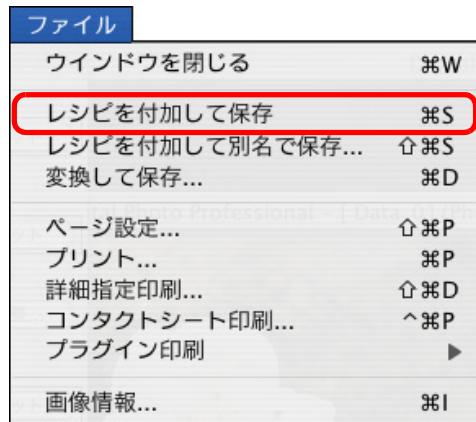
索引



保存する

ここで説明する保存操作を行うと、調整した内容をレシピ（画像処理条件の情報）として RAW 画像に保存することができます。ここでは、例として画像にレシピを付けて保存する方法を説明します。

メニューの【ファイル】 ▶ 【レシピを付加して保存】を選ぶ



→ 調整した内容が画像に保存されます。

DPP では、以下の保存を行うことができます。

- **レシピを付加して保存 (p.28)**
オリジナル RAW 画像にレシピを付けて保存します。
- **レシピを付加して別名で保存 (p.28)**
オリジナル RAW 画像にレシピを付けて、別の RAW 画像として保存します。オリジナルの RAW 画像はそのまま残ります。
- **画像にサムネイルを付加して保存 (p.17) ***
メイン画面のサムネイル画像を作り直し、各画像に保存します。メイン画面の画像が鮮明になり、画像の表示速度も向上します。
- **変換して保存 (p.29)**
調整した RAW 画像を、JPEG 画像や TIFF 画像に変換して保存します。オリジナルの RAW 画像はそのまま残ります。
- **一括保存 (p.59) ***
調整した複数の RAW 画像を、JPEG 画像や TIFF 画像に一括変換して保存します。オリジナルの RAW 画像はそのまま残ります。

* の保存は、メイン画面で行うことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

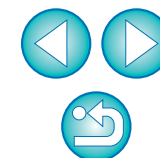
3
高度な機能


4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

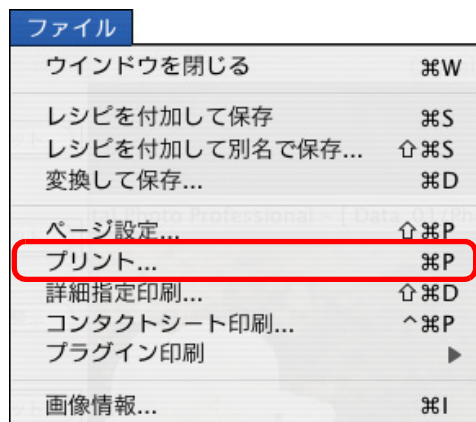


 「レシピ」とは、編集画面のツールパレットで調整した画像処理条件の情報のことです。

印刷する

画像をプリンターで印刷することができます。ここでは、例として1枚の画像を1枚の用紙に印刷する方法を紹介します。

1 メニューの【ファイル】▶【プリント】を選ぶ



→【プリント】画面が表示されます。


2 印刷する

●表示されたプリンターの印刷設定画面で写真印刷に最適な設定にして、【プリント】ボタンを押します。

→印刷が開始されます。

DPPでは、以下の印刷を行うことができます。

- 1枚印刷 (p.33)
- PIXUS / BJ プリンターとの連携印刷 (p.30、p.48)
- 撮影情報付き印刷 (p.47)
- 一覧印刷 (コンタクトシート印刷) (p.47)


 メニューの【ファイル】▶【ページ設定】を選ぶと、用紙サイズなどを設定することができます。

DPP を閉じる

メイン画面のメニューの【Digital Photo Professional】▶【Digital Photo Professionalを終了】を選ぶ



→画面が閉じてDPPが終了します。

 調整した画像を保存していないときは、保存に関する確認画面が表示されます。【はい】を選ぶと、調整した内容(レシビ)が画像に保存(p.28)されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



2 一歩進んだ応用操作

効率的な画像確認から、さまざまな画像編集、キヤノン製プリンターとの連携による RAW 画像印刷、画像整理まで、一歩進んだ操作の流れについて説明します。

画像を効率よくチェック／分類する.....	14
画像进行分类する.....	15
選んだ画像だけをチェックする.....	15
メイン画面で画像进行分类する.....	16
メイン画面の画像を並べ替える.....	16
メイン画面の画像を鮮明にする.....	17
画像の撮影情報を確認する.....	17
編集する.....	18
明るさを調整する.....	18
ピクチャースタイルを変える.....	19
ピクチャースタイルファイルを適用する.....	19
コントラスト（明暗差）を調整する.....	20
色あい、色の濃さを変える.....	20
モノクロのときの調整.....	21
シャープネス（鮮鋭度）を調整する.....	22
ホワイトバランスを変える.....	22
クリックホワイトバランスを使う.....	23
明るさと色を自動的に調整する（トーンカーブアシスト）... ..	24
効率よく編集する.....	25
画像を切り抜く（トリミング）.....	26
編集をやり直す.....	28
編集結果を保存する.....	28
レシピを付けて保存する.....	28
JPEG 画像、TIFF 画像で保存する.....	29

印刷する.....	30
PIXUS / BJ プリンターでの写真印刷.....	30
PIXUS / BJ プリンター以外での写真印刷.....	33
画像を整理する.....	33
不要な画像を削除する.....	33
画像を保存するフォルダを作る.....	34
画像进行分类する.....	35
フォルダ単位で分類する.....	35
カードリーダーから CF カードの画像を取り込むときは..	35
よく使うフォルダを登録する（ブックマーク登録）.....	36
ブックマークを整理する.....	36

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

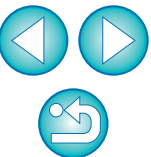
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



画像を効率よくチェック／分類する

メイン画面で一覧表示されている画像を大きく表示して、写り具合を効率よくチェックすることができます。また、チェックマークをつけて画像を3グループに分類することができます。

1 ツールバーの【全選択】ボタンを押す



→ すべての画像枠の色が変わります。

2 クイックチェック画面を表示する

- メニューの【ツール】 ▶ 【クイックチェックツールを起動】 を選びます。



→ クイックチェック画面が表示されます。

3 【次へ】 または、【前へ】 ボタンを押して画像を切り換える



- 拡大表示したい箇所をダブルクリックすると、ダブルクリックした箇所を中心に、画像が拡大表示（【50%表示】）になります。また、再度ダブルクリックすると、全体表示に戻ります。
- 拡大表示にしたときは、画像をドラッグすると表示位置を移動することができます。
- 画面を閉じるときは、【OK】 ボタンを押します。

- 【50%表示】 ボタンを押したときの拡大率は、ピクセル等倍（100%）の半分です。
- 各種の操作は、画像上で〈control〉 + クリックすると表示されるメニューでも行うことができます。
- 全画面表示 / 通常画面表示の切り換えは、〈⌘〉 + 〈F11〉 キーを押して切り換えることもできます。
- メイン画面で画像を選んでいない状態で、手順2の操作を行うと、メイン画面に表示されたすべての画像をクイックチェック画面でチェックすることができます。
- この画面の機能一覧は、p.84 を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

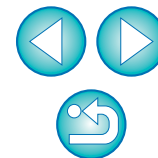
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

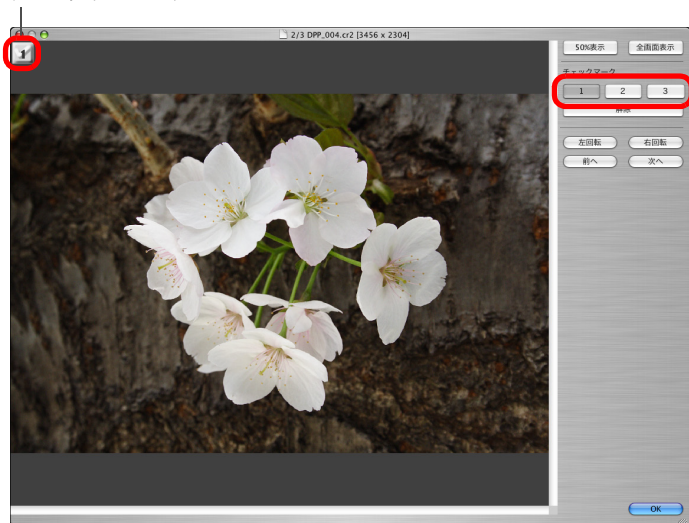


画像を分類する

クイックチェック画面で、被写体やテーマごとに3種類のチェックマークを付け、画像を分類することができます。

クイックチェック画面で分類するチェックマークを付ける

チェックマーク



- 選んだチェックマークが画面左上に表示されます。
- チェックマークを外すときは、【解除】ボタンを押します。

選んだ画像だけをチェックする

メイン画面で選んだ画像だけをクイックチェック画面に表示させることができます。

メイン画面でチェックしたい複数の画像を選ぶ

- 複数の画像を選ぶ
〈⌘〉キーを押しながら画像をクリックします。
- 連続した複数の画像を選ぶ
〈shift〉キーを押しながら画像をクリックします。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

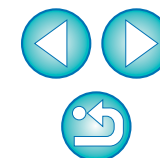
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



メイン画面で画像を分類する

メイン画面でも 3 種類のチェックマークを付けて、画像を分類することができます。

分類したい画像を選んで、分類するチェックマークを付ける



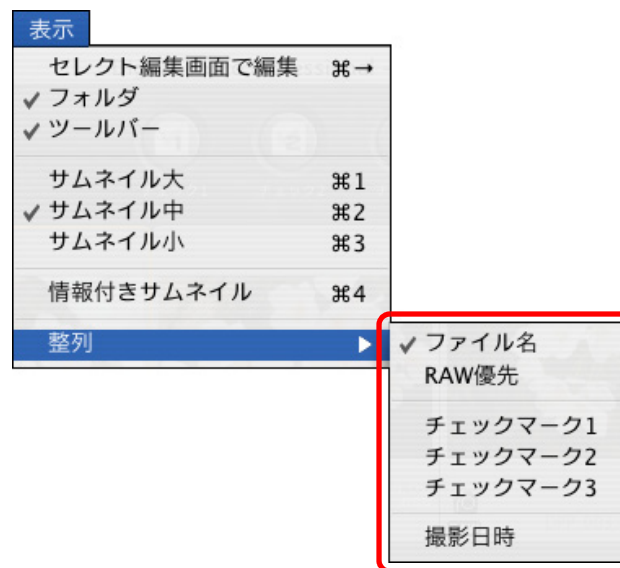
→ 選んだチェックマークが画像枠の左上に表示されます。

● チェックマークを外すときは、【チェック解除】 ボタンを押します。

メイン画面の画像を並べ替える

画像に付けたチェックマーク順や撮影日時順に、メイン画面の画像を並べ替えることができます。

メニューの【表示】▶【整列】▶ 目的の項目を選ぶ



→ 選んだ項目順に画像が並び替わります。

【チェックマーク 1】～【3】

チェックマークの付いた画像が番号順で先頭に並びます。

【撮影日時】

撮影日時の早い順に並びます。

【ファイル名】

ファイル名が 0～9 → a～z の順に並びます。

【RAW 優先】

RAW 画像 → JPEG 画像 → TIFF 画像の順に並びます。

📄 1～3 のチェックマークを設定したときは、1 を選ぶと 1 → 2 → 3、2 を選ぶと 2 → 1 → 3、3 を選ぶと 3 → 2 → 1 の順に並びます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

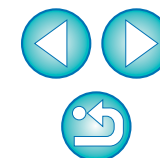
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

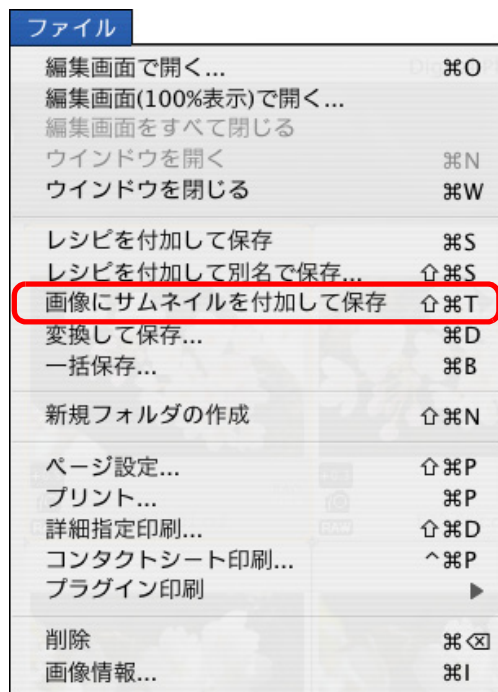
索引



メイン画面の画像を鮮明にする

メイン画面のサムネイル画像を作り直して、各画像に保存します。
メイン画面の画像が鮮明になり、画像の表示速度も向上します。

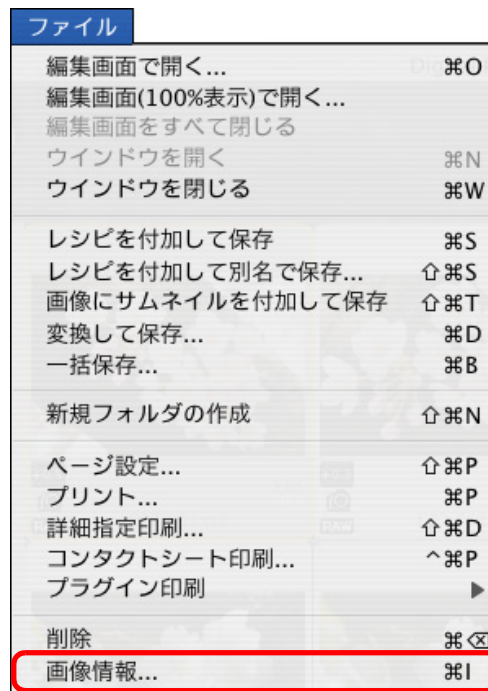
すべての画像を選んだ状態で、メニューの【ファイル】 ▶
【画像にサムネイルを付加して保存】を選ぶ



画像の撮影情報を確認する

1 撮影情報を見たい画像を選ぶ

2 メニューの【ファイル】 ▶ 【画像情報】を選ぶ



→ 画像情報画面が表示されます。



- 【サムネイル大】にしたとき (p.8) の鮮明度が、もっとも向上します。
- 大量の画像を選んだときは、処理に時間がかかることがあります。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

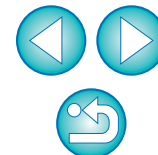
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



編集する

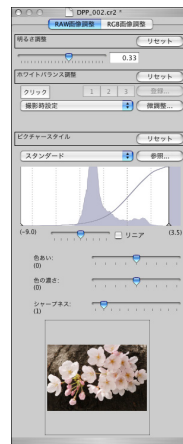
編集画面のツールパレットを使った画像調整の方法を説明します。

なお、間違った調整を行っても【リセット】ボタンで簡単に元の状態に戻すことができます。色々な調整を試してみてください。

編集画面



ツールパレット



- ツールパレットで行った調整内容に応じて、画像がリアルタイムで調整されます。
- ツールパレットで行った操作を1つ前の状態に戻したいときは、**<⌘> + <Z>** キーを押します。



- 画像の回転は、メニューの【調整】で行うことができます。
- 複数の編集画面を表示するには、編集画面を表示する操作 (p.9) を複数回行います。
- ツールパレットの表示方法を変えることができます。(p.52)
- 編集画面の機能一覧は、p.82 を参照してください。
- ツールパレットの機能一覧は、p.83 を参照してください。

明るさを調整する

画像の明るさを調整することができます。スライダーを右に動かすと画像が明るくなり、左に動かすと画像が暗くなります。



調整前に戻す
数値を入力

左右に動かす



- 調整範囲は、- 2.0 ~ + 2.0 (数値入力では 0.01 単位) です。
- メイン画面でも、ツールバーの【明るさ (RAW)】ボタン (p.80) を押して表示される、【明るさ調整】画面で調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

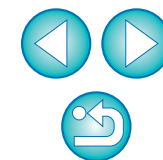
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

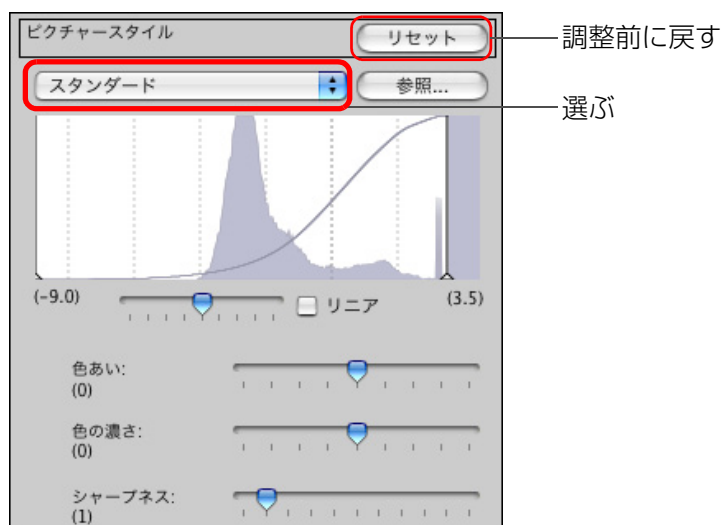
資料

索引



ピクチャースタイルを変える

撮影した RAW 画像を、「スタンダード」、「ポートレート」、「風景」、「ニュートラル」、「忠実設定」、「モノクロ」の設定に変えることができます。好みのピクチャースタイルを選ぶだけで、その設定が画像に反映されます。なお、モノクロに変更して RAW 画像を保存しても、ピクチャースタイルの【リセット】ボタンで元のカラー画像に戻すことができます。



❗ DPP では、ピクチャースタイルを変更しても、【コントラスト】、【色あい】、【色の濃さ】、【シャープネス】の設定は変わりません。必要に応じて個別に設定してください。

📄 ピクチャースタイルの項目別に設定した、「コントラスト」、「色あい」、「色の濃さ」、「シャープネス」を、画像ごとに記憶させておくことができます。(p.52)

スタンダード	鮮やかな画像になります。 通常はこの設定でほとんどの画像に対応できます。
ポートレート	肌がきれいな画像になります。 女性や子どもをアップで撮影した画像などに効果的です。また、【色あい】で肌色を調整することができます。(p.20)
風景	青空や緑の色が鮮やかな画像になります。 印象的な風景としたい画像などに効果的です。
ニュートラル	自然な色あいで、メリハリの少ない控えめな画像になります。調整用の元画像として有効です。
忠実設定	5200K 程度の環境光下で撮影した画像が、測色的に被写体の色とほぼ同じになるよう色調整されます。調整用の元画像として有効です。
モノクロ	白黒画像になります。 また、【フィルター効果】と【調色】を調整することができます。(p.21)
(カメラに登録したピクチャースタイルファイル)	カメラに登録したピクチャースタイルファイルで撮影した画像を選んだときに表示されます。 リストには、カメラに登録したピクチャースタイルファイルのキャプション名が、() 付きで表示されます。
【読み込んだピクチャースタイルファイル】	【参照】 ボタンを押して、弊社ホームページからダウンロードして読み込んだ、ピクチャースタイルファイルのキャプション名が、[] 付きで表示されます。

ピクチャースタイルファイルを適用する

弊社ホームページからダウンロードしたピクチャースタイルファイルを適用することができます。【参照】 ボタンを押すと表示される画面で、ダウンロードしたピクチャースタイルファイルを選ぶと、画像に適用されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

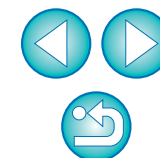
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

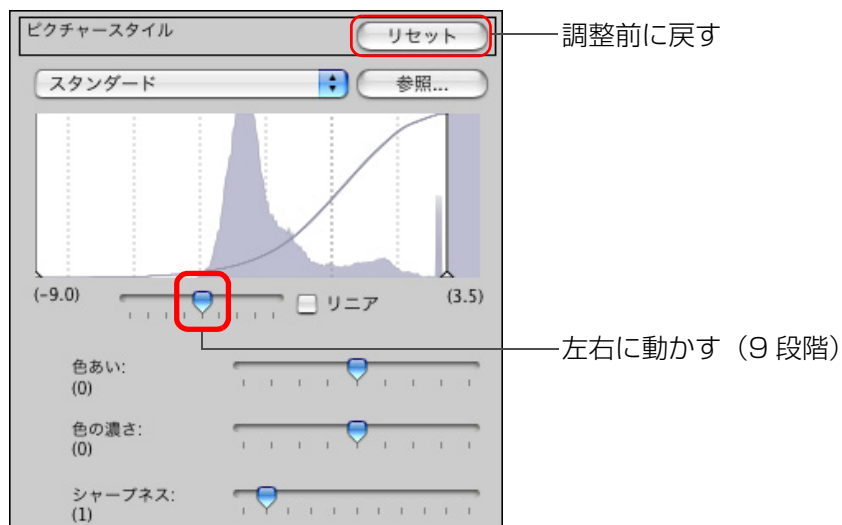
資料

索引



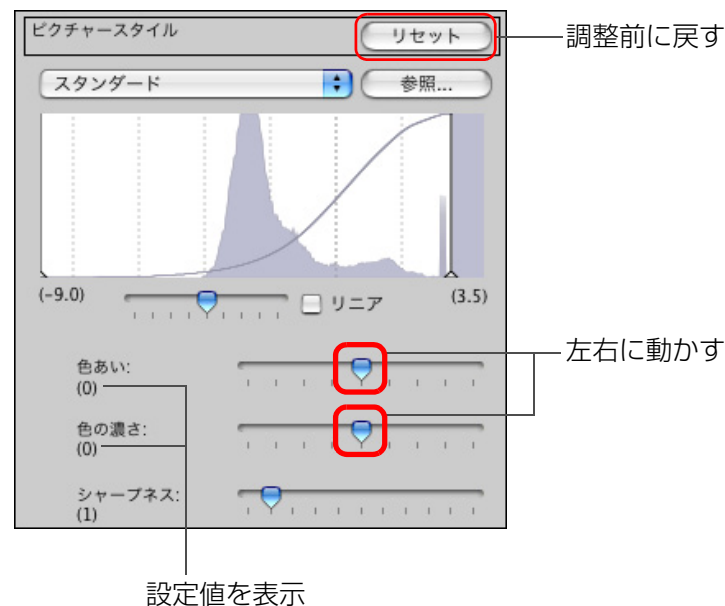
コントラスト（明暗差）を調整する

色のメリハリやコントラスト（明暗差の強弱）を調整することができます。スライダーを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすとコントラストが弱くなります。



色あい、色の濃さを変える

肌の色あいや全体的な色の濃さを調整することができます。モノクロ（p.21）のときは、【色あい】が【フィルター効果】、【色の濃さ】が【調色】に変わります。



- **色あい：** おもに肌の色の調整に使用します。スライダーを右に動かすと肌色が黄色寄りになり、左に動かすと肌色が赤色寄りになります。
- **色の濃さ：** 画像の全体的な色の濃さを調整します。スライダーを右に動かすと色が濃くなり、左に動かすと色が薄くなります。

【リニア】をチェックすると薄暗い画像が表示されます。詳細な画像調整を個別に行ったり、高度な編集機能を装備した画像編集用ソフトウェアで別途調整するときには使用します。

調整範囲は、-4～+4（1単位）です。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

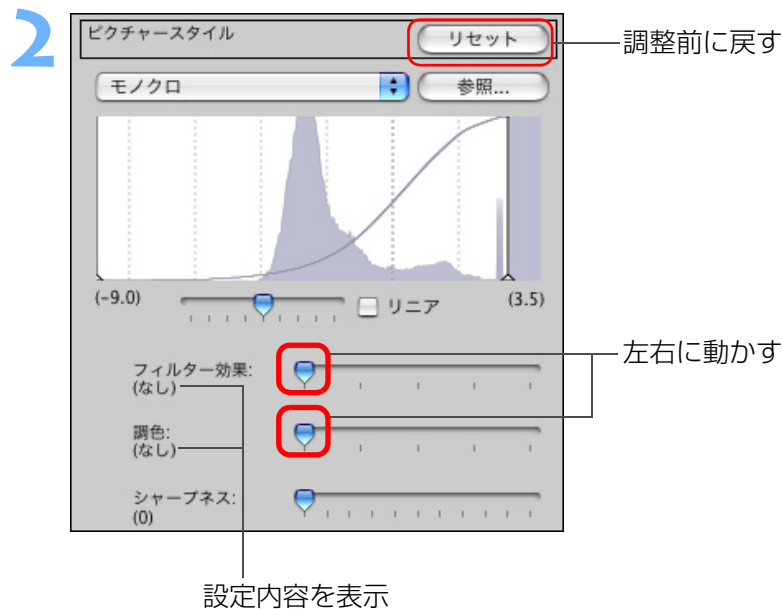
索引



モノクロのときの調整

モノクロ写真にフィルターをかけたような効果を出したり、単色カラー写真のような仕上がりにすることができます。

1 【ピクチャースタイル】 リストボックス (p.19) で【モノクロ】を選ぶ



- **フィルター効果**：同じモノクロ写真でも、白い雲や木々の緑を強調した画像にすることができます。

フィルター	効果例
なし	フィルター効果なしの通常の白黒画像になります。
黄	青空がより自然に再現され、白い雲がはっきりと浮かび上がります。
オレンジ	青空が少し暗くなります。夕日の輝きがいっそう増します。
赤	青空がかなり暗くなります。紅葉の葉がはっきりと明るくなります。
緑	人物の肌色や唇が落ち着いた感じになります。木々の緑の葉がはっきりと明るくなります。

- **調色**：色のついた単色カラーのモノクロ写真にすることができます。
【なし】、【セピア】、【青】、【紫】、【緑】 から選ぶことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

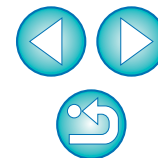
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

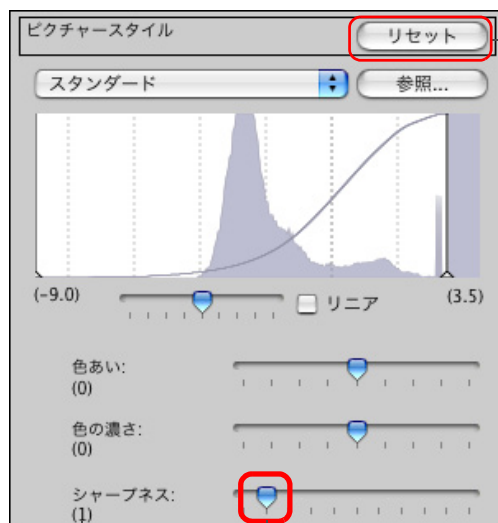


「コントラスト (明暗差)」 (p.20) のスライダーを右寄りに設定すると、フィルター効果がより強調されます。

シャープネス（鮮鋭度）を調整する

画像全体の雰囲気柔らかい（ねむい）感じにしたり、硬い（シャープな）感じにすることができます。

スライダーを右に動かすと硬い（シャープな）感じになり、左に動かすと柔らかい（ねむい）感じになります。



調整前に戻す

設定値を表示

左右に動かす

ホワイトバランスを変える

撮影した画像が自然な色あいになっていないときは、ホワイトバランスを調整します。淡い色の花などは、撮影時の光源に設定すると自然な色あいにすることができます。



調整前に戻す

選ぶ

調整範囲は、0～10（1単位）です。

- ホワイトバランスの各項目内容については、カメラの使用説明書を参照してください。
- メイン画面でも、ツールバーの【ホワイトバランス】ボタン（p.80）を押して表示される、【ホワイトバランス調整】画面で調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

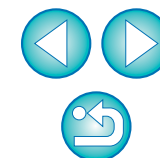
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

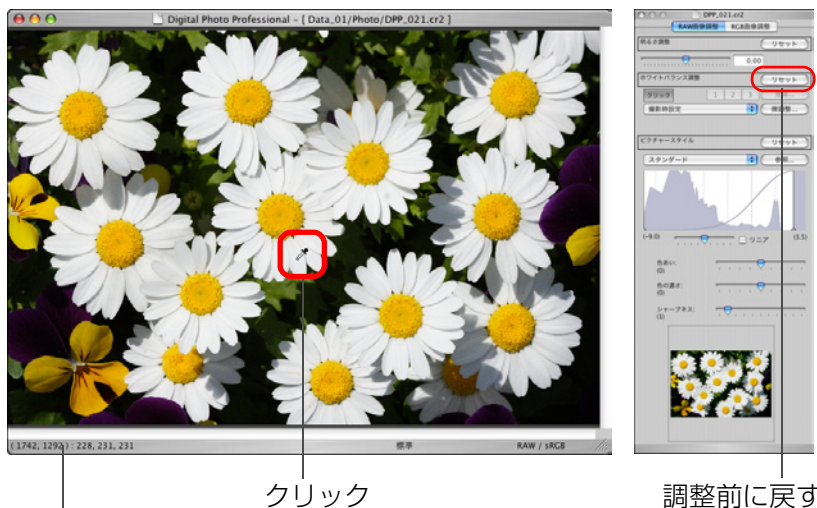


クリックホワイトバランスを使う

選んだ箇所を白の基準として、ホワイトバランスを調整することができます。光源の影響で、白の色あいが変わっている部分をクリックホワイトバランスを行うと効果的です。



2 白の基準とする箇所をクリックする



カーソルの座標位置と RGB 値 (8bit 換算)

- 選んだ箇所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の箇所をクリックすると、再度調整されます。
- 終了するときには、【クリック】 ボタンを押します。

- クリックした箇所から 5 × 5 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色 (ニュートラルグレイ) の箇所を選んでも、白色の箇所を選んだときと同等の調整結果になります。
- メイン画面でも、ツールバーの【クリック (RAW)】 ボタン (p.80) を押すと、クリックホワイトバランスを使うことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

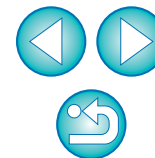
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

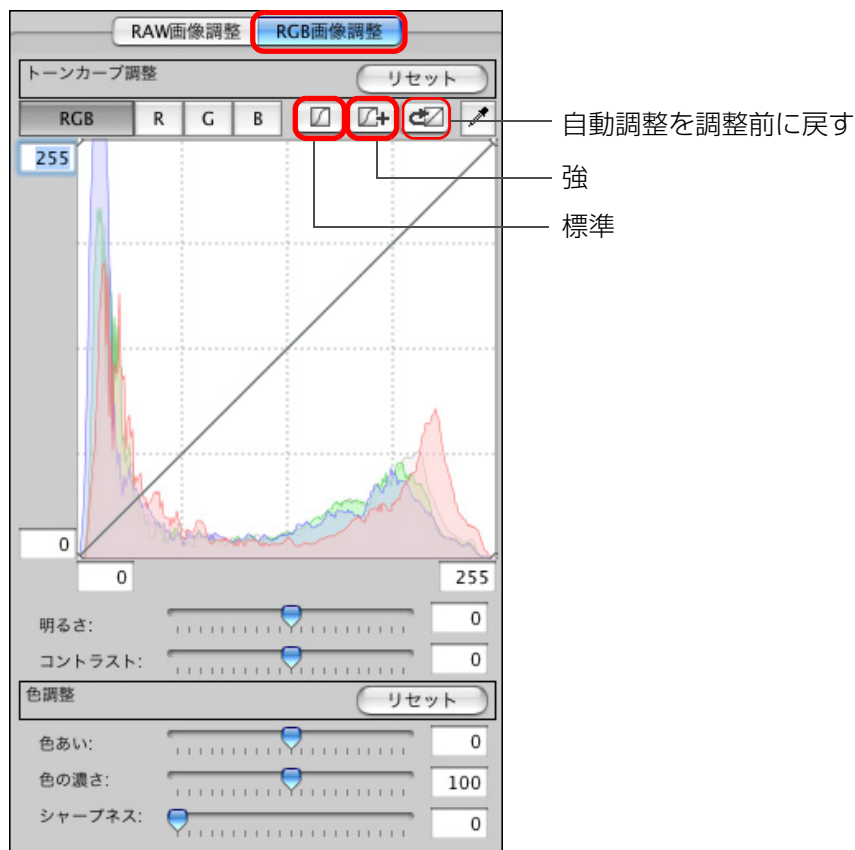
索引



明るさと色を自動的に調整する（トーンカーブアシスト）

好ましいと感じる標準的な画像になるよう、「明るさ」と「色」が自動調整されます。自動調整の度合いは、「標準」と「強」から選ぶことができます。

[RGB 画像調整] タブをクリックして、目的の自動調整ボタンを押す



→ 調整すると、トーンカーブが変化します。

- **標準**：標準の自動調整です。ほとんどの画像に対応できます。
- **強**：標準の自動調整では効果が弱いときに使用します。

⚠️ **[色あ]** ボタンを押すと、トーンカーブの他に、**[RGB 画像調整]** ツールパレットの**[色あい]**、**[色の濃さ]** が初期値に戻ります。個別に**[色あい]**、**[色の濃さ]** を調整したときは注意してください。

- 📄 ● 自動調整（トーンカーブアシスト）は、画像のトーンカーブ（調整前と調整後の画像の明るさと、色の濃さをグラフ化したもの）を自動的に調整して画像の明るさや色を調整する機能です。また、以下の画像では期待した調整結果にならないことがあります。
 - ・ 適正な露出で撮影された画像
 - ・ 明るさが偏っている画像
 - ・ 暗すぎる画像
 - ・ 極端な逆光画像
- メイン画面でも、メニューの**[調整]** ▶ **[トーンカーブアシスト標準]** または、**[トーンカーブアシスト強]** を選ぶと調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

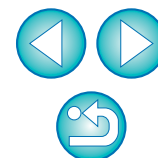
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



効率よく編集する

サムネイル表示と編集画面を組み合わせた画面で、編集する画像を素早く切り換えながら効率よく編集することができます。編集する画像はあらかじめメイン画面で選んでおきます。

1 メイン画面で編集したい複数の画像を選ぶ

2 セレクト編集画面に切り換える



クリック

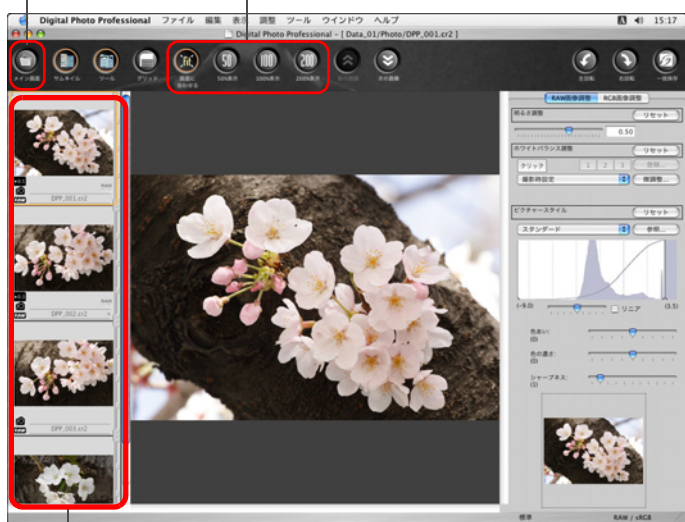
→メイン画面からセレクト編集画面に切り換わります。

3 セレクト編集画面で編集する

クリックするとメイン画面に戻る

大きさを変える

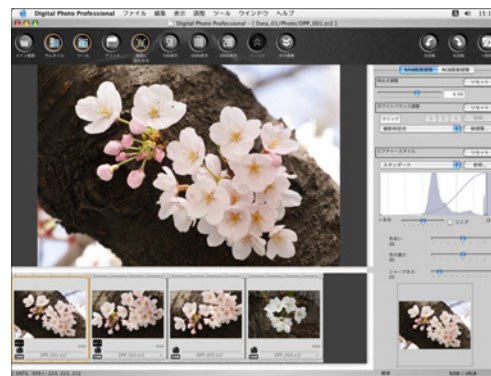
セレクト編集画面



編集する画像を選ぶ

→画像が鮮明な表示に切り換わるまで時間がかかることがあります。

- ツールパレットは、編集画面と同じ内容です。
- ツールパレットで行った操作を1つ前の状態に戻したいときは、**〈⌘〉 + 〈Z〉** キーを押します。
- 拡大したい位置をダブルクリックすると、**【100%表示】**（ピクセル等倍）の拡大表示になります。再度ダブルクリックすると、全体表示（**【画面に合わせる】**）に戻ります。
- 拡大表示にしたときは、画像をドラッグすると表示位置を移動することができます。
- サムネイル表示の位置を以下のような横配置にしたいときは、メニューの**【表示】 ▶ 【サムネイル位置変更】** を選びます。



- **【50%表示】**、**【100%表示】**、**【200%表示】** の状態で画像をダブルクリックすると、全体表示（**【画面に合わせる】**）になります。
- ツールパレットの表示方法を変えることができます。（p.52）
- セレクト編集画面の機能一覧は、[p.85](#) を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



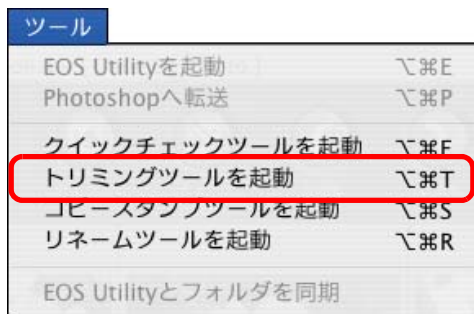
画像を切り抜く（トリミング）

必要な部分だけを切り抜いて拡大したり、横位置撮影の画像を縦位置撮影したように構図変更することができます。なお、トリミングした画像は、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) すると、トリミングした画像になります。

1 切り抜く画像を選ぶ

2 トリミング画面を表示する

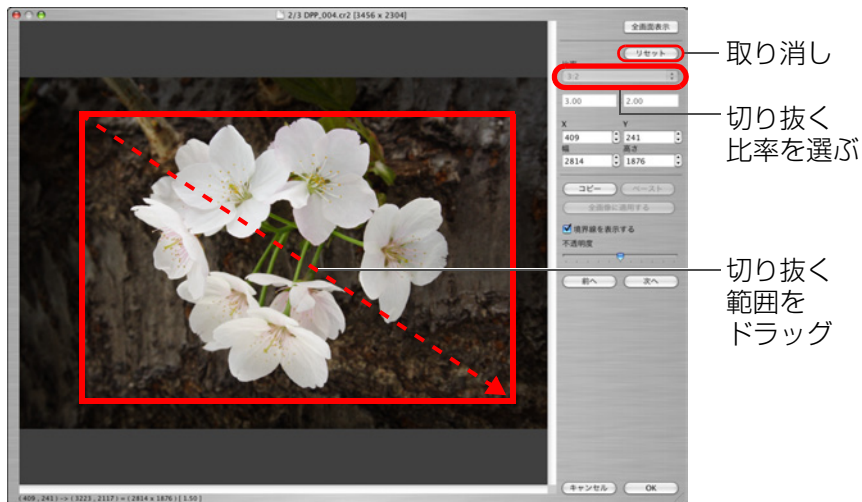
- メニューの【ツール】▶【トリミングツールを起動】を選びます。



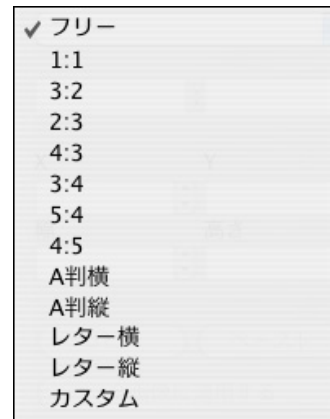
→トリミング画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったら、比率を選んで切り抜く

トリミング画面



- 切り抜き範囲は、ドラッグして移動することができます。
- 切り抜き範囲の四隅をドラッグすると、拡大／縮小することができます。
- 比率（横：縦）の一覧



- 【フリー】：フリーハンドで切り抜くことができます。
- 【カスタム】：指定した比率で切り抜くことができます。

4 [OK] ボタンを押してメイン画面に戻る

→切り抜いた画像に【Q】マーク (p.81) が表示されます。

5 切り抜いた画像を別画像に変換して保存する

- 切り抜いた画像は、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) することで、切り抜かれた別画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

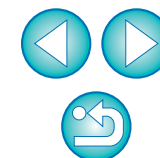
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

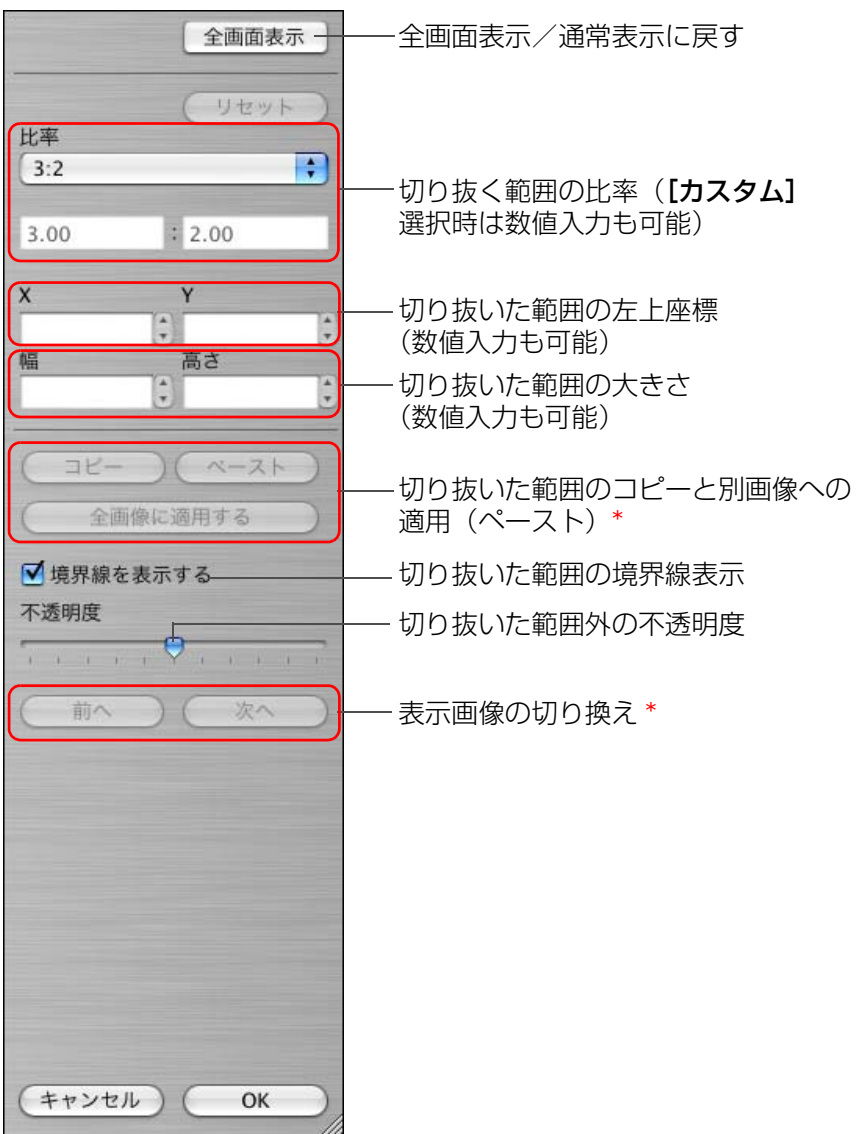
5
JPEG
画像編集

資料

索引



トリミング機能の機能一覧



* 複数の画像を選んでトリミング画面を表示したときに動作します。

- **【比率】** リストボックスで **【フリー】** を選んだときは、切り抜いた範囲の境界線をドラッグして、切り抜き範囲を変えることもできます。
- 複数の画像に同じ切り抜き範囲を適用するときは、**【コピー】**、**【ペースト】**、**【全画像に適用する】** ボタンを使って適用することができます。

- ⚠ ● 切り抜いた画像は、「レシピを付けて保存」(p.28) をしても切り抜かれた画像にはなりません。JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存してください。(p.29)
- 切り抜いた画像をそのまま Easy-PhotoPrint で印刷 (p.30) したときは、切り抜く前の画像が印刷されます。JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) した画像を印刷してください。

- 📄 ● 切り抜いた画像は、切り抜いた範囲の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。(p.28)
- 切り抜いた範囲の確認は、トリミング画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- 各種の操作は、画像上で〈control〉キー＋クリックすると表示されるメニューでも行うことができます。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉＋〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。
- **【全画像に適用する】** を押したときに、コピーした切り抜き範囲が適用されるのは、トリミング画面を表示したときに選んでいたすべての画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引

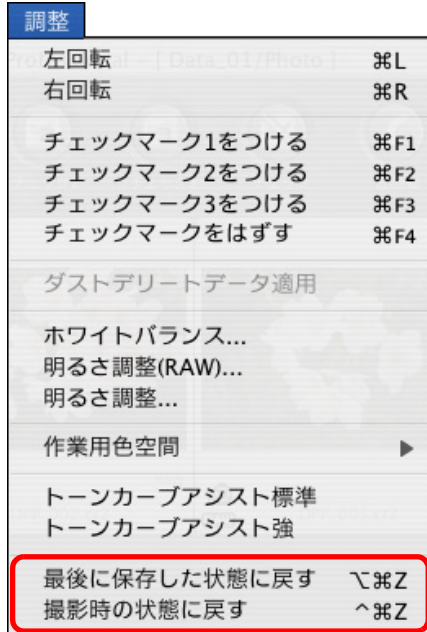


編集をやり直す

編集した RAW 画像は、画像処理条件が変更されて表示されるだけで、オリジナルの画像データそのものは元のままで全く変わりません。そのため、画像に設定した調整内容をすべて取り消して、最後に保存した状態または、撮影時の状態にいつでも戻すことができます。

1 編集をやり直す画像を選ぶ

2 メニューの【調整】 ▶ 目的の項目を選ぶ



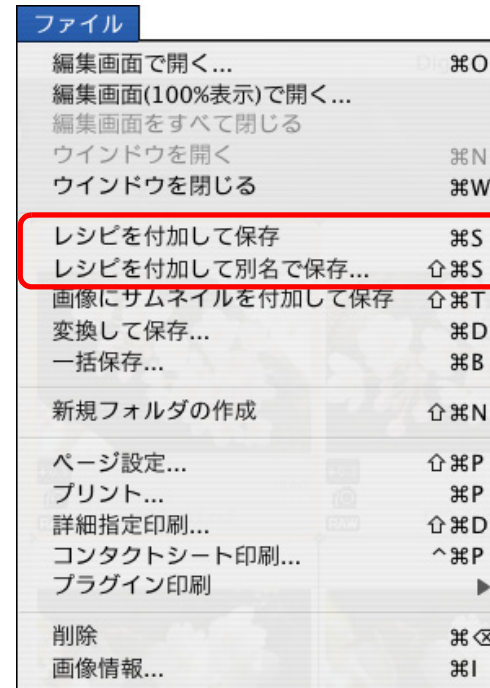
→ 選んだ項目の状態に画像が戻ります。

編集結果を保存する

レシピを付けて保存する

ツールパレットで調整した内容をレシピ（画像処理条件の情報）として、画像に保存することができます。

メニューの【ファイル】 ▶ 目的の項目を選ぶ



→ 調整した内容が画像に保存されます。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

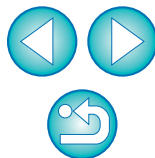
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



編集した JPEG 画像、TIFF 画像 (p.62) も RAW 画像同様、本ページの操作で編集前の状態にいつでも戻すことができます。

JPEG 画像、TIFF 画像で保存する

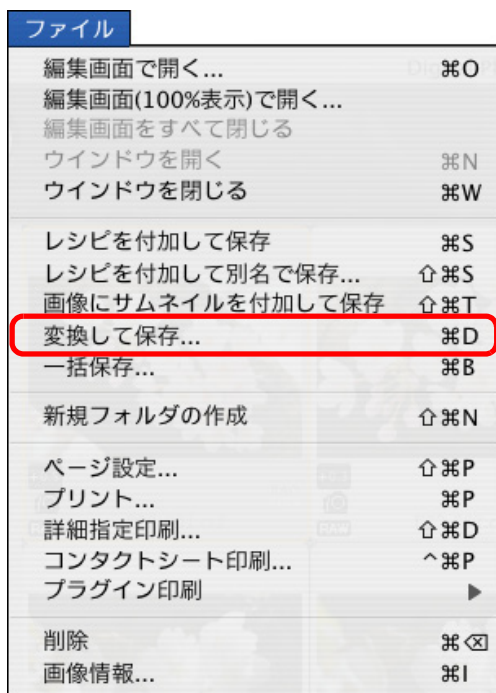
DPP 以外のソフトウェアで RAW 画像を見たり、編集、印刷などをするときは、汎用性の高い JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存します。

また、切り抜き（トリミング）（p.26）や、ゴミ消し（p.43、p.44、p.46）した RAW 画像は、JPEG 画像または TIFF 画像に変換して保存すると、切り抜いた画像または、ゴミ消した画像になります。

なお、RAW 画像はそのまま残ります。

1 変換する画像を選ぶ

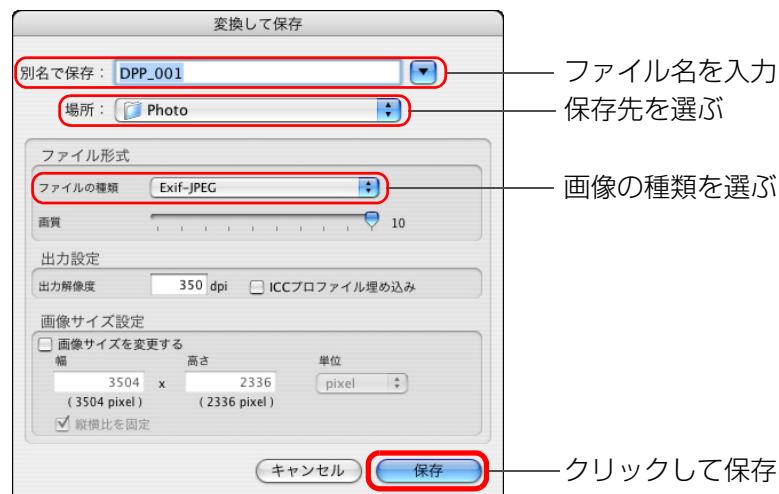
2 メニューの【ファイル】 ▶ 【変換して保存】 を選ぶ



→ 【変換して保存】 画面が表示されます。

3 必要な設定を行い【保存】 ボタンを押す

- 初期設定では、画像サイズを変えずに、最も高画質な状態で JPEG 画像に変換して保存します。必要に応じて設定を変更してください。



→ RAW 画像を変換した JPEG 画像または TIFF 画像が、指定した保存先に新しい画像として保存されます。

- 切り抜き（トリミング）（p.70）や、ゴミ消し（p.72、p.73、p.75）した JPEG 画像、TIFF 画像を本ページの操作で保存すると、切り抜いた画像または、ゴミ消した別画像として保存することができます。
- この画面の機能一覧は、p.86 を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

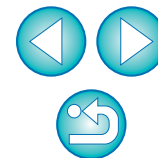
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



印刷する

キヤノン製印刷用ソフトウェアの Easy-PhotoPrint に対応した PIXUS / BJ プリンターで、簡単に高品質な写真印刷を行う方法と、その他のプリンターで写真印刷を行う方法について説明します。

PIXUS / BJ プリンターでの写真印刷

Easy-PhotoPrint に対応した PIXUS / BJ プリンターでは、下記の写真印刷を行うことができます。

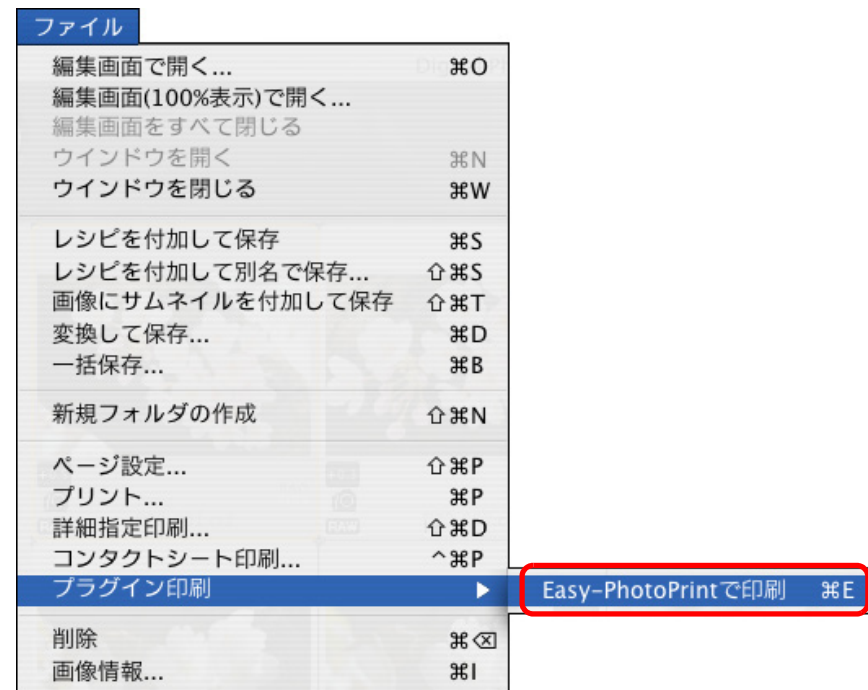
- RAW 画像の簡単印刷
- 忠実な色味による印刷
- Adobe RGB と PIXUS プリンターの色再現領域を活用した高画質印刷

なお、この印刷を行うためには、事前にバージョン 2.1 以降の Easy-PhotoPrint をパソコンにインストールする必要があります。

1 印刷する画像を選ぶ

2 Easy-PhotoPrint を起動する

- メニューの [ファイル] ▶ [プラグイン印刷] ▶ [Easy-PhotoPrint で印刷] を選びます。



→ Easy-PhotoPrint が起動します。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

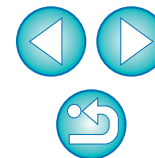
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

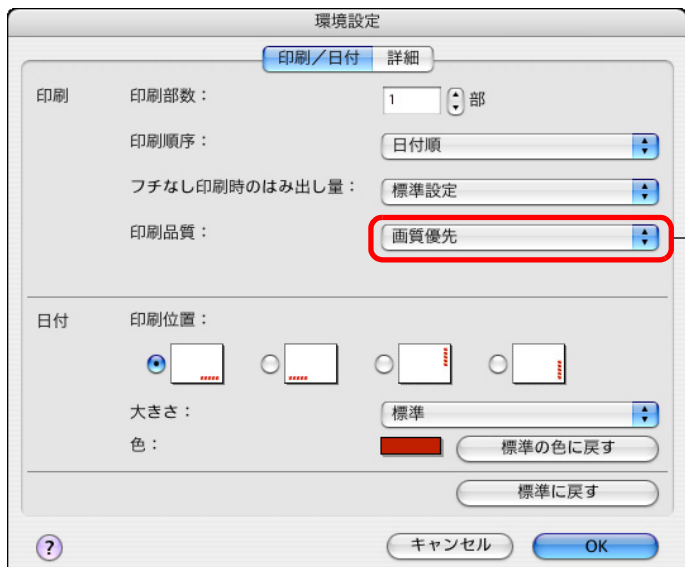


3 Easy-PhotoPrint の画面で、メニューの【Easy-PhotoPrint】 ▶ 【環境設定】 を選ぶ



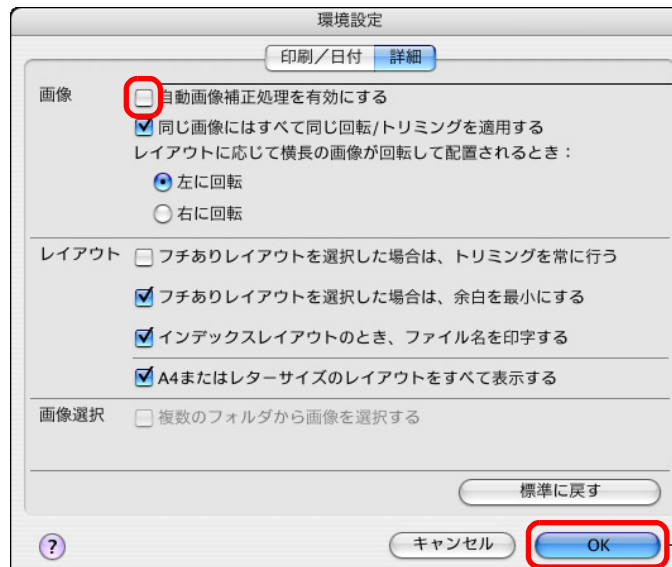
→ 設定画面が表示されます。

4 【印刷品質】 を【画質優先】 に設定する



画質優先を選ぶ

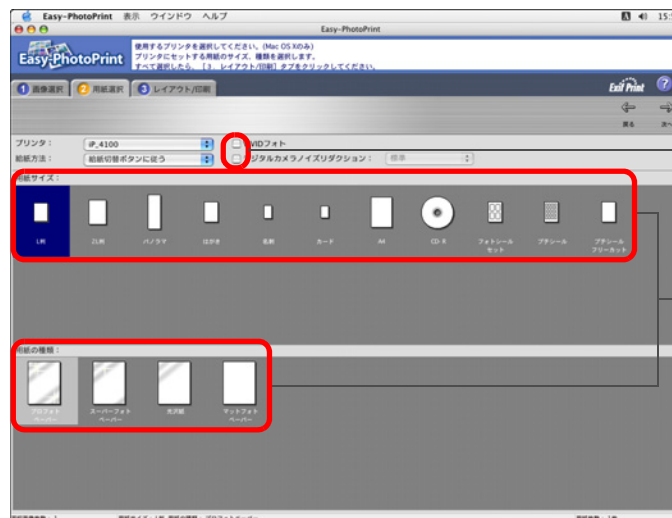
5 【詳細】 タブを選び、Easy-PhotoPrint の画像補正機能を解除する



クリックしてチェックを外す

クリックして画面を閉じる

6 【2用紙設定】 タブ画面で、画像補正機能の解除と用紙の種類を選ぶ



クリックしてチェックを外す

用紙の種類を選ぶ

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

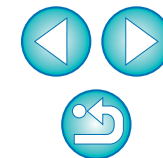
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

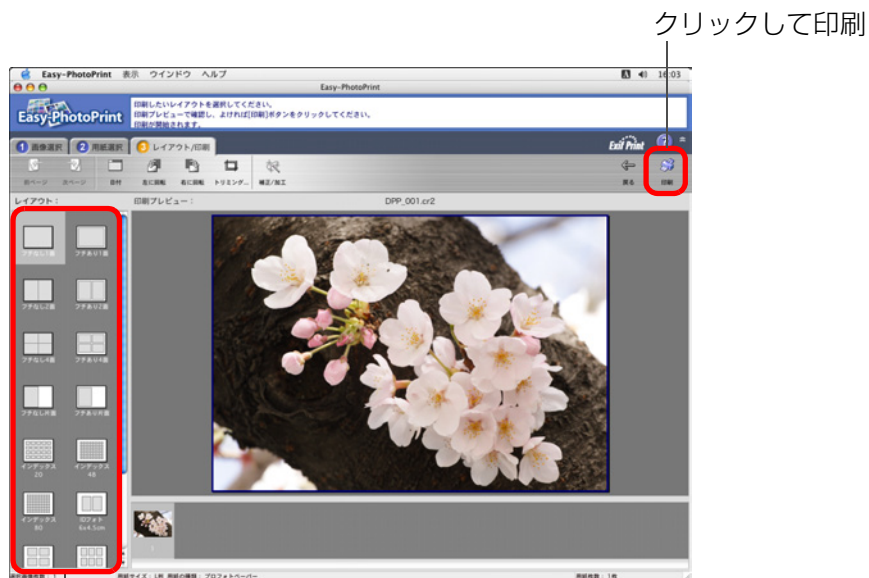
JPEG
画像編集

資料

索引



7 [3 レイアウト／印刷] タブ画面で、レイアウトの指定と [印刷] ボタンを押す



クリックして印刷

レイアウトを選ぶ

→ 印刷が開始されます。

! 切り抜いた（トリミング）（p.26）画像をそのまま印刷したときは、切り抜く前の画像が印刷されます。JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存（p.29）した画像を印刷してください。

- 忠実な色味による印刷
sRGB と Adobe RGB の色空間に設定（p.46、p.53）した画像を、忠実な色味で印刷することができます。
- 広域な色再現による印刷
色空間設定（p.46、p.53）を Adobe RGB にして PIXUS プリンターで印刷すると、色再現領域が広くなり、特に緑色と青色が鮮やかに再現されるようになります。
- DPP で選んだ 1000 枚までの画像を、1 度に印刷することができます。
- 印刷した写真が好みの色味にならないときは、マッチング方法を【知覚的】に変更してください。（p.53、p.54）
- DPP は、Easy-PhotoPrint Pro と連携した印刷にも対応しています。（p.48）

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

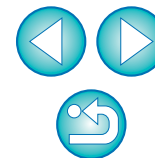
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

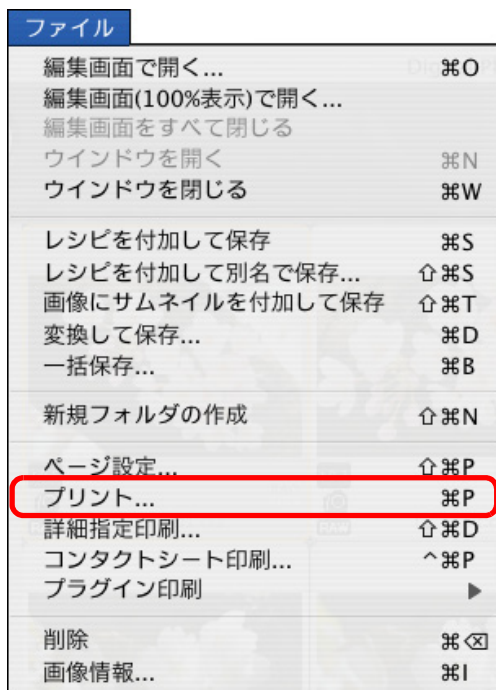


PIXUS / BJ プリンター以外での写真印刷

1 枚の用紙に 1 つの画像を印刷することができます。

1 印刷する画像を選ぶ

2 メニューの【ファイル】 ▶ 【プリント】を選ぶ



→ 【プリント】画面が表示されます。

3 写真印刷に設定して印刷する

- 表示されたプリンターの印刷設定画面で写真印刷に最適な設定にして、【プリント】ボタンを押します。

→ 印刷が開始されます。

画像を整理する

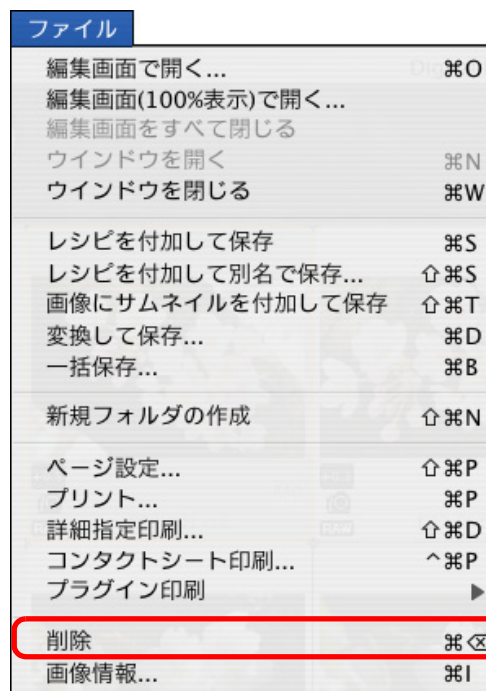
不要な画像の削除、画像を保存するためのフォルダ作成、画像のコピーや移動など、画像の整理方法を説明します。

不要な画像を削除する

削除した画像は復元できませんので、十分注意してください。

1 メイン画面で不要な画像を選ぶ

2 メニューの【ファイル】 ▶ 【削除】を選ぶ



→ 画像が【ゴミ箱】へ移動し、DPP 上から削除されます。

- デスクトップで、メニューの【Finder】 ▶ 【ゴミ箱を空にする】を選ぶと、画像が完全に削除されます。

❗ 複数の画像を選んでいるときは、選んだすべての画像が削除の対象となります。直前の作業で複数の画像を選んだときなどは、特に注意してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



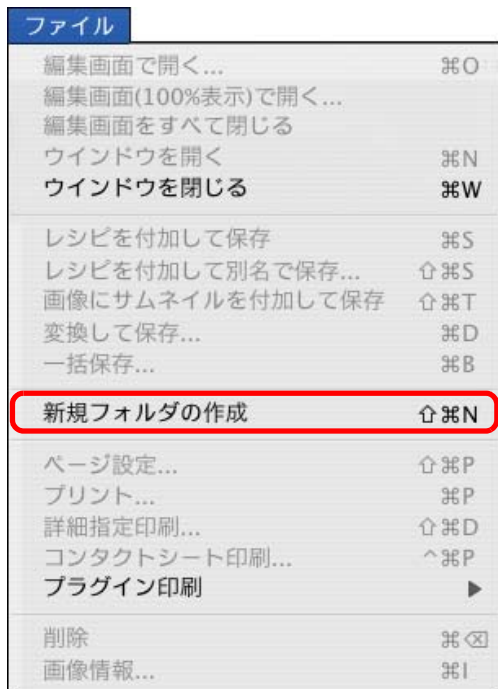
画像を保存するフォルダを作る

画像を分類するためのフォルダを作ることができます。

1 フォルダを作成する場所をフォルダエリアで選ぶ



2 メニューの【ファイル】 ▶ 【新規フォルダの作成】を選ぶ



→ フォルダ名を入力する画面が表示されます。

3 フォルダ名を入力して【OK】ボタンを押す

→ 手順 1 で選んだフォルダ内に、新しいフォルダが作成されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

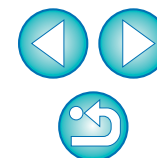
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



画像を分類する

画像を別のフォルダに移動またはコピーして、撮影日やテーマごとに画像を分類することができます。

コピーまたは移動する画像をドラッグする



- 移動先のフォルダに画像がコピーまたは移動します。
- **コピー**：〈option〉キーを押しながら画像をドラッグして、コピー先のフォルダで離します。
- **移動**： 画像をドラッグして、移動先のフォルダで離します。

フォルダ単位で分類する

フォルダを別のフォルダに移動またはコピーして、フォルダごとに画像を分類することができます。

コピーまたは移動するフォルダをドラッグする



- 移動先にフォルダがコピーまたは移動します。
- **コピー**：〈option〉キーを押しながらフォルダをドラッグして、コピー先のフォルダで離します。
- **移動**： フォルダをドラッグして、移動先のフォルダで離します。

カードリーダーから CF カードの画像を取り込むときは

上記の説明画面で、フォルダエリアに表示されるリムーバブルディスクのアイコンを開き、その中の【DCIM】フォルダをデスクトップなどの適当な場所に移動すると、【DCIM】フォルダとその中の撮影画像がパソコンに取り込まれます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

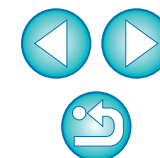
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



よく使うフォルダを登録する（ブックマーク登録）

よく使うフォルダをブックマークとして登録することができます。

登録したフォルダは、メニューの【ブックマーク】をクリックすると表示されます。

1 ブックマークに登録するフォルダを選ぶ



2 メニューの【ブックマーク】 ▶ 【追加】を選ぶ

→ 手順 1 で選んだフォルダがメニューの【ブックマーク】に登録されます。

- ブックマークに登録されたフォルダを選ぶと、選んだフォルダ内の画像がメイン画面に表示されます。

ブックマークを整理する

【ブックマーク】に登録されたフォルダ名を変更したり、削除することができます。

メニューの【ブックマーク】 ▶ 【整理】を選ぶ

→ 【ブックマークの整理】画面が表示され、フォルダ名の変更や削除を行うことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

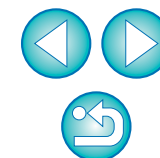
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



3 高度な画像編集と印刷

市販の画像編集用ソフトウェアの扱いに精通されたプロの方を前提に、作品として仕上げるための高度な画像編集や自動ゴミ消し処理、作品を印刷するための各種印刷機能、カラーマネージメントをはじめとするさまざまな環境設定について説明します。

元画像と見比べながら編集する	38
分割のしかたを変える	38
高度な編集をする	39
ホワイトバランスを色温度で調整する	39
ホワイトバランスをカラーホイールで調整する	39
ダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整する	40
トーンカーブ調整	41
トーンカーブの操作例	42
[RGB 画像調整] ツールパレットの機能について	42
自動ゴミ消し処理をする	43
メイン画面での自動ゴミ消し処理	43
手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）	44
画像の不要な箇所を消す（コピースタンプ機能）	46
Photoshop に RAW 画像を転送する	46
作業用色空間を設定する	46
撮影情報を付けて印刷する	47
一覧印刷（コンタクトシート印刷）	47
キヤノン製ハイエンドプリンターで RAW 画像を印刷する ..	48
PIXUS プリンターとの連携印刷	48
キヤノン製大判プリンターとの連携印刷	49

環境設定について	49
基本設定	50
表示設定	51
ツールパレット	52
カラーマネージメント	53

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

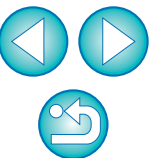
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

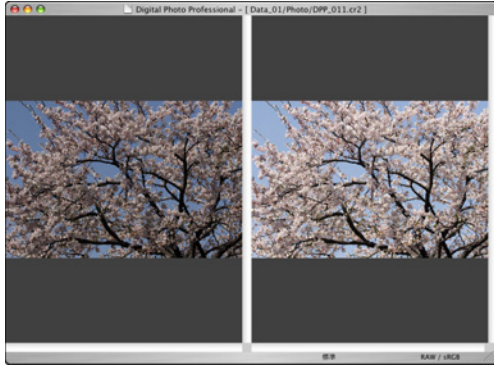


元画像と見比べながら編集する

調整前／調整後の画像を同一画面に表示して、調整効果を確認しながら編集することができます。

1 編集画面でメニューの【表示】 ▶ 【編集前後比較】 を選ぶ

→ 画像が左右2画面に分かれます。



→ 右側が調整後の画像です。


2 表示のしかたを変える

● メニューの【表示】 ▶ 【上下／左右切替】 を選びます。

→ 2画像の並び方が上下に変わります。



→ 下側が調整後の画像です。

 セレクト編集画面でも同様の操作で表示することができます。

分割のしかたを変える

1つの画像を2分割にした表示に変更することができます。

1 メニューの【Digital Photo Professional】 ▶ 【環境設定】 を選ぶ

2 【表示設定】 タブを選ぶ

3 【編集前後比較モード】 から【一枚の画像を二分割して表示する】 を選び、【OK】 ボタンを押す

→ 1つの画像を左右または上下に分割した表示になります。



● 上下／左右の切り換えは、左記ページの手順2と同じ操作で行います。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

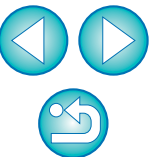
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



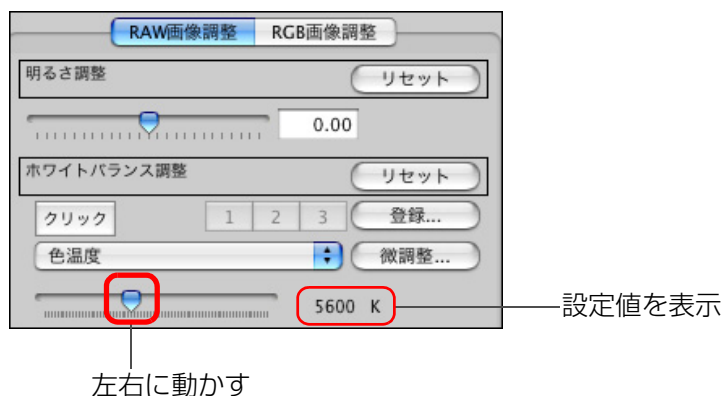
高度な編集をする

編集画面のツールパレットにある、高度な編集機能の操作方法を説明します。

ホワイトバランスを色温度で調整する

色温度の数値を設定することで、ホワイトバランスを調整することができます。

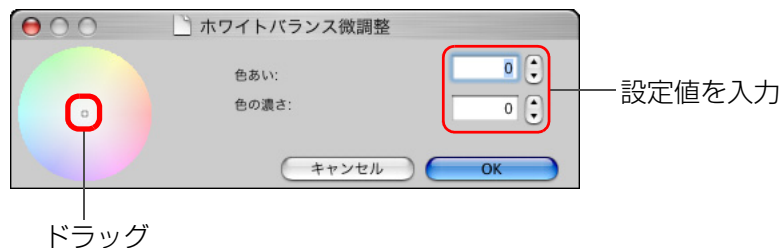
【ホワイトバランス調整】のリストボックスから【色温度】を選ぶ



ホワイトバランスをカラーホイールで調整する

カラーホイールで示している色の方向にポイントを移動して、ホワイトバランスを調整することができます。

【RAW 画像調整】 ツールパレットの【微調整】 ボタンを押す



- 調整範囲は、2800 ~ 10000K (100K 単位) です。
- メイン画面でも、ツールバーの【ホワイトバランス】 ボタン (p.80) を押して表示される、【ホワイトバランス調整】 画面で調整することができます。

- 色あいの調整範囲は、0 ~ 359 (数値入力では 1 単位)、色の濃さの調整範囲は、0 ~ 255 (数値入力では 1 単位) です。
- メイン画面でも、ツールバーの【ホワイトバランス】 ボタン (p.80) を押して表示される、【ホワイトバランス調整】 画面で調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

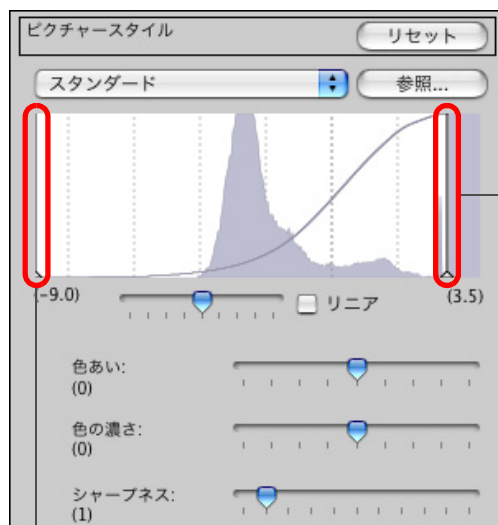
索引



ダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整する

暗部から明部にかけてのダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整することができます。シャドウポイントを右寄りにするほど暗部の階調がなくなり、画像が暗くなります。また、ハイライトポイントを左寄りにするほど明部の階調がなくなり、画像が明るくなります。

なお、シャドウポイントとハイライトポイントの間隔が狭くなるほど、明部から暗部にかけての階調が狭くなります。



左に動かしてハイライトポイントを設定

右に動かしてシャドウポイントを設定

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

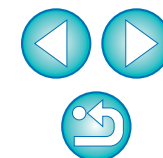
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

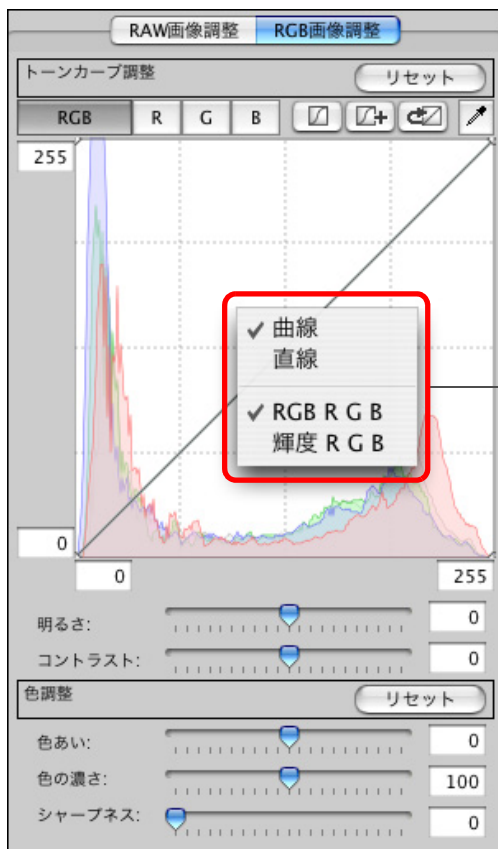


トーンカーブ調整

トーンカーブを変えることで、特定領域の明るさ、コントラスト、色を調整することができます。

1 ツールパレットの【RGB 画像調整】タブを選ぶ

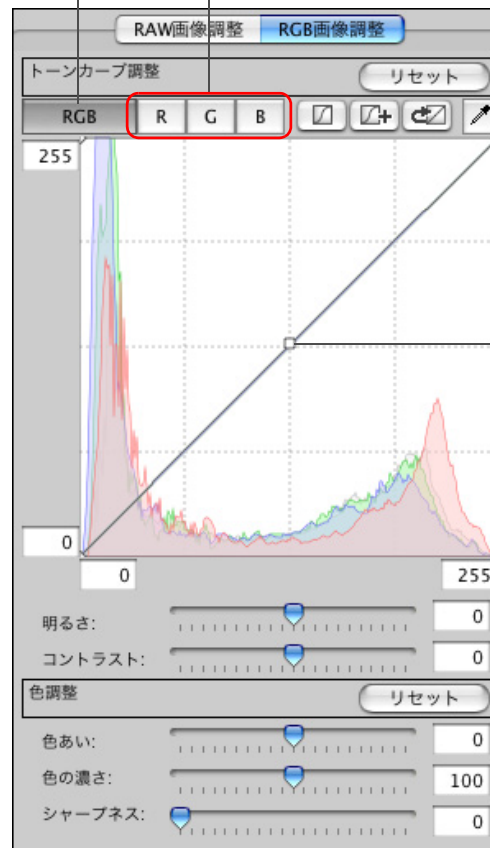
2 トーンカーブの種類と結び方を選ぶ



グラフ内〈control〉 + クリックでメニュー表示

3 調整する

RGBを一括して調整
個別のチャンネルで調整



クリックして【□】
(ポイント)を追加
【□】をドラッグして
調整

- 横軸は入力レベル、縦軸は出力レベルを示しています。
- 【□】の数は最大8個です。
- 【□】を消すときはダブルクリックします。



- ヒストグラム表示は調整に応じて変化しますが、調整前のヒストグラム表示に固定することもできます。(p.52)
- トーンカーブの種類、トーンカーブの結びかたは、【環境設定】で変えることもできます。(p.52)

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

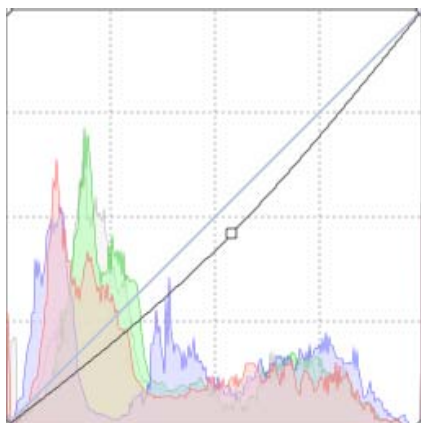


トーンカーブの操作例

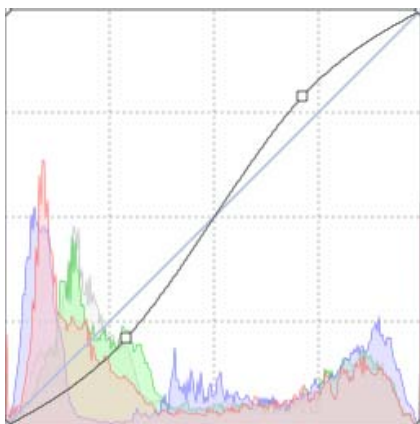
中間調を明るくする



中間調を暗くする



硬調にする



軟調にする



【RGB 画像調整】 ツールパレットの機能について

【RGB 画像調整】 ツールパレットには以下の機能もあり、詳しい操作方法は、5章で説明します。

- クリックホワイトバランス
- ダイナミックレンジ（階調表現幅）調整
- 色あい、色の濃さ、シャープネス調整

ただし、【RAW 画像調整】 ツールパレットにも上記と同様の機能があります。RAW 画像を調整するときは、【RAW 画像調整】 ツールパレットを使った、下記ページでの調整をおすすめします。

- 「クリックホワイトバランスを使う」(p.23)
- 「ダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整する」(p.40)
- 「色あい、色の濃さを変える」(p.20)
- 「シャープネス（鮮鋭度）を調整する」(p.22)

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



自動ゴミ消し処理をする

ゴミ消し情報（ダストデリートデータ）が付けられるカメラで、撮影した画像にダストデリートデータが付いているときは、そのデータを使用してゴミやホコリを自動的に消すことができます。なお、ゴミ消した画像は、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存（p.29）すると、ゴミ消した画像になります。

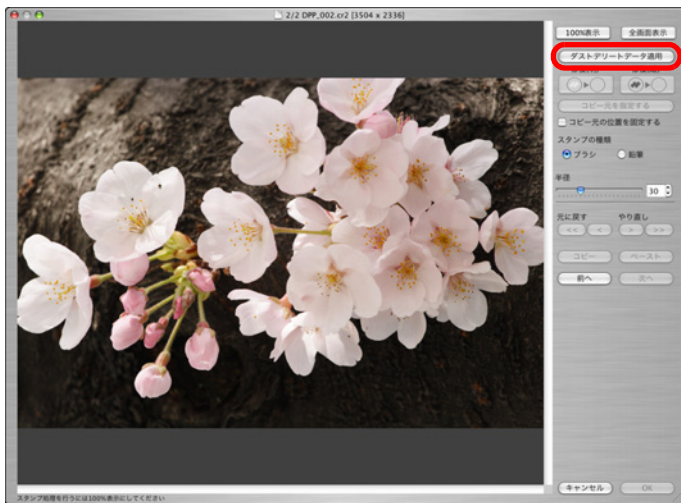
1 メイン画面でダストデリートデータの付いた画像を選ぶ

2 メニューの【ツール】▶【コピースタンプツールを起動】を選ぶ

→ コピースタンプ画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったら、【ダストデリートデータ適用】ボタンを押す

コピースタンプ画面



→ ゴミやホコリが一括して消されます。

- ゴミ消された箇所は、〈F〉キーを押して1箇所ずつ確認することができます。（〈B〉キーを押すと1つ前の箇所に戻ります）また、表示しているゴミ消し箇所のゴミ消しだけをキャンセルするには、〈delete〉キーを押します。

4 【OK】ボタンを押してメイン画面に戻る

→ ゴミを消した画像には、【人】マーク（p.81）が表示されます。

5 別画像に変換して保存する

- JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存（p.29）することで、ゴミが消された画像になります。

⚠ 「レシピを付けて保存」（p.28）をしても、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、ゴミの消えた画像にはなりません。JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存してください。（p.29）

- 📄 ● ゴミを消した画像は、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。（p.28）
- ゴミを消した画像の確認は、コピースタンプ画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- 自動ゴミ消し処理は、ダストデリートデータに保存されているゴミやホコリに関する情報を元に、ゴミが消されます。ただし、画像に写り込んだゴミやホコリの種類によっては、消せないことがあります。そのときは、リペア機能（p.44）やコピースタンプ機能（p.46）を使ってゴミやホコリを個別に消してください。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉 + 〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。

メイン画面での自動ゴミ消し処理

ダストデリートデータが付いた画像の自動ゴミ消しを、メイン画面でも行うことができます。

ダストデリートデータの付いた画像を選んで、メニューの【調整】▶【ダストデリートデータ適用】を選ぶ

→ 選んだ画像のゴミやホコリが一括して消去されます。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

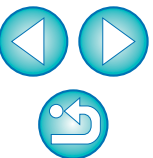
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）

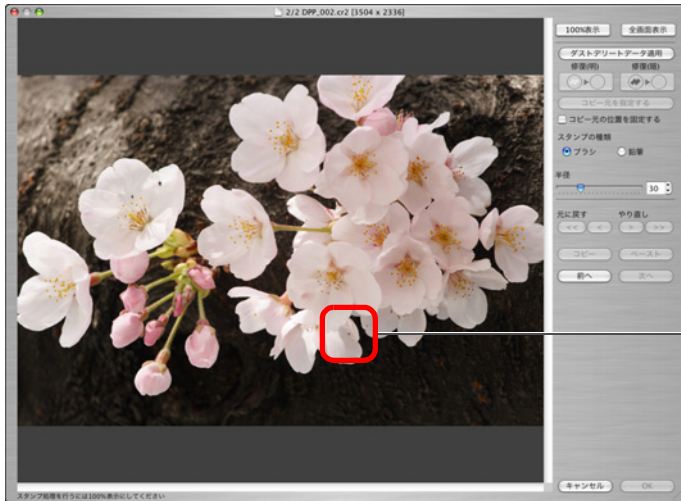
画像に写り込んだ点状のゴミやホコリを、1箇所ずつ選んで消すことができます。なお、ゴミ消した画像は、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) すると、ゴミ消した画像になります。

1 メイン画面でゴミを消したい画像を選ぶ

2 メニューの【ツール】▶【コピースタンプツールを起動】を選ぶ

→ コピースタンプ画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったらゴミ消したい箇所をダブルクリックする



ダブル
クリック

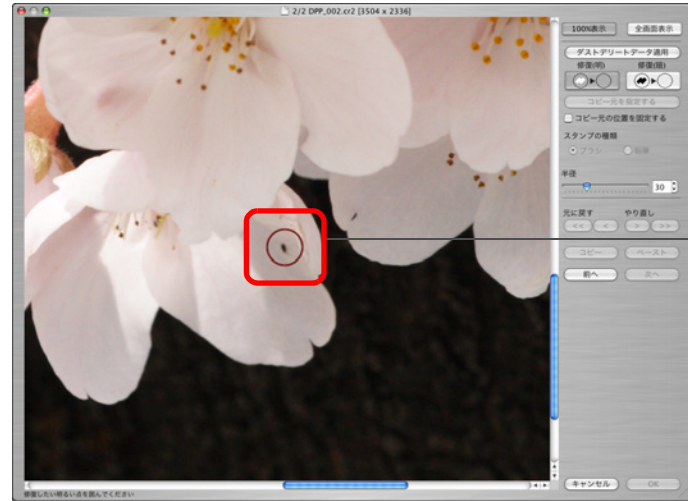
→ 100%表示になります。

- ドラッグすると表示位置を変えることができます。
- 【100%表示】 ボタンを押して 100%表示にすることもできます。

4 消したいゴミにあったボタンを押す

- 黒っぽいゴミのときは【▶】 ボタンを、白っぽいゴミのときは【▶】 ボタンを押します。
- 画像上にカーソルを移動すると、ゴミ消しする範囲が【○】で表示されます。

5 消したいゴミを【○】の中に入れてクリックする



クリック

→ 【○】内のゴミが消されます。

- 表示されている別の箇所をクリックすると、続けてゴミ消することができます。
- 別の箇所のゴミを消すときは、手順 4 で押したボタンを再度押してゴミ消し処理を一旦解除し、手順 3 からの操作を再度行ってください。
- ゴミ消しできないときは、【】が表示されます。

6 【OK】 ボタンを押してメイン画面に戻る

→ ゴミを消した画像には、【】マーク (p.81) が表示されます。

7 別画像に変換して保存する

- JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) することで、ゴミが消された画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

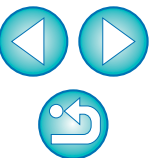
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

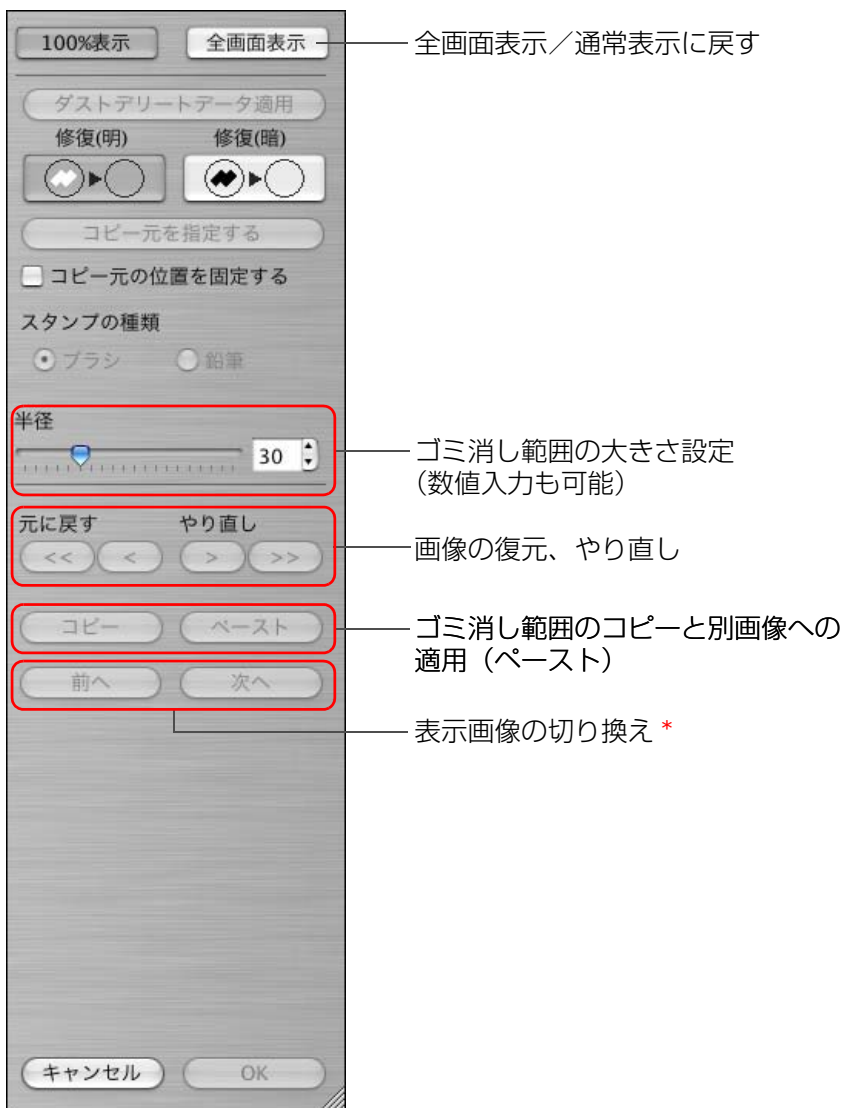
JPEG
画像編集

資料

索引



リペア機能の機能一覧



* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

- 複数の画像に同じ位置のゴミ消しを適用するときは、【コピー】、【ペースト】 ボタンを使って適用することができます。

⚠ 「レシピを付けて保存」 (p.28) をしても、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、ゴミの消えた画像にはなりません。JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存してください。 (p.29)

- ゴミを消した画像は、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。 (p.28)
- ゴミを消した画像の確認は、コピースタンプ画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- ゴミ消しの範囲を設定する【半径】は、5～100（1ピクセル単位）の範囲で設定することができます。
- リペア機能でゴミ消しできるのは、点状のゴミやホコリです。線状のゴミやホコリは消せない場合がありますので、そのときはコピースタンプ機能 (p.46) で消してください。
- 複数のゴミを消したときは、〈B〉キーを押すと1つ前、〈F〉キーを押すと1つ先のゴミ消し箇所が順番に表示されます。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉 + 〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

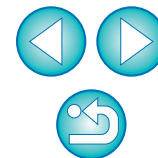
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



画像の不要な箇所を消す（コピースタンプ機能）

画像上の不要な箇所に、別の部分からコピーした画像をペーストして修正することができます。なお、修正した画像は、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存 (p.29) すると、修正した画像になります。

1 「手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）」(p.44) の手順 3 までの操作をする

2 コピーする箇所を指定する

- **【コピー元を指定する】** ボタンを押して、画像上のコピー元となる箇所をクリックします。
- コピー元となる箇所を変更するときは、再度上記の操作を行ってください。
- <option> キーを押しながらコピーする部分をクリックして指定することもできます。
- コピー元の位置を固定するときは、**【コピー元の位置を固定する】** にチェックを入れてください。

3 画像を修正する

- 画像上の修正したい箇所をクリックまたはドラッグします。画面上の **【+】** がコピー元、**【○】** がコピー先になります。
- コピー元の画像がドラッグした位置にペーストされます。
- **【スタンプの種類】** は、**【ブラシ】**（境界線がブラシ上にぼかして処理されます）と **【鉛筆】**（境界線がはっきりと処理されます）から選ぶことができます。
- 以降は、「手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）」(p.44) の手順 6、7 と同じ操作を行います。

Photoshop に RAW 画像を転送する

RAW 画像を TIFF 16bit 画像に変換して Photoshop に転送することができます。

メニューの **【ツール】 ▶ 【Photoshop へ転送】** を選ぶ

→ Photoshop が起動して、転送された画像が表示されます。



- 対応する Photoshop のバージョンは、CS2、CS、7.0 です。
- 1 度に転送できる画像は 1 枚です。複数の画像を同時に転送するときは、「一括して別の画像編集用ソフトウェアに転送する」(p.60) を参照してください。
- 転送した画像は、自動的に TIFF 16bit 画像に変換され、ICC プロファイルが付加されます。ICC プロファイルには、**【環境設定】** (p.53) または、下記の画像ごとに設定した作業用色空間の情報が記載され、適切な色情報を Photoshop に伝達できます。

作業用色空間を設定する

初期設定 (p.53) とは別の作業用色空間を、RAW 画像ごとに設定することができます。

メニューの **【調整】 ▶ 【作業用色空間】 ▶ 設定する色空間の項目** を選ぶ



- RAW 画像は画像処理条件の情報に変更されるだけなので、いつでも自由に色空間を変えることができます。
- 初期設定とは別の色空間を画像に設定すると、初期設定の色空間 (p.53) を変更しても適用されません。上記の操作で画像ごとに変更してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

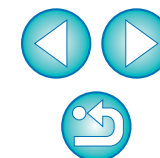
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引




撮影情報を付けて印刷する

1枚の用紙に1つの画像を自由にレイアウトして、入力したタイトルや撮影情報などを一緒に印刷することができます。

- 1 印刷する1枚の画像を選ぶ
- 2 メニューの【ファイル】▶【詳細指定印刷】を選ぶ
- 3 必要な設定を行い【プリント】ボタンを押す



- 画像はドラッグ操作で移動することができます。
- 画像の四隅をドラッグすると、大きさを変えることができます。
- 撮影情報は、【文字】タブ画面の【】を押すと表示される画面で必要な項目を選びます。



- DPP で選んだ1枚の画像を印刷することができます。
- プリンターのプロファイルを設定することができます。(p.53、p.54)
- CMYK シミュレーションを設定したときは、設定した色味で印刷されます。(p.53、p.54)
- 手順3で設定した内容は、【適用】ボタンを押すと記憶されます。(【文字】タブ画面の設定内容は除く)

一覧印刷 (コンタクトシート印刷)

1枚の用紙に複数の画像を並べて印刷することができます。

- 1 一覧印刷する画像を選ぶ
- 2 メニューの【ファイル】▶【コンタクトシート印刷】を選ぶ
- 3 必要な設定を行い【プリント】ボタンを押す



印刷イメージ



- プリンターのプロファイルを設定することができます。(p.53、p.54)
- CMYK シミュレーションを設定したときは、設定した色味で印刷されます。(p.53、p.54)
- 手順3で設定した内容は、【適用】ボタンを押すと記憶されます。(【文字】タブ画面の設定内容は除く)

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

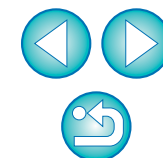
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



キヤノン製ハイエンドプリンターでRAW 画像を印刷する

PIXUS プリンターとの連携印刷

Easy-PhotoPrint Pro（印刷用ソフトウェア）に対応した PIXUS プリンターをお持ちの方は、DPP との連携による下記の特徴を備えた印刷を簡単な操作で行うことができます。

- RAW 画像の簡単印刷
- 忠実な色味による印刷
- Adobe RGB などの広域色空間と PIXUS プリンターの広域色再現領域を活用した高画質印刷

なお、連携した印刷を行うには、事前にバージョン 1.0 以降の Easy-PhotoPrint Pro をパソコンにインストールしてください。

1 メニューの【ファイル】 ▶ 【プラグイン印刷】 ▶ 【Easy-PhotoPrint Pro で印刷】 を選ぶ

→ Easy-PhotoPrint Pro が起動します。

2 印刷に必要な設定をして印刷する



- DPP で選んだ 1000 枚までの画像を、1 度に印刷することができます。
- 設定した出力解像度（p.50、p.51）、切り抜き（トリミング）（p.26）、CMYK シミュレーション（p.53、p.54）は適用されません。
- 色空間（p.46、p.53）を Adobe RGB など、sRGB よりも広域な色空間に設定すると、PIXUS プリンターの色再現領域が十分に活用されて、sRGB の色空間に設定された画像よりも色域が広く、忠実な色味の画像を印刷することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

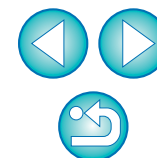
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



キヤノン製大判プリンターとの連携印刷

キヤノン製の大判プリンター imagePROGRAF iP F5000 をお持ちの方は、DPP と連携した印刷を行うことができます。なお、連携した印刷を行うには、事前に imagePROGRAF Print Plug-In バージョン 2.0 以降をパソコンにインストールしてください。

1 メニューの【ファイル】 ▶ 【プラグイン印刷】 ▶ 【iPF5000 Print Plug-In】を選ぶ

→ imagePROGRAF Print Plug-In が起動します。

2 印刷に必要な設定をして印刷する

- DPP で選んだ 1 枚の画像を印刷することができます。
- 設定した出力解像度 (p.50、p.51)、CMYK シミュレーション (p.53、p.54) は適用されません。
- 色空間 (p.46、p.53) を Adobe RGB など、sRGB よりも広域な色空間に設定すると、imagePROGRAF iP F5000 の色再現領域が十分に活用されて、sRGB の色空間に設定された画像よりも色域が広く、忠実な色味の画像を印刷することができます。

環境設定について

DPP の各種機能を環境設定画面で変更することができます。各画面の表示内容を確認して設定してください。

なお、【基本設定】(p.50)、【ツールパレット】(p.52)、【カラーマネージメント】(p.53) では、詳細な内容を記載している項目もあります。

1 メニューの【Digital Photo Professional】 ▶ 【環境設定】を選ぶ

→ 【環境設定】画面が表示されます。

2 設定するタブを選び、各項目を設定して【OK】ボタンを押す



はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

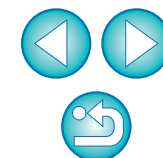
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

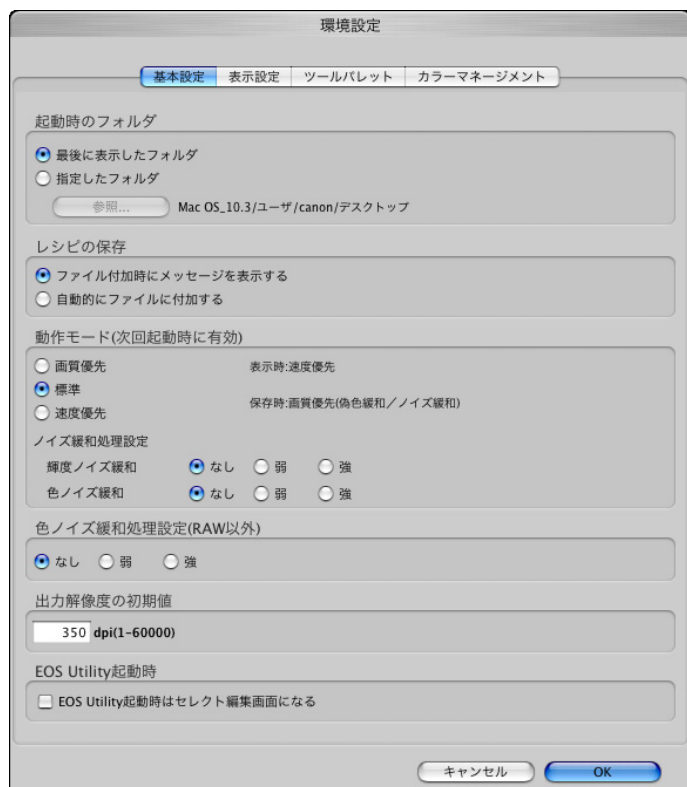
資料

索引



基本設定

DPP 起動時に開くフォルダの指定、RAW 画像の表示画質／変換して保存したときの画質、ノイズ緩和の有無など、基本的な環境設定を行うことができます。



●動作モード

RAW 画像の表示画質と、RAW 画像を変換して保存 (p.29、p.59) したときの画質の組み合わせを 3 種類の中から選ぶことができます。

[画質優先]

RAW 画像の表示と、変換して保存したときの両方でノイズ（偽色、輝度ノイズ、色ノイズ）緩和処理を行うため、より高画質になります。ただし、画像の表示や変換して保存するときには時間がかかります。

[標準]

RAW 画像の表示ではノイズ（偽色、輝度ノイズ、色ノイズ）緩和処理を行わないため、[画質優先] に比べて画像の表示速度が向上します。変換して保存するときは [画質優先] 同様、ノイズ緩和処理が行われます。

[速度優先]

RAW 画像の表示と、変換して保存するときの両方でノイズ（偽色、輝度ノイズ、色ノイズ）緩和処理を行いません。そのため、画像の表示速度、変換して保存するときの速度が向上します。

●動作モードのノイズ緩和処理設定

夜景や高 ISO 感度で撮影した RAW 画像のノイズを緩和することができます。設定したときは、[動作モード] で [画質優先] を選ぶと、ノイズ緩和の効果を画面上で確認することができます。



[輝度ノイズ緩和] を設定したときは、ノイズの緩和にともなって、解像度が低下することがあります。また、[色ノイズ緩和] を設定したときは、色にじみがおきることがあります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集


資料

索引



●色ノイズ緩和処理設定 (RAW 以外)

夜景や高 ISO 感度で撮影した JPEG 画像のノイズを緩和することができます。設定したときは、**【動作モード】** で **【画質優先】** を選ぶと、ノイズ緩和の効果を画面上で確認することができます。

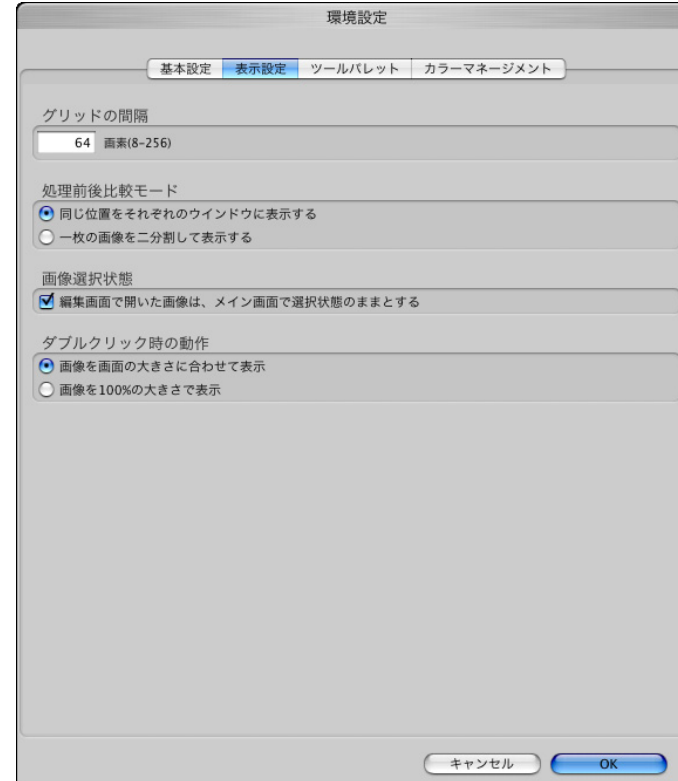
 設定したときは、ノイズ緩和にともなって、色にじみがおきることがあります。

●出力解像度の初期値

RAW 画像を JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存 (p.29、p.59) するときの解像度を設定することができます。

表示設定

編集前後比較の画像表示形式 (p.38) など、表示に関する環境設定を行うことができます。



はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

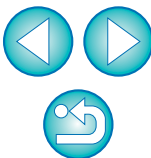
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引




ツールパレット

編集画面やセレクト編集画面の、ツールパレットに関する環境設定を行うことができます。



● RGB 画像調整のトーンカーブモードの初期設定

設定を変更したときは、DPP を再起動すると設定内容が適用されます。

 **[RGB] マーク (p.81)** が表示されている画像には変更が適用されません。個別に変更してください。(p.41、p.67)

● ピクチャースタイル設定

ピクチャースタイルの項目別に設定した、**[コントラスト]**、**[色あい]**、**[色の濃さ]**、**[シャープネス]** を画像ごとに記憶させておくことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

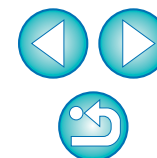
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

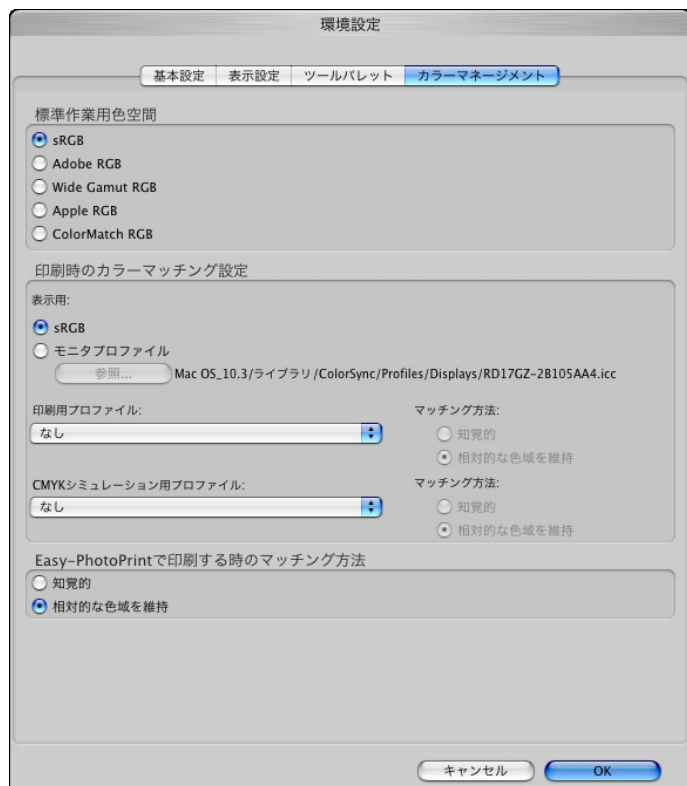
資料

索引



カラーマネージメント

作業用色空間の設定やカラーマッチングの条件など、カラーマネージメントに関する環境設定を行うことができます。



●標準作業用色空間の設定

RAW 画像に初期設定として適用する色空間 (p.89) を 5 種類の中から選ぶことができます。設定した色空間は、RAW 画像を変換して保存 (p.29、p.59) するときや印刷 (p.12、p.30、p.33、p.47、p.48、p.49) するときの色空間として適用されます。

- 設定を変更したときは、DPP を再起動すると、初期設定の色空間として画像に適用されます。
- 画像に設定されている色空間は、編集画面 (p.82)、セレクト編集画面 (p.85) で確認することができます。

- 初期設定の色空間を変更しても、レシピの付いた画像の色空間は変わりません。個別に変更してください。(p.46)
- 初期設定とは別の色空間を、画像ごとに設定することができます。(p.46)

●表示用の設定 (モニターの色設定)

使用するディスプレイ (モニター) にプロファイル (p.88) が付いているときは、プロファイルを設定することで、より正確な色味で画像を表示することができます。

- 【モニタープロファイル】にチェックを入れて、【参照】ボタンを押すと表示される画面で、モニターのプロファイルを選びます。

- 市販のモニター測色機を使って作成したプロファイルを使うと、より高精度な色味で画像を表示することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

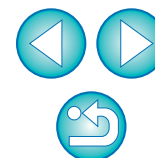
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



●印刷用プロファイル（プリンターの色味設定）

印刷するプリンターにプロファイル（p.88）が付いているときは、プロファイルを設定することで、画面表示の色味に近づけて画像を印刷することができます。設定したプロファイルは、連携印刷（p.30、p.48、p.49）を除くすべての印刷（p.12、p.33、p.47）で適用されます。



- プリンタードライバの画像調整機能は設定しないでください。画面表示の色味とは違った色味で印刷されることがあります。
- キヤノン製インクジェットプリンターを使った連携印刷では、プロファイル設定が自動的に行われるため、簡単に忠実な色味で印刷することができます。（p.30、p.48、p.49）

●CMYK シミュレーション用プロファイルの設定

印刷機などの CMYK 環境で印刷したときの色味を 4 種類のプロファイル（p.89）から選び、画面上でシミュレーションすることができます。

- CMYK シミュレーションを設定したときは、メイン画面、編集画面、セレクト編集画面の各画面の下に【CMYK】が表示（p.80、p.82、p.85）されて、色味を確認することができます。
- CMYK シミュレーションを一時的に解除するときは、〈スペース〉キーを押します。

●Easy-PhotoPrint で印刷する時のマッチング方法

Easy-PhotoPrint の連携印刷時のマッチング方法を設定することができます。（p.30、p.89）

- 通常は【**相対的な色域を維持**】に設定しておきます。
- 【**相対的な色域を維持**】で印刷した写真が好みの色味にならないときは、【**知覚的**】に設定します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

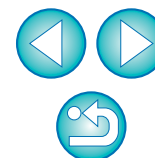
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



4 大量の RAW 画像処理に役立つ機能



スタジオ撮影をされるプロの方々を前提に、大量の RAW 画像の一括処理に便利な機能について説明します。

調整した内容を活用する (レシピデータ).....	56
レシピをファイルとして保存する	57
レシピを読み込んでペーストする	57
レシピをコピーして別の画像に適用する	57
一括してホワイトバランスを適用する (カスタムホワイトバ ランス)	58
登録する	58
適用する	58
一括して JPEG 画像、TIFF 画像で保存する (バッチ処理)..	59
一括して別の画像編集用ソフトウェアに転送する	60
一括して画像のファイル名を変える	61

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

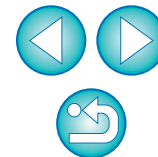
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資 料

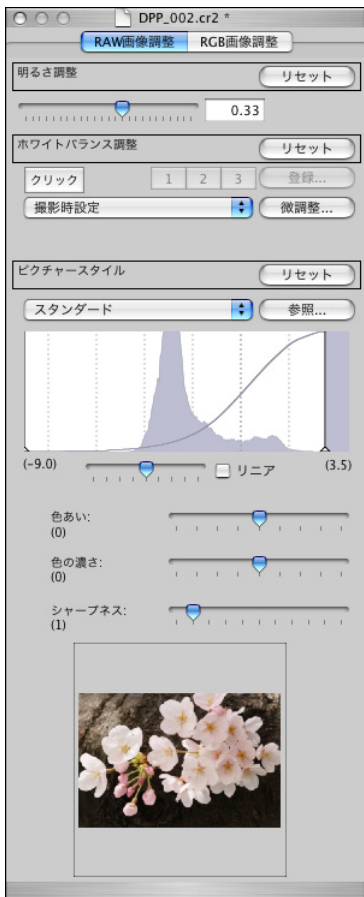
索 引



調整した内容を活用する（レシピデータ）

ツールパレットで調整したすべての編集内容（画像処理条件の情報）を、画像とは別の単独ファイルとして保存し、読み込んで別の画像に適用したり、コピーして別の画像に適用することができます。DPP では、この編集内容を「レシピ」という名称のファイル（拡張子が .vrd のファイル）として扱うことができます。

同一光源で撮影した大量画像の中から 1 枚の画像を選んで調整し、この調整結果を大量の画像に一括適用することで、効率的な画像編集を行うことができます。



ツールパレットで調整した内容は、「レシピデータ」（拡張子「.vrd」）として単独で扱うことができます。



レシピデータは、**【RGB 画像調整】** ツールパレットで編集した内容も含まれます。ただし、RAW 画像でしか調整できない **【RAW 画像調整】** ツールパレットの調整内容を JPEG 画像や TIFF 画像にペーストしても反映されません。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

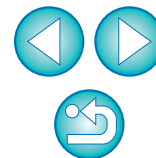
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



レシピをファイルとして保存する

- 1 編集した画像を選び、メニューの【編集】▶【レシピをファイルに保存】を選ぶ
→【保存】画面が表示されます。
- 2 保存先を選び、ファイル名を入力して【保存】ボタンを押す

⚠ レシピデータは画面上では、【レシピデータ：あり】(p.80) の表示でしか確認することができません。そのため、編集内容がわかるようなファイル名や編集内容をテキスト情報として別途記録しておくことをおすすめします。

レシピを読み込んでペーストする

- 1 レシピを適用する画像を選び、メニューの【編集】▶【レシピをファイルから読み込んでペースト】を選ぶ
→【開く】画面が表示されます。
- 2 レシピを選んで【開く】ボタンを押す
→レシピが画像に適用されます。

レシピをコピーして別の画像に適用する

編集した画像のレシピをコピーして、別の画像に適用することができます。

- 1 レシピをコピーする画像を選び、メニューの【編集】▶【レシピをクリップボードにコピー】を選ぶ
→レシピがコピーされます。
- 2 レシピを適用する画像を選び、メニューの【編集】▶【レシピを選択画像にペースト】を選ぶ
→レシピが画像に適用されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

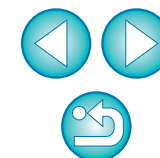
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

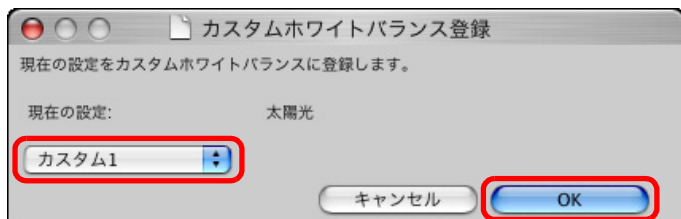


一括してホワイトバランスを適用する (カスタムホワイトバランス)

特定環境で撮影した画像のホワイトバランスを調整し、カスタムホワイトバランスに登録することで、一括して大量の画像に特定環境のホワイトバランスを適用することができます。

登録する

- 1 ホワイトバランスを調整する
- 2 **[RAW 画像調整]** ツールパレットの **[登録]** ボタンを押す
→ **[カスタムホワイトバランス登録]** 画面が表示されます。
- 3 リストから登録するボタン番号を選び、**[OK]** ボタンを押す



適用する

- 1 メイン画面で適用する画像を選ぶ
- 2 ツールバーの **[ホワイトバランス]** ボタンを押す
→ **[ホワイトバランス調整]** 画面が表示されます。
- 3 適用するカスタムホワイトバランスの番号ボタンを押す



→ 選んだすべての画像にカスタムホワイトバランスが適用されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

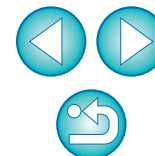
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



一括して JPEG 画像、TIFF 画像で保存する (バッチ処理)

編集した RAW 画像を、汎用性の高い JPEG 画像や TIFF 画像に一括変換して保存することができます。

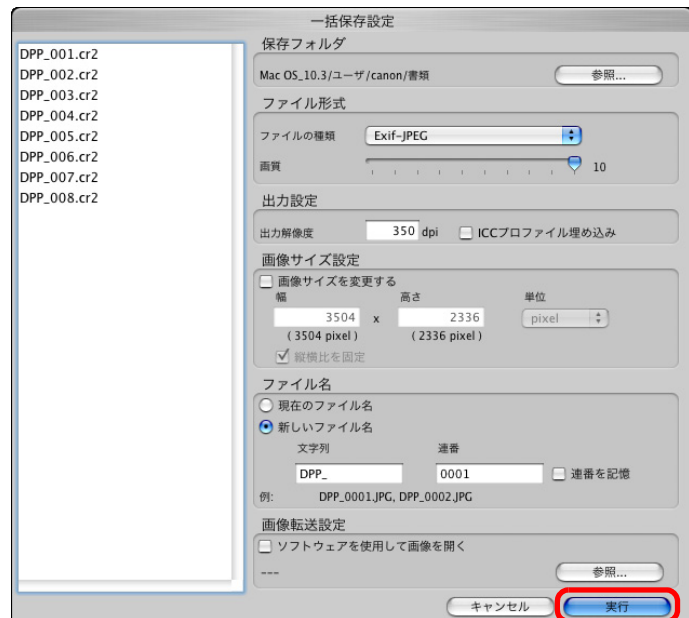
また、切り抜き (トリミング) (p.26) や、ゴミ消し (p.43、p.44、p.46) した RAW 画像は、JPEG 画像または TIFF 画像に変換して保存すると、切り抜いた画像または、ゴミ消した画像になります。

1 変換する複数の画像をメイン画面で選ぶ

2 ツールバーの【一括保存】ボタンを押す (p.80、p.85)

→【一括保存設定】画面が表示されます。

3 必要な設定を行い【実行】ボタンを押す



→ 処理画面が表示され、保存が開始されます。

→ すべての画像が保存されると、処理画面が表示されます。

4 処理画面の【終了】ボタンを押す



- 【一括保存設定】画面では、編集した RAW 画像を「レシピを付けて保存」することはできません。個別に「レシピを付けて保存」(p.28)を行ってください。
- 【ファイル名】で【新しいファイル名】を選んだときは、【連番】を設定します。
- 保存機能は単独で動作するため、保存中はメイン画面など、他の画面操作を並行して行うことができます。
- 画像を選んでいない状態で手順2の操作を行ったときは、メイン画面またはセレクト編集画面で表示しているすべての画像が保存の対象になります。
- 切り抜き (トリミング) (p.70) や、ゴミ消し (p.72、p.73、p.75) した JPEG 画像、TIFF 画像を本ページの操作で保存すると、切り抜いた画像または、ゴミ消した別画像として保存することができます。
- この画面の機能一覧は、p.87を参照してください。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



一括して別の画像編集用ソフトウェアに転送する

複数の画像を画像編集用ソフトウェアに転送することができます。ここでは、Adobe Photoshop CS を例にしています。

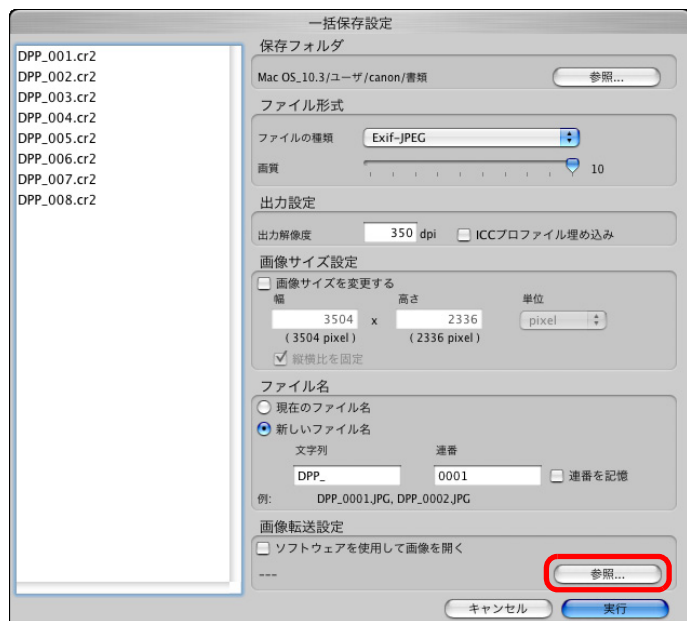
1 転送する複数の画像を選ぶ

2 ツールバーの【一括保存】ボタンを押す

→【一括保存設定】画面が表示されます。

3 ファイル形式など転送に必要な設定を行う

4 【参照】ボタンを押す



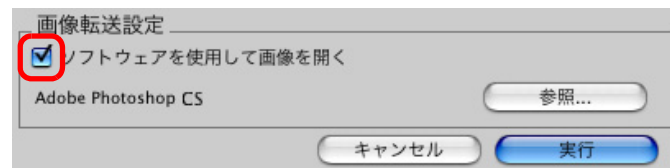
→【開く】画面が表示されます。

5 Photoshop CS を選ぶ

●【開く】画面で Photoshop CS を選び、【開く】ボタンを押します。

→【開く】画面が閉じ、【一括保存設定】画面の【画像転送設定】に Photoshop CS が設定されます。

6 チェックを入れる



7 【実行】ボタンを押す

→ 処理画面が表示され、一括転送が開始されます。

→ 1 枚目の画像が転送されると Photoshop CS が起動して、転送した順に画像が表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

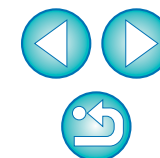
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



一括して画像のファイル名を変える

- 1 メイン画面でファイル名を変更する複数の画像を選ぶ
- 2 メニューの【ツール】 ▶ 【リネームツールを起動】 を選ぶ
→ リネーム画面が表示されます。
- 3 必要な設定を行い【実行】 ボタンを押す
→ 処理が開始され、ファイル名が変更されます。

新しいファイル名を設定

ファイル名に入る情報の書式設定

画像の並び順

同時記録された RAW 画像と JPEG 画像を同名にするときはチェック

画像をコピーするときにはチェック
【参照】 ボタンを押して保存先を設定

【変更後のファイル名】 に赤字のファイル名が表示されたときは、ファイル名が重複しています。1 つでもファイル名が重複していると変更はできません。重複しないよう、各種の設定を変更してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



5 JPEG 画像、TIFF 画像を編集する



DPP は、高度な RAW 画像編集を主目的に開発されたソフトウェアですが、JPEG 画像や TIFF 画像の編集機能も備えています。ここからは、主に JPEG 画像の編集と保存についてまとめて説明します。

JPEG 画像、TIFF 画像を編集する	63
明るさと色を自動的に調整する (トーンカーブアシスト) ..	64
明るさ、コントラスト (明暗差) を調整する	65
色あい、色の濃さ、シャープネス (鮮鋭度) を調整する...	66
トーンカーブ調整	67
クリックホワイトバランスを使う	68
ダイナミックレンジ (階調表現幅) を調整する	69
画像を切り抜く (トリミング)	70
自動ゴミ消し処理をする	72
メイン画面での自動ゴミ消し処理	72
手動でゴミ消し処理をする (リペア機能)	73
画像の不要な箇所を消す (コピースタンプ機能)	75
編集をやり直す	75
編集結果を保存する	76
レシピを付けて保存する	76
切り抜き (トリミング) やゴミ消しした画像を保存する...	76

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

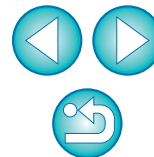
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



JPEG 画像、TIFF 画像を編集する

DPP では、JPEG 画像や TIFF 画像も、RAW 画像と同じように【RGB 画像調整】ツールパレットで編集することができます。

DPP の編集は、画像データを直接調整するのではなく、「画像処理条件の情報」（レシピデータ）を画像に付け、その情報を変更することで画像を調整します。

そのため、「オリジナル画像データ」を劣化させることなく編集を行うことができます。



JPEG 画像、TIFF 画像データ

画像処理条件の情報

また、DPP では編集した JPEG 画像、TIFF 画像を以下の方法で保存することができます。

- レシピを付けて保存 (p.76) すると、オリジナルの JPEG 画像または TIFF 画像は、まったく劣化なく保存されます。
- 別画像として保存 (p.29、p.59) すると、調整結果が反映された別の JPEG 画像または TIFF 画像として保存されます。この場合は、一般の画像編集用ソフトウェア同様、編集／保存にともなって画質が多少劣化します。

DPP では、【RGB 画像調整】ツールパレットを使用して、JPEG 画像、TIFF 画像に以下の調整を行うことができます。

調整項目	ツールパレット
	RGB 画像調整
明るさ	○
クリックホワイトバランス	○
コントラスト	○
色あい	○
色の濃さ	○
シャープネス	○
ダイナミックレンジ	○
自動調整	○
トーンカーブ	○



【RGB 画像調整】ツールパレットでの編集は、RAW 画像でも行うことができます。ただし、下記の機能は、【RAW 画像調整】ツールパレットにも同様の機能がありますので、RAW 画像を調整するときは、【RAW 画像調整】ツールパレットを使った、下記ページでの調整をおすすめします。

- 「クリックホワイトバランスを使う」 (p.23)
- 「ダイナミックレンジ（諧調表現幅）を調整する」 (p.40)
- 「色あい、色の濃さを変える」 (p.20)
- 「シャープネス（鮮鋭度）を調整する」 (p.22)

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

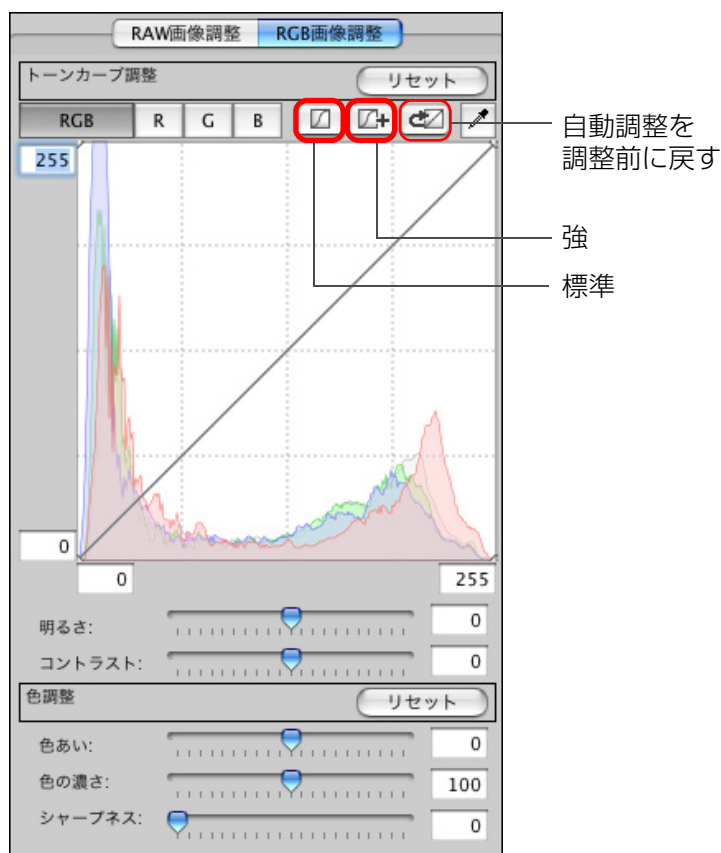
索引



明るさと色を自動的に調整する（トーンカーブアシスト）

好ましいと感じる標準的な画像になるよう、「明るさ」と「色」が自動調整されます。自動調整の度合いは、「標準」と「強」から選ぶことができます。

目的の自動調整ボタンを押す



→ 調整すると、トーンカーブが変化します。

- **標準**：標準の自動調整です。ほとんどの画像に対応できます。
- **強**：標準の自動調整では効果が弱いときに使用します。

! **【色あい】** ボタンを押すと、トーンカーブの他に、**【RGB 画像調整】** ツールパレットの**【色あい】**、**【色の濃さ】** が初期値に戻ります。個別に**【色あい】**、**【色の濃さ】** を調整したときは注意してください。

- 自動調整（トーンカーブアシスト）は、画像のトーンカーブ（調整前と調整後の画像の明るさと、色の濃さをグラフ化したもの）を自動的に調整して画像の明るさや色を調整する機能です。また、以下の画像では期待した調整結果にならないことがあります。
 - ・適正な露出で撮影された画像
 - ・明るさが偏っている画像
 - ・暗すぎる画像
 - ・極端な逆光画像
- メイン画面でも、メニューの**【調整】** ▶ **【トーンカーブアシスト標準】** または、**【トーンカーブアシスト強】** を選ぶと調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

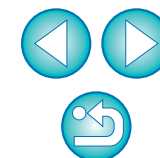
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

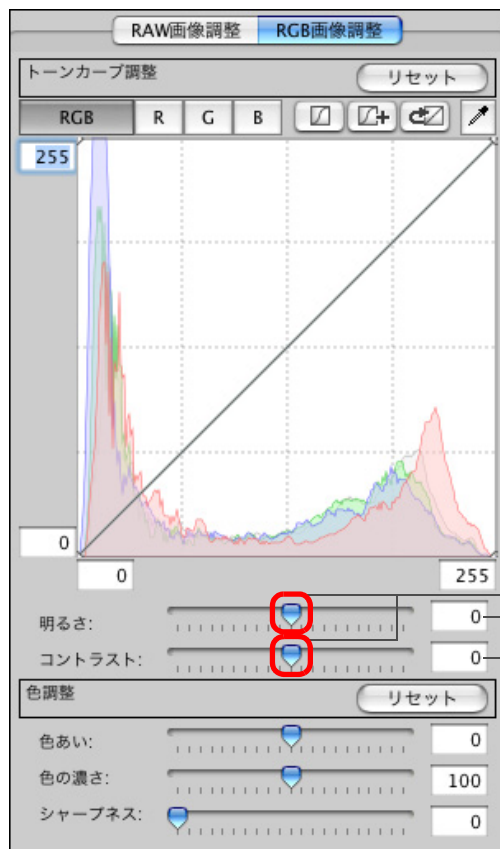
資料

索引



明るさ、コントラスト（明暗差）を調整する

画像の明るさとコントラスト（明暗差）を調整することができます。



左右に動かす

数値を入力

- **明るさ**： スライダーを右に動かすと画像が明るくなり、左に動かすと暗くなります。
- **コントラスト**： 色のメリハリや明暗差の強弱（コントラスト）を調整するときに使います。スライダーを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。



- 調整範囲は、- 100 ~ + 100（数値入力では 1 単位）です。
- メイン画面でも、メニューの【調整】 ▶ 【明るさ調整】 を選んで表示される、【明るさ調整】 画面で調整することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

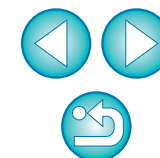
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集


資料

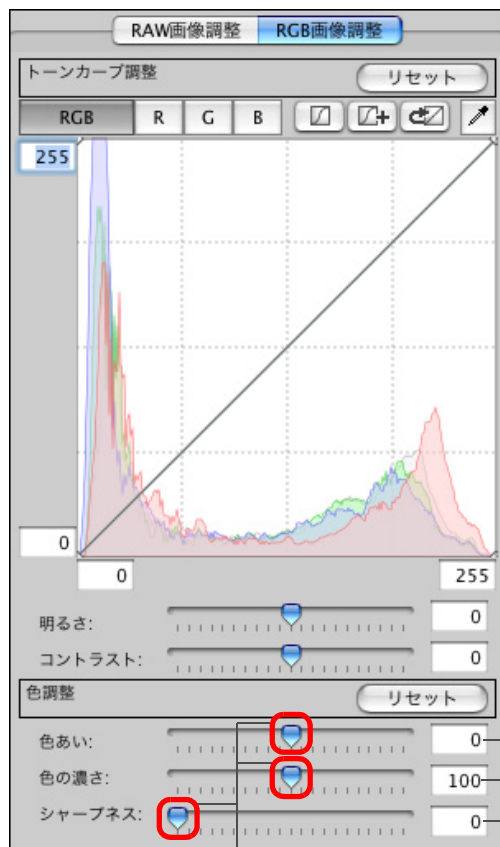
索引



色あい、色の濃さ、シャープネス（鮮鋭度）を調整する

肌の色あいや全体的な色の濃さを調整したり、画像全体の雰囲気をつややかに（ねむい）、または硬い（シャープな）感じにすることができます。

 調整範囲は、-100～+100（数値入力では1単位）です。



左右に動かす

- **色あい**： スライダーを右に動かすと色が黄色寄りになり、左に動かすと色が赤色寄りになります。
- **色の濃さ**： スライダーを右に動かすと色が濃くなり、左に動かすと色が薄くなります。
- **シャープネス**：スライダーを右に動かすと硬い（シャープな）感じになり、左に動かすと柔らかい（ねむい）感じになります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

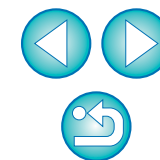
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

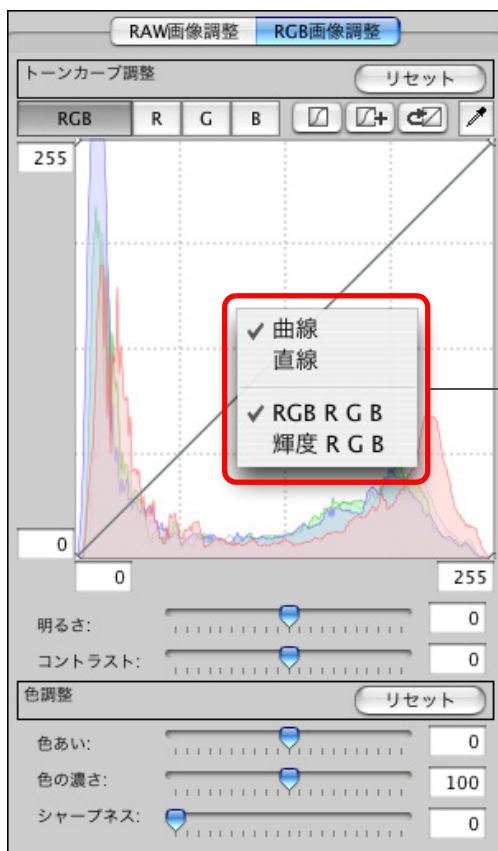
索引



トーンカーブ調整

トーンカーブを変えることで、特定領域の明るさ、コントラスト、色を調整することができます。

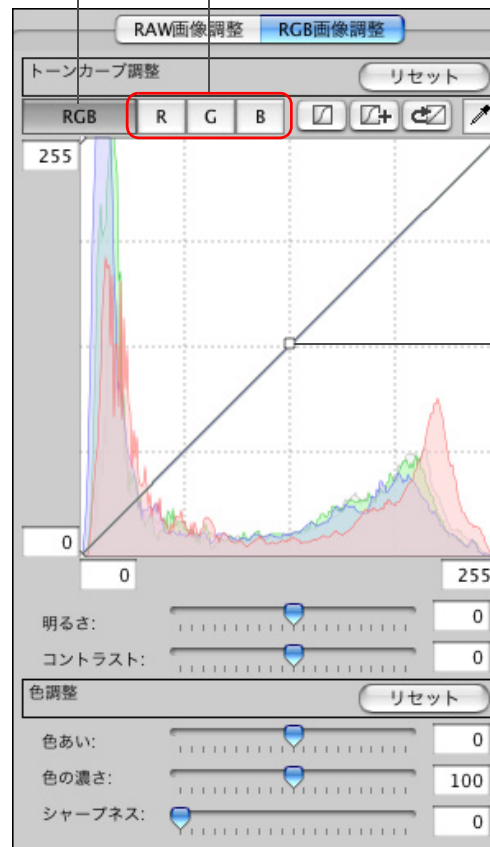
1 トーンカーブの種類と結び方を選ぶ



グラフ内〈control〉 + クリックでメニュー表示

2 調整する

RGBを一括して調整
個別のチャンネルで調整



クリックして【□】
(ポイント)を追加
【□】をドラッグして
調整

- 横軸は入力レベル、縦軸は出力レベルを示しています。
- 【□】の数は最大8個です。
- 【□】を消すときはダブルクリックします。

- ヒストグラム表示は調整に応じて変化しますが、調整前のヒストグラム表示に固定することもできます。(p.52)
- トーンカーブの種類、トーンカーブの結びかたは、【環境設定】で変えることもできます。(p.52)

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

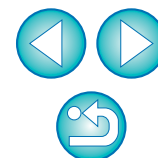
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

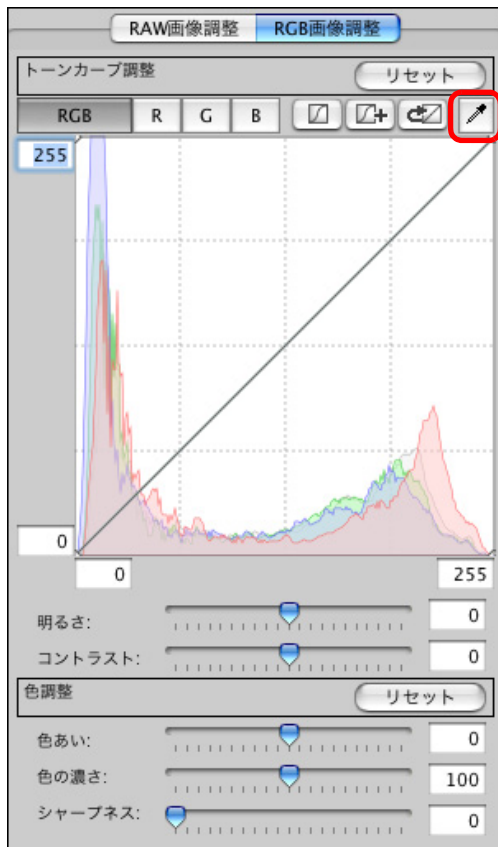
索引



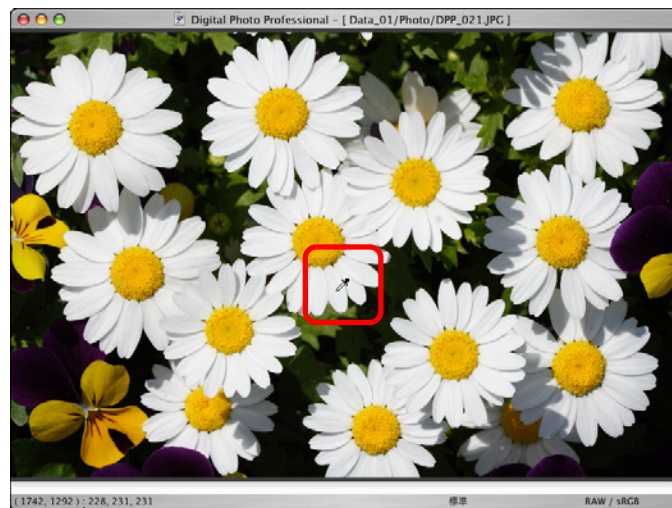
クリックホワイトバランスを使う

選んだ箇所を白の基準として、ホワイトバランスを調整することができます。光源の影響で、白の色あいが変わっている部分をクリックホワイトバランスを行うと効果的です。


1 【】 ボタンを押す



2 白の基準とする箇所をクリックする



カーソルの座標位置と RGB 値 (8bit 換算)

- 選んだ箇所を白の基準として画像の色が調整されます。
- 続けて別の箇所をクリックすると、再度、調整されます。
- 終了するときには、【】 ボタンを押します。

- クリックした箇所から 1 × 1 ピクセルの値を基準に画像が調整されます。
- 無彩色 (ニュートラルグレイ) の箇所を選んでも、白色の箇所を選んだときと同等の調整結果になります。
- ヒストグラム表示は、調整に応じて変化しますが、調整前のヒストグラム表示に固定することもできます。(p.52)

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

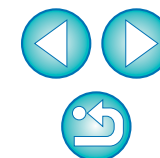
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

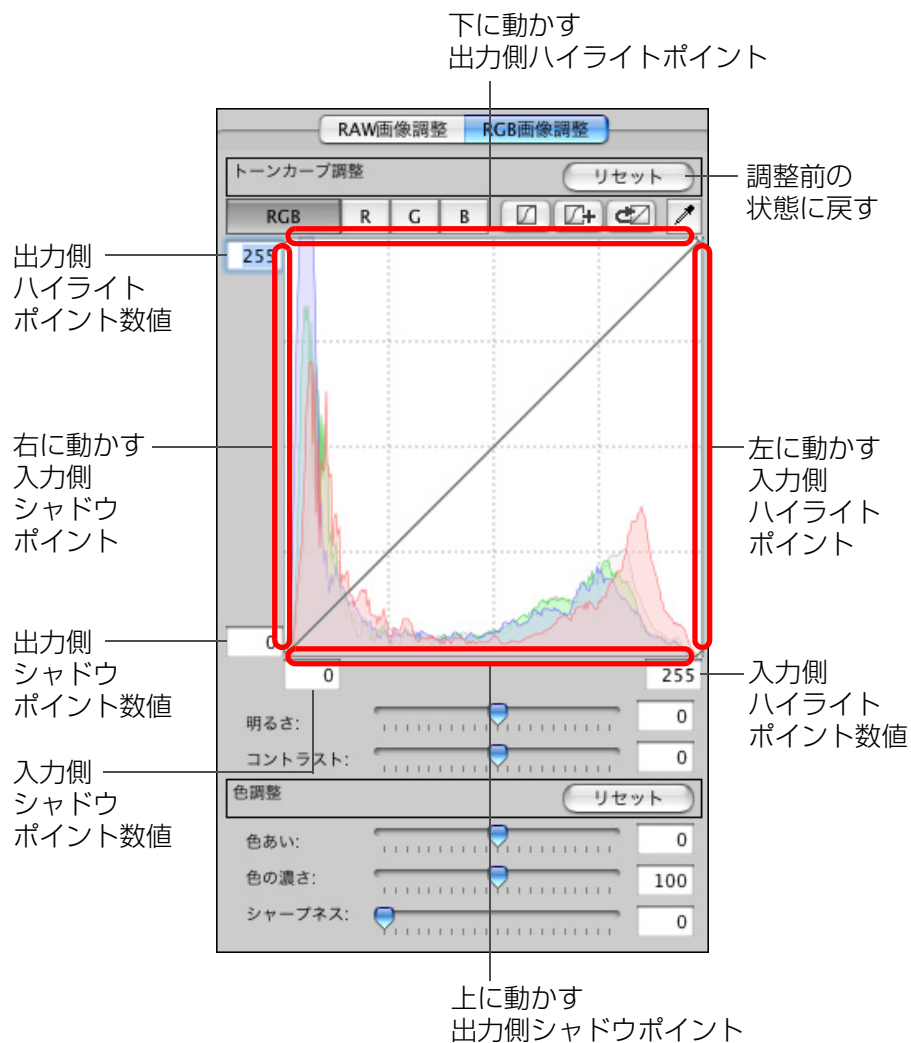
資料

索引



ダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整する

暗部から明部にかけてのダイナミックレンジ（階調表現幅）を調整することができます。シャドウポイントとハイライトポイントの間隔が狭くなるほど、明部から暗部にかけての階調が狭くなります。



- 横軸は入力レベル、縦軸は出力レベルを示しています。



- シャドウポイントの設定範囲は、0～247（数値入力では1単位）です。
- ハイライトポイントの設定範囲は、8～255（数値入力では1単位）です。
- ヒストグラム表示は、調整に応じて変化しますが、調整前のヒストグラム表示に固定することもできます。（p.52）

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



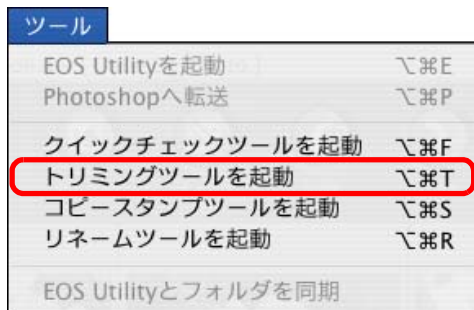
画像を切り抜く（トリミング）

必要な部分だけを切り抜いて拡大したり、横位置撮影の画像を縦位置撮影したように構図変更することができます。なお、トリミングした画像は、別画像として保存（p.29）すると、トリミングした画像になります。

1 切り抜く画像を選ぶ

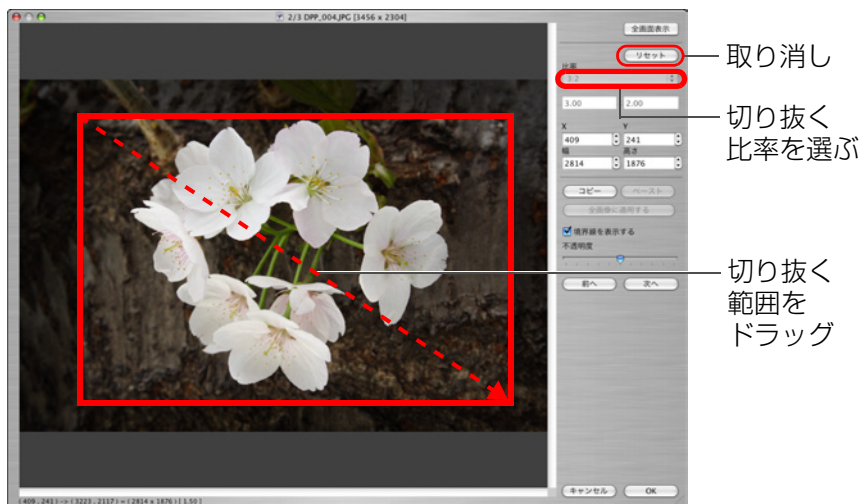
2 トリミング画面を表示する

- メニューの【ツール】▶【トリミングツールを起動】を選びます。

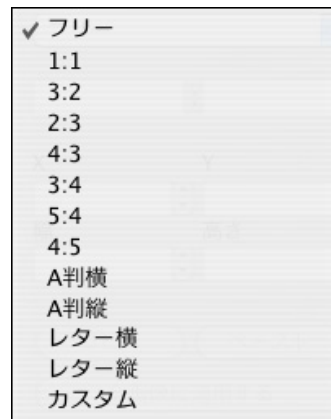


→トリミング画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったら、比率を選んで切り抜く



- 切り抜き範囲は、ドラッグして移動することができます。
- 切り抜き範囲の四隅をドラッグすると、拡大／縮小することができます。
- 比率（横：縦）の一覧



- 【フリー】：フリーハンドで切り抜くことができます。
- 【カスタム】：指定した比率で切り抜くことができます。

4 [OK] ボタンを押してメイン画面に戻る

→切り抜いた画像に【t】マーク（p.81）が表示されます。

5 切り抜いた画像を別画像として保存する

- 切り抜いた画像は、別画像として保存（p.29）することで、切り抜かれた別画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

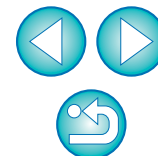
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

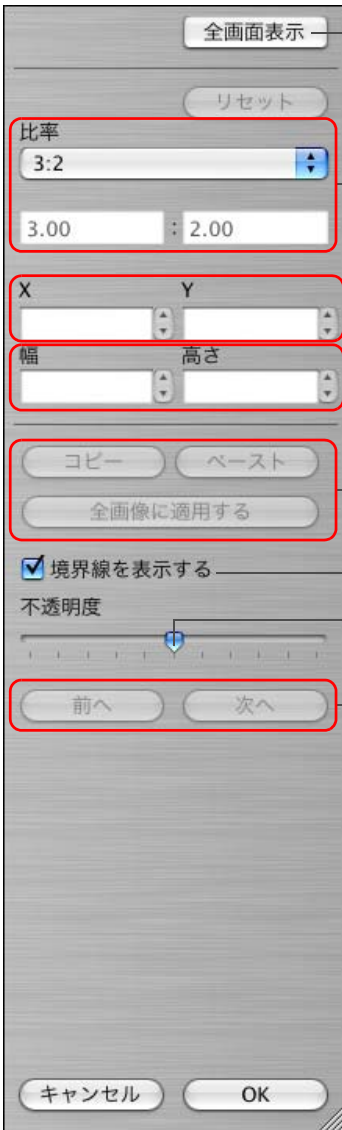
JPEG
画像編集

資料

索引



トリミング機能の機能一覧



全画面表示／通常表示に戻す

切り抜く範囲の比率（**【カスタム】**
選択時は数値入力も可能）

切り抜いた範囲の左上座標
（数値入力も可能）

切り抜いた範囲の大きさ
（数値入力も可能）

切り抜いた範囲のコピーと別画像への
適用（ペースト）*

切り抜いた範囲の境界線表示

切り抜いた範囲外の不透明度

表示画像の切り換え*

* 複数の画像を選んでトリミング画面を表示したときに動作します。

- **【比率】** リストボックスで **【フリー】** を選んだときは、切り抜いた範囲の境界線をドラッグして、切り抜き範囲を変えることもできます。
- 複数の画像に同じ切り抜き範囲を適用するときは、**【コピー】**、**【ペースト】**、**【全画像に適用する】** ボタンを使って適用することができます。

- ⚠ ● 切り抜いた画像は、「レシピを付けて保存」(p.76) をしても切り抜かれた画像にはなりません。別画像として保存してください。(p.29)
- 切り抜いた画像をそのまま Easy-PhotoPrint で印刷 (p.30) したときは、切り抜く前の画像が印刷されます。別画像に変換して保存 (p.29) した画像を印刷してください。

- 📄 ● 切り抜いた画像は、切り抜いた範囲の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。(p.75)
- 切り抜いた範囲の確認は、トリミング画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- 各種の操作は、画像上で〈control〉キー＋クリックすると表示されるメニューでも行うことができます。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉＋〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。
- **【全画像に適用する】** を押したときに、コピーした切り抜き範囲が適用されるのは、トリミング画面を表示したときに選んでいたすべての画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



自動ゴミ消し処理をする

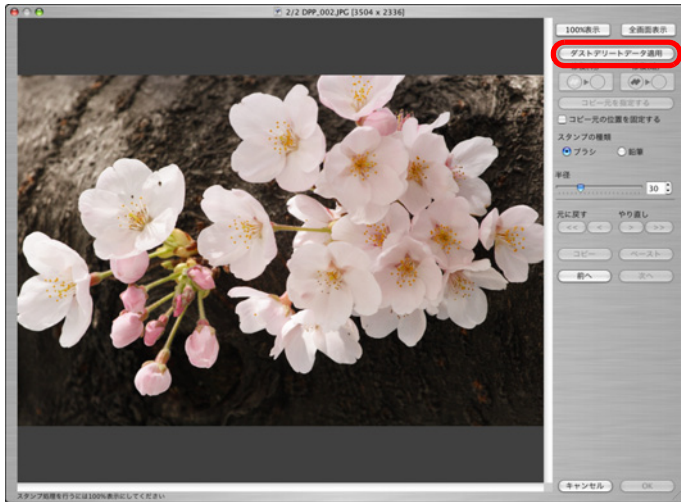
ゴミ消し情報（ダストデリートデータ）が付けられるカメラで、撮影した画像にダストデリートデータが付いているときは、そのデータを使用してゴミやホコリを自動的に消すことができます。なお、ゴミ消した画像は、別画像として保存（p.29）すると、ゴミ消した画像になります。

1 メイン画面でダストデリートデータの付いた画像を選ぶ

2 メニューの【ツール】▶【コピースタンプツールを起動】を選ぶ

→ コピースタンプ画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったら、【ダストデリートデータ適用】ボタンを押す



→ ゴミやホコリが一括して消されます。

- ゴミ消された箇所は、〈F〉キーを押して1箇所ずつ確認することができます。（〈B〉キーを押すと1つ前の箇所に戻ります）また、表示しているゴミ消し箇所のゴミ消しだけをキャンセルするには、〈delete〉キーを押します。

4 [OK] ボタンを押してメイン画面に戻る

→ ゴミを消した画像には、[人] マーク（p.81）が表示されます。

5 別画像として保存する

- 別画像として保存（p.29）することで、ゴミが消された画像になります。

⚠ 「レシピを付けて保存」（p.76）をしても、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、ゴミの消えた画像にはなりません。別画像として保存してください。（p.29）

- ゴミを消した画像は、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。（p.75）
- ゴミを消した画像の確認は、コピースタンプ画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- 自動ゴミ消し処理は、ダストデリートデータに保存されているゴミやホコリに関する情報を元に、ゴミが消されます。ただし、画像に写り込んだゴミやホコリの種類によっては、消せないことがあります。そのときは、リペア機能（p.73）やコピースタンプ機能（p.75）を使ってゴミやホコリを個別に消してください。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉 + 〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。

メイン画面での自動ゴミ消し処理

ダストデリートデータが付いた画像の自動ゴミ消しを、メイン画面でも行うことができます。

ダストデリートデータの付いた画像を選んで、メニューの【調整】▶【ダストデリートデータ適用】を選ぶ

→ 選んだ画像のゴミやホコリが一括して消去されます。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

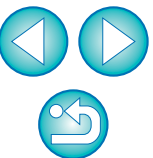
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



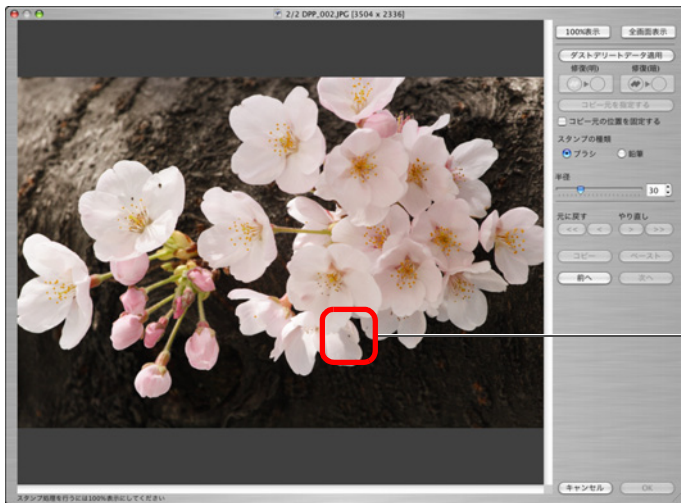
手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）

画像に写り込んだ点状のゴミやホコリを、1箇所ずつ選んで消すことができます。なお、ゴミ消した画像は、別画像として保存 (p.29) すると、ゴミ消した画像になります。

1 メイン画面でゴミを消したい画像を選ぶ

2 メニューの【ツール】▶【コピースタンプツールを起動】を選ぶ →コピースタンプ画面が表示されます。

3 画像が鮮明な表示になったらゴミ消したい箇所をダブルクリックする



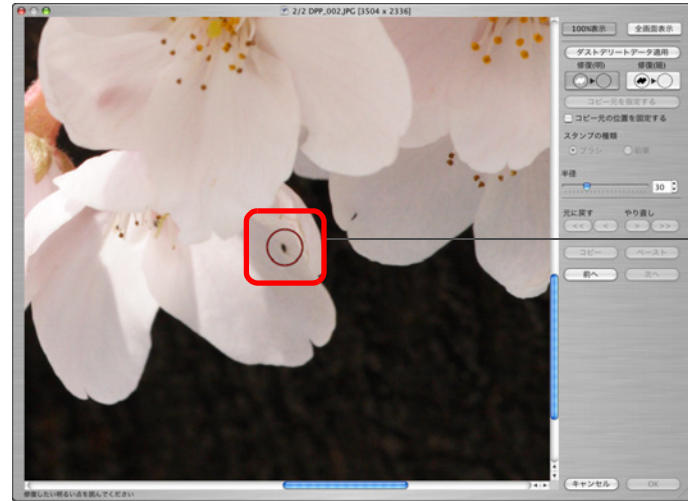
ダブル
クリック

- 100%表示になります。
- ドラッグすると表示位置を変えることができます。
- 【100%表示】ボタンを押して100%表示にすることもできます。

4 消したいゴミにあったボタンを押す

- 黒っぽいゴミのときは【▶】ボタンを、白っぽいゴミのときは【▶】ボタンを押します。
- 画像上にカーソルを移動すると、ゴミ消しする範囲が【○】で表示されます。

5 消したいゴミを【○】の中に入れてクリックする



クリック

- 【○】内のゴミが消されます。
- 表示されている別の箇所をクリックすると、続けてゴミ消しすることができます。
- 別の箇所のゴミを消すときは、手順4で押したボタンを再度押してゴミ消し処理を一旦解除し、手順3からの操作を再度行ってください。
- ゴミ消しできないときは、【】が表示されます。

6 【OK】ボタンを押してメイン画面に戻る

- ゴミを消した画像には、【】マーク (p.81) が表示されます。

7 別画像として保存する

- 別画像として保存 (p.29) することで、ゴミが消された画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

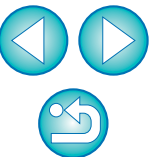
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

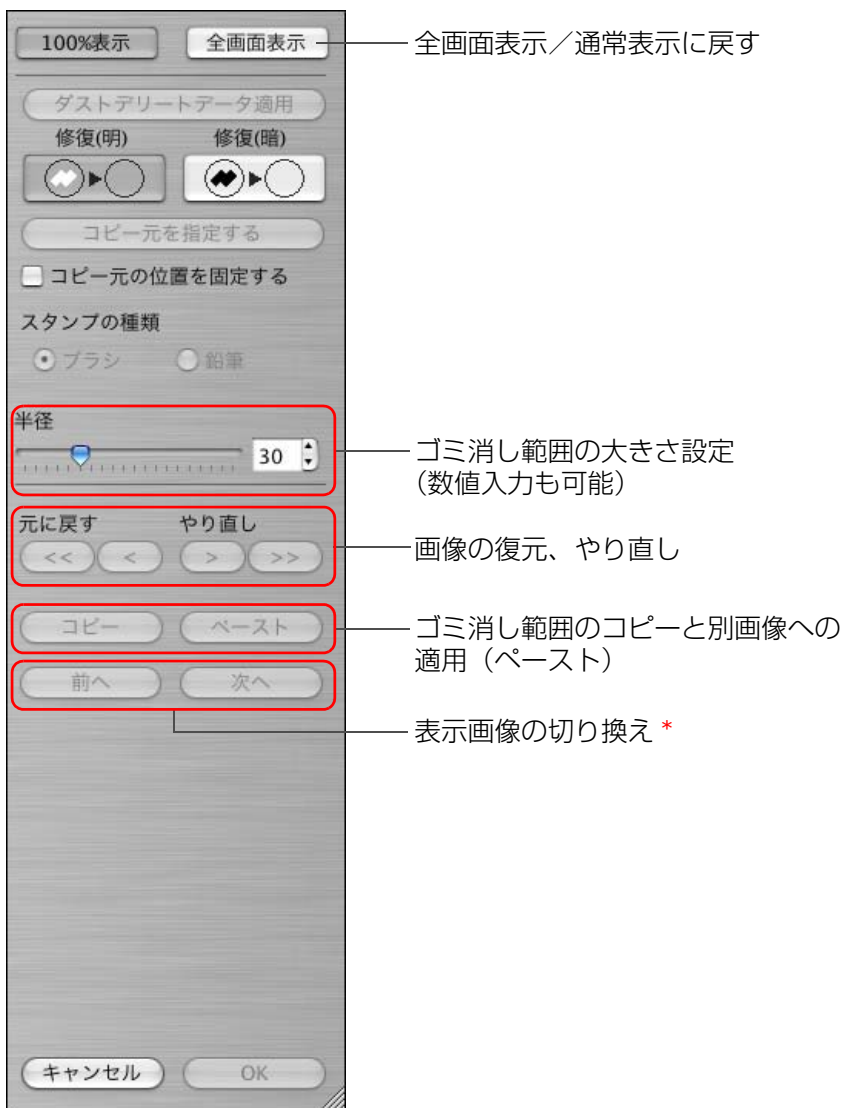
JPEG
画像編集

資料

索引



リペア機能の機能一覧



* 複数の画像を選んでコピースタンプ画面を表示したときに動作します。

- 複数の画像に同じ位置のゴミ消しを適用するときは、【コピー】、【ペースト】 ボタンを使って適用することができます。

⚠ 「レシピを付けて保存」 (p.76) をしても、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、ゴミの消えた画像にはなりません。別画像として保存してください。 (p.29)

- ゴミを消した画像は、ゴミ消し処理の情報が画像に保存されるだけで、画像は変更されません。そのため、いつでも元の状態に戻すことができます。 (p.75)
- ゴミを消した画像の確認は、コピースタンプ画面で行ってください。他の画面では確認できません。
- ゴミ消しの範囲を設定する【半径】は、5～100（1ピクセル単位）の範囲で設定することができます。
- リペア機能でゴミ消しできるのは、点状のゴミやホコリです。線状のゴミやホコリは消せない場合がありますので、そのときはコピースタンプ機能 (p.75) で消してください。
- 複数のゴミを消したときは、〈B〉キーを押すと1つ前、〈F〉キーを押すと1つ先のゴミ消し箇所が順番に表示されます。
- 全画面表示と通常表示の切り換えは、〈⌘〉 + 〈F11〉キーで切り換えることもできます。
- 全画面表示を通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押して戻すこともできます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

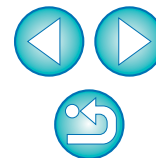
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



画像の不要箇所を消す（コピースタンプ機能）

画像上の不要な箇所に、別の部分からコピーした画像をペーストして修正することができます。なお、修正した画像は、別画像に変換して保存 (p.29) すると、修正した画像になります。

1 「手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）」 (p.73) の手順 3 までの操作をする

2 コピーする箇所を指定する

- 【コピー元を指定する】 ボタンを押して、画像上のコピー元となる箇所をクリックします。
- コピー元となる箇所を変更するときは、再度上記の操作を行ってください。
- 〈option〉キーを押しながらコピーする部分をクリックして指定することもできます。
- コピー元の位置を固定するときは、【コピー元の位置を固定する】にチェックを入れてください。

3 画像を修正する

- 画像上の修正したい箇所をクリックまたはドラッグします。画面上の【+】がコピー元、【○】がコピー先になります。
- コピー元の画像がドラッグした位置にペーストされます。
- 【スタンプの種類】は、【ブラシ】（境界線がブラシ上にぼかして処理されます）と【鉛筆】（境界線がはっきりと処理されます）から選ぶことができます。
- 以降は、「手動でゴミ消し処理をする（リペア機能）」 (p.73) の手順 6、7と同じ操作を行います。

編集をやり直す

編集した JPEG 画像、TIFF 画像は、画像処理条件が変更されて表示されるだけで、オリジナルの画像データそのものは元のままで全く変わりません。そのため、画像に設定した調整内容をすべて取り消して、最後に保存した状態または、撮影時の状態にいつでも戻すことができます。

1 編集をやり直す画像を選ぶ

2 メニューの【調整】 ▶ 目的の項目を選ぶ

調整	
左回転	⌘L
右回転	⌘R
チェックマーク1をつける	⌘F1
チェックマーク2をつける	⌘F2
チェックマーク3をつける	⌘F3
チェックマークをはずす	⌘F4
ダストデリートデータ適用	
ホワイトバランス...	
明るさ調整(RAW)...	
明るさ調整...	
作業用色空間 ▶	
トーンカーブアシスト標準	
トーンカーブアシスト強	
最後に保存した状態に戻す	⇧⌘Z
撮影時の状態に戻す	⇧⌘Z

→ 選んだ項目の状態に画像が戻ります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

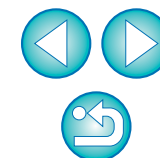
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

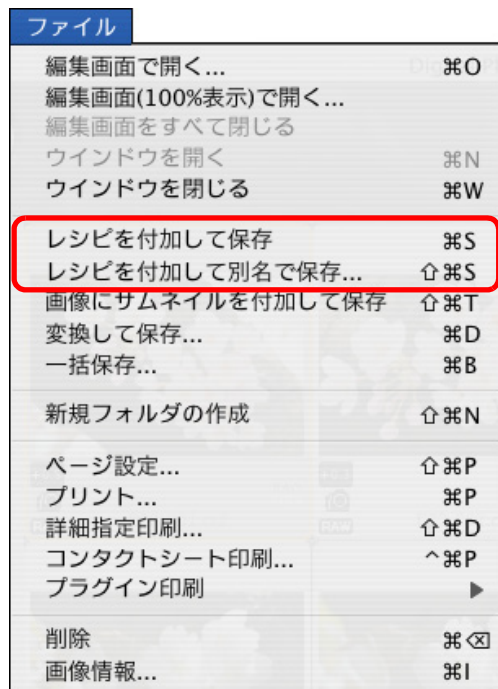


編集結果を保存する

レシピを付けて保存する

調整した内容をレシピ（画像処理条件の情報）として、画像に保存することができます。

メニューの【ファイル】 ▶ 目的の項目を選ぶ



→ 調整した内容が画像に保存されます。

切り抜き（トリミング）やゴミ消した画像を保存する

切り抜き（トリミング）（p.70）、ゴミ消し（p.72、p.73、p.75）した JPEG 画像、TIFF 画像は、「JPEG 画像、TIFF 画像で保存する」（p.29）、「一括して JPEG 画像、TIFF 画像で保存する（バッチ処理）」（p.59）の手順で別画像として保存することで、切り抜いた（トリミング）画像または、ゴミが消された画像になります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

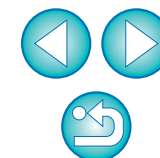
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引





DPP を快適に使っていただくため、この「資料」を設けました。

各種のトラブル解決法や DPP の削除方法の他、主要な画面の全表示内容や用語集を掲載しています。

また、章の最後には索引を設け、知りたいことを見つけやすいようにしています。

こんなときは.....	78
ソフトウェアを削除する（アンインストール）.....	79
メイン画面の機能一覧.....	80
メイン画面、セレクト編集画面の画像枠表示内容.....	81
編集画面の機能一覧.....	82
編集画面、セレクト編集画面のツールパレット機能一覧....	83
クイックチェック画面の機能一覧.....	84
セレクト編集画面の機能一覧.....	85
1 枚の変換／保存画面の機能一覧.....	86
複数枚の変換／保存画面（バッチ処理）の機能一覧.....	87
用語集.....	88
索引.....	90
この使用説明書について.....	94
登録商標について.....	94
DPP を活用するためのホームページをご用意しています..	94

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



こんなときは

DPP が正しく動作しないときは、下記の例を参考にチェックしてください。

手順通りにインストールできない

- 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。ログイン方法、管理者の設定方法については、使用している Macintosh や OS X の使用説明書などを参照してください。

DPP が動かない

- 動作環境と違ったパソコンでは、DPP は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使用してください。(p.3)
- 動作環境 (p.3) に記載された RAM (メモリー) 容量をパソコンに搭載していても、DPP と共に他のソフトウェアを起動していると、RAM (メモリー) が不足することがあります。DPP 以外のソフトウェアを閉じて (終了して) ください。

画像が正しく表示されない

- DPP が未対応の画像は表示されません。また、JPEG 画像、TIFF 画像には様々な種類があるため、DPP が対応する Exif2.2、2.21 に準拠した JPEG 画像と、Exif 規格に準拠した TIFF 画像以外は、正しく表示されないことがあります。(p.3)
- 切り抜いた範囲は、トリミング画面以外の画面では確認できません。(p.26、p.70)
トリミング画面で確認するか、JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存 (p.29、p.59) して確認してください。
- ゴミを消した画像は、コピースタンプ画面以外の画面では確認できません。(p.43、p.44、p.46、p.72、p.73、p.75)
コピースタンプ画面で確認するか、JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存 (p.29、p.59) して確認してください。

画像が調整できない

- JPEG 画像、TIFF 画像に、RAW 画像調整機能 (p.10) の内容は使用できません。RGB 画像調整機能 (p.63) で調整してください。

編集した内容 (レシビ) が別の画像にペースト (適用) できない

- 画像の回転 (p.8、p.18、p.80、p.84、p.85)、切り抜き (トリミング) (p.26、p.70)、画像のゴミ消し (コピースタンプ) (p.43、p.44、p.46、p.72、p.73、p.75) は、レシビとして別の画像にペースト (適用) することはできません。切り抜きとゴミ消しは各画面のコピー / ペースト機能を使って行い、回転は画像ごとに回転してください。
- RAW 画像調整機能で調整した RAW 画像の編集内容は、JPEG 画像に適用できません。(p.56)

別のソフトウェアで画像を見ると色が薄くなっている

- sRGB 以外の色空間に設定 (p.46、p.53) した RAW 画像を、JPEG 画像または、TIFF 画像に変換して保存し、この画像を sRGB の色空間にしか対応していないソフトウェアで見ると、画像の色が薄くなって表示されます。このときは、RAW 画像の色空間を sRGB に設定し、再度 JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存した画像を見てください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

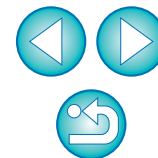
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



印刷した画像の色味がおかしい

- 画像を表示するモニターの色味が正しく調整されていないときや、印刷するプリンターのプロファイルが設定されていないときは、印刷した写真の色味と画面に表示した画像の色味が大きく異なることがあります。画像を表示するモニターの色味を正確にして (p.53、p.54)、プリンターのプロファイルを正しく設定すると、印刷した写真の色味と画面上の画像の色味を近づけることができます。なお、キヤノン製プリンターとの連携印刷 (p.30、p.48、p.49) では、プリンターのプロファイル設定は自動的に行われるため、モニターの設定だけで、簡単に色味を近づけることができます。
- Easy-PhotoPrint との連携印刷では、Easy-PhotoPrint の自動補正機能や各種の画像調整機能が働いていると、正しい色味で印刷されません。Easy-PhotoPrint の画像調整機能をすべて解除してください。 (p.31)
- プリンターのプロファイルを設定しても、プリンタードライバが画像の調整を行う設定になっていると、印刷した写真の色味が画面上の色味に近づきません。画像の調整を行わないよう、ドライバを設定してください。

大量の画像が一度に印刷できない

- 一度に大量の画像を印刷すると、印刷が途中で止まったり、画像が印刷されないことがあります。一度に印刷する画像数を少なくするか、パソコンの RAM (メモリー) を増設してください。

削除した画像のフォルダにファイルが残っている

- 画像を削除した (p.33) フォルダに、[CRW_YYYY.THM] (カメラのインデックス表示用画像) が残っているときは削除してください。
※ 画像名の [YYYY] には数字が入ります。

画像の情報が表示されない

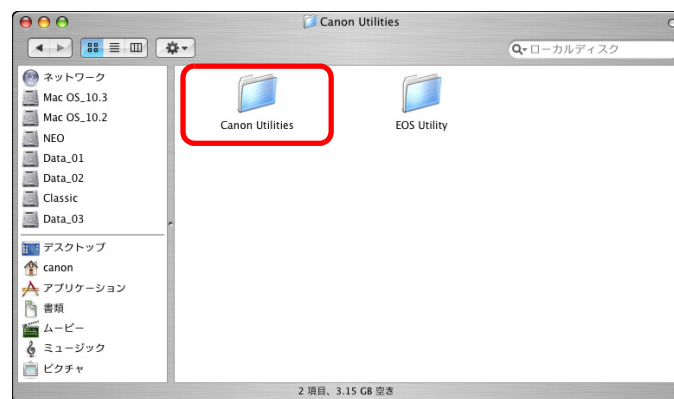
- EOS 10D、EOS Kiss Digital で、Adobe RGB に設定して撮影した JPEG 画像は、画像情報が表示されないことがあります。

ソフトウェアを削除する (アンインストール)

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、起動しているすべてのソフトウェアを終了してください。
- インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- ソフトウェアを削除したあとは、必ずパソコンを再起動してください。パソコンが正しく動作しないことがあります。再起動をしないでソフトウェアを再インストールすると誤動作の原因になります。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- [Canon Utilities] フォルダを開きます。



2 削除したいソフトウェアのフォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの [Finder] ▶ [ゴミ箱を空にする] を選ぶ

- ソフトウェアが削除されます。
- ソフトウェアの削除が終了したら、パソコンを再起動してください。

⚠️ ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に注意してから削除してください。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

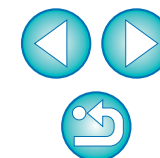
3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



メイン画面の機能一覧

フォルダエリア表示/非表示

全画像選択

全画像選択を解除

フォルダのパス

チェックマーク (p.16)

チェックマーク解除 (p.16)

画像回転 (90度単位)

ホワイトバランス調整 (p.22, p.39)

クリックホワイトバランス (p.23)

明るさ調整 (p.18)

一括変換/保存 (p.59)

ツールバー *1

フォルダエリア *2

情報表示 *3

レシピの付加状態 (p.57)

画像総数

選択画像数

CMYK シミュレーション表示 (p.53, p.54)

*1 表示/非表示の切り換えは、メニューの【表示】▶【ツールバー】を選びます。

*2 ここで選んだフォルダ内の画像が、右側に一覧で表示されます。

*3 ツールバーの【クリック (RAW)】ボタンを押したときのカーソル座標位置と RGB 値 (8bit 換算) を表示します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



メイン画面、セレクト編集画面の画像枠表示内容

【サムネイル大】(p.8) を選んだときに表示される内容



チェックマーク
(p.15、 p.16)

明るさ調整値
(p.18) *1

ホワイトバランス
アイコン (p.22) *1

コピースタンプマーク
(p.43、 p.44、 p.46、
p.72、 p.73、 p.75)

トリミングマーク
(p.26、 p.70)

絞り数値 *2

RAW マーク *3

ファイル名

RAW 画像調整マーク *1 *4

RGB 画像調整マーク *1 *5

編集内容未保存マーク

シャッター速度 *2

*1 【サムネイル小】では表示されません。

*2 【サムネイル中】、【サムネイル小】では表示されません。

*3 RAW 画像に表示されます。(【サムネイル小】(p.8)では[R]を表示)

*4 編集画面、セレクト編集画面の【RAW 画像調整】ツールパレットで編集した画像に表示されます。

*5 編集画面、セレクト編集画面の【RGB 画像調整】ツールパレットで編集した画像に表示されます。

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



編集画面の機能一覧



はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



*1 表示／非表示の切り換えは、メニューの【表示】▶【ツールパレット】を選びます。

*2 カーソル座標位置と RGB 値（8bit 換算）を表示します。

*3 RAW 画像は、【RAW】と表示されます。

編集画面、セレクト編集画面のツールパレット機能一覧

RAW 画像調整ツールパレット

明るさ調整 (p.18)

ホワイトバランス調整 (p.22、p.23、p.39)

ピクチャースタイル設定 (p.19)

ダイナミックレンジ (諧調表現幅) 調整 (p.40)

コントラスト (明暗差) 調整 (p.20)

色あい、色の濃さ調整 (p.20)

シャープネス (鮮鋭度) 調整 (p.22)

拡大表示位置 *1

RGB 画像調整ツールパレット

自動調整 (トーンカーブアシスト) (p.24、p.64)

クリックホワイトバランス (p.68)

トーンカーブ調整 (p.41、p.67)

ダイナミックレンジ (諧調表現幅) 調整 (p.69)

明るさ、コントラスト (明暗差) 調整 (p.65)

色あい、色の濃さ調整 (p.66)

シャープネス (鮮鋭度) 調整 (p.66)

拡大表示位置 *1

*1 拡大表示したときは、表示される拡大位置をドラッグ操作で移動させることができます。([ドッキング表示] (p.52) では、編集画面またはセレクト編集画面を大きくしたときに表示されます)

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



クイックチェック画面の機能一覧



はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

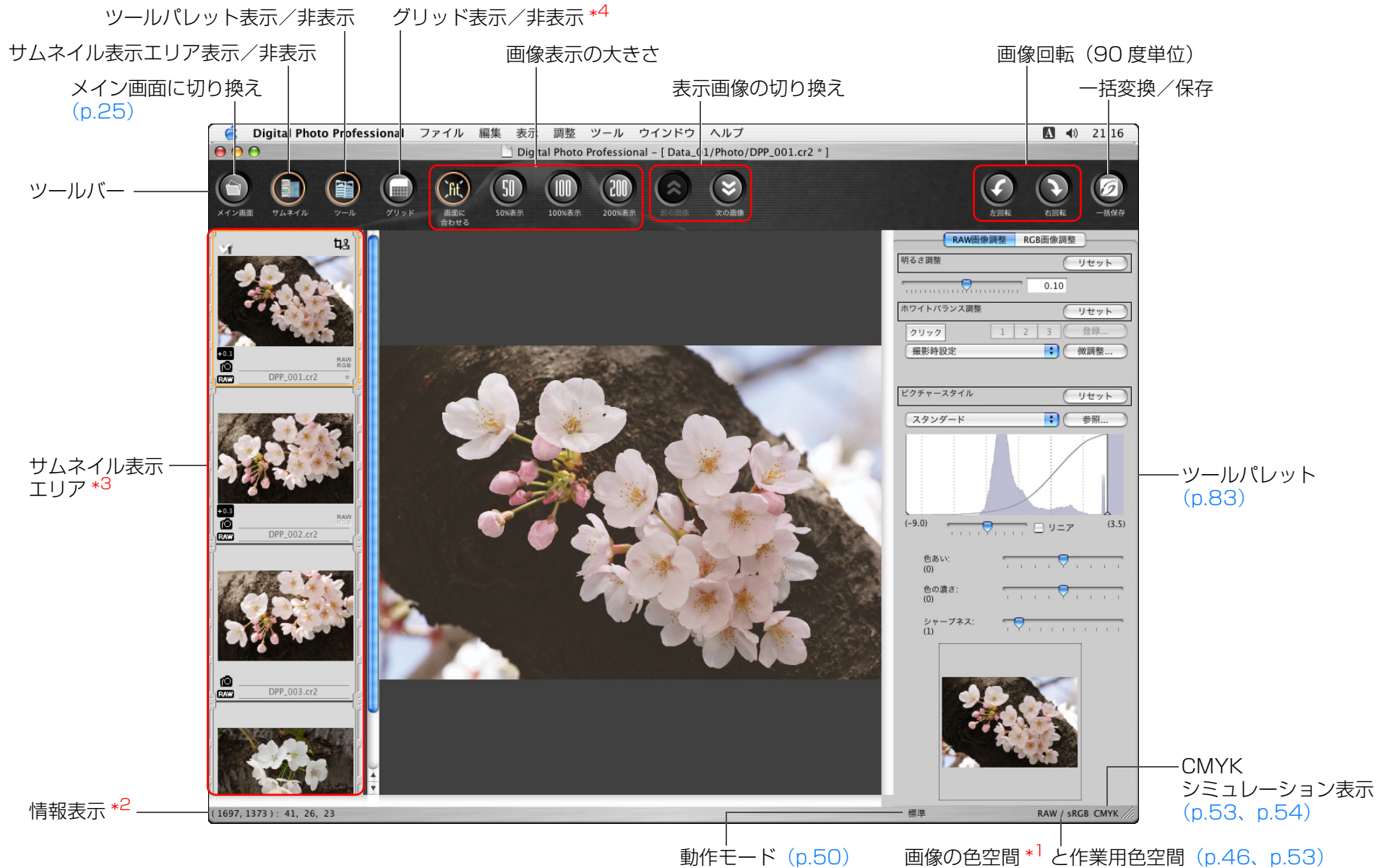
索引



*1 [50% 表示] のときは、ドラッグ操作で表示位置を移動することができます。

*2 通常表示に戻すときは、〈esc〉キーを押します。

セレクト編集画面の機能一覧



- *1 RAW 画像は、**[RAW]** と表示されます。
- *2 カーソル座標位置と RGB 値 (8bit 換算) を表示します。
- *3 メイン画面で選んだ画像を表示します。また、ここで選んだ画像が右側に拡大して表示されます。

- *4 グリッドの間隔は、**[環境設定]** の **[グリッドの間隔]** (p.51) で設定することができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

◀ ▶

↺

1 枚の変換／保存画面の機能一覧

画像の種類

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG	.JPG
Exif-TIFF 8bit	.TIF
TIFF 16bit	.TIF

解像度 *1

大きさ変更 *4

変換して保存

別名で保存: DPP_001

場所: Photo

ファイル形式

ファイルの種類: Exif-JPEG

画質: 10

出力設定

出力解像度: 350 dpi

ICCプロファイル埋め込み

画像サイズ設定

画像サイズを変更する

幅: 3504 (3504 pixel) x 高さ: 2336 (2336 pixel) 単位: pixel

縦横比を固定

キャンセル 保存

ファイル名

保存先

JPEG 圧縮率 *3

ICC プロファイル (p.88) の埋め込み *2

保存

はじめに

やりたいこと
目次

基本操作

応用操作

高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引

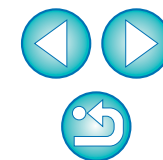
*1 設定範囲は、1 ～ 60,000dpi です。

*2 画像に設定されている色空間 (p.89) 情報が ICC プロファイルに附加されます。

Apple RGB、ColorMatch RGB、Wide Gamut RGB の色空間を設定 (p.46、p.53) した画像では、チェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

*3 設定範囲は、1 ～ 10 です。数値が大きいほど高画質になります。

*4 【幅】 または 【高さ】 で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。



複数枚の変換／保存画面（バッチ処理）の機能一覧

一括保存する画像のファイル名

ICC プロファイル (p.88) の埋め込み *2

解像度 *1

大きさの変更 *4

一括保存設定

保存フォルダ
Mac OS_10.3/ユーザ/canon/書類 参照...

保存先

ファイル形式
ファイルの種類 Exif-JPEG

画像の種類

画像の種類	拡張子
Exif-JPEG	.JPG
Exif-TIFF 8bit	.TIF
TIFF 16bit	.TIF

画質 10

出力設定
出力解像度 350 dpi ICCプロファイル埋め込み

JPEG 圧縮率 *3

画像サイズ設定
 画像サイズを変更する
幅 3504 x 高さ 2336 単位 pixel
(3504 pixel) (2336 pixel)
 縦横比を固定

ファイル名
 現在のファイル名
 新しいファイル名
文字列 連番
DPP_ 0001 連番を記憶
例: DPP_0001.JPG, DPP_0002.JPG

ファイル名

画像転送設定
 ソフトウェアを使用して画像を開く
参照...

別の画像編集用ソフトウェアへの一括転送 (p.60)

RAW画像のみ変換 キャンセル 実行

変換する画像を RAW 画像に限定 *5 保存

*1 設定範囲は、1～60,000dpiです。

*2 画像に設定されている色空間 (p.89) 情報が ICC プロファイルに附加されます。

Apple RGB、ColorMatch RGB、Wide Gamut RGB の色空間を設定 (p.46、p.53) した画像では、チェックを外しても、自動的に ICC プロファイルが埋め込まれます。

*3 設定範囲は、1～10です。数値が大きいほど高画質になります。

*4 【幅】 または 【高さ】 で設定した大きい方の値を、画像の長辺に適用して画像サイズを変更します。

*5 メイン画面、セレクト編集画面で画像を選んでいない状態で、【一括保存】ボタン (p.80、p.85) を押すと表示されるボタンで RAW 画像だけを変換したいときは、【実行】ボタンの代わりに押します。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

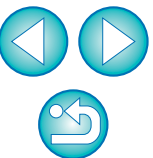
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



用語集

RAW 画像

EOS DIGITAL カメラの RAW 画像は、非圧縮形式の 12bit (ビット) で記録された画像です。

RAW 画像は未現像状態の特殊な画像のため、画像を見るには DPP などの現像処理機能を搭載したソフトウェアが必要になります。未現像である RAW 画像の利点は、画像を編集する感覚で各種の調整を行っても、調整にともなう画像の劣化がほとんどないことです。

※「RAW」とは、「生の」や「そのまま」の意味です。

JPEG 画像

非可逆性圧縮形式の 8bit (ビット) で記録された、最も一般的な画像です。

画素数の多い画像データも、保存するときにデータ圧縮率を高くすることでファイル容量を小さくできるという利点がありますが、保存・圧縮時にデータの一部を間引いてファイル容量を小さくしているため、編集／保存を繰り返すと画像が徐々に劣化していきます。

なお、DPP では、編集／保存を繰り返してもレシピデータが変更されるだけで、画像の上書き・圧縮を行わないため、オリジナル画像データに劣化は生じません。

※「JPEG」とは、「Joint Photographic Experts Group」の略です。

TIFF 画像

非圧縮形式の 8bit / 16bit (ビット) で記録されるビットマップ形式の画像です。

非圧縮形式のため、高画質を維持したまま画像を保存するのに適しています。

※「TIFF」とは、「Tagged Image File Format」の略です。

bit (ビット) 数

画像の色における情報量の単位で、1 ピクセルあたりのビット数で表されます。

ビット数が多いほどより多くの色数となめらかな階調になります。なお、1 ビットの画像は白黒の 2 値画像になります。

カラーマネージメントシステム (カラーマッチング)

画像を撮影するデジタルカメラ、画像を表示するモニター、画像を印刷するプリンターは、それぞれ色を作り出す方法が違います。そのため、モニターで見た画像の色味と印刷した画像の色味に、差が起こることがあります。

カラーマネージメントシステムとは、この色味の差を近づけるために、色を管理することです。DPP では、各機器間の ICC プロファイルを使うことで各機器間の色味を近づけることができます。

ICC プロファイル

ICC プロファイルとは、International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) が認定した各機器の色特性や色空間など、色に関する情報を記載したファイルです。画像を見るモニターや画像を印刷するプリンターなど、多くの機器はこの ICC プロファイルを使って色を管理 (カラーマネージメント) することができ、各機器間の色味を近づけることができます。

DPP では、この ICC プロファイルを使った色管理 (カラーマネージメント) を採用しています。

レシピ

DPP で編集できる RAW 画像の「画像処理条件の情報」を「レシピ」と呼んでいます。

また、DPP では、JPEG 画像や TIFF 画像も RAW 画像と同じように「レシピ」を使った画像編集を行うことができます。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

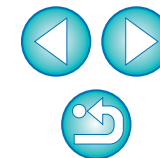
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



色空間

色の再現領域（色域特性）を示したもので、DPP では、次の 5 種類の色空間に対応しています。

sRGB : Windows の標準色空間です。また、モニター、デジタルカメラ、スキャナーなどの標準色空間として広く採用されています。

Adobe RGB : sRGB よりも広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

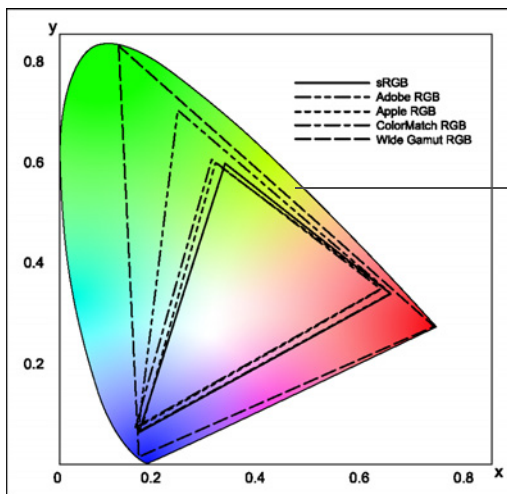
Apple RGB : Macintosh の標準色空間です。sRGB よりも若干広域な色空間です。

ColorMatch RGB : sRGB よりも若干広域な色空間で、主に商用印刷などの業務用途で採用されています。

Wide Gamut RGB : Adobe RGB よりもさらに広域な色空間です。

各色空間の色域は、以下の色度図を参考にしてください。

DPP が対応している色空間の色度図



人間の目で見ることが
できる色域

	ガンマ値	白色点 (色温度)
—————	sRGB	2.2 6500K (D65)
-----	Adobe RGB	2.2 6500K (D65)
-----	Apple RGB	1.8 6500K (D65)
-----	ColorMatch RGB	1.8 5000K (D50)
-----	Wide Gamut RGB	2.2 5000K (D50)

CMYK シミュレーション用プロファイル

印刷機等の CMYK 環境で色味をシミュレーションするためのプロファイルです。DPP では、次の 4 種類のプロファイルで色味をシミュレーションすることができます。

Euro Standard : ヨーロッパの書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、ヨーロッパの標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

JMPA : 日本の書籍印刷などで使用されているプロファイルで、雑誌広告基準カラーの印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

U.S.Web Coated : 北米の書籍印刷で標準的に使用されているプロファイルで、北米の標準印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

JapanColor2001 type3 : 日本の印刷業界で標準化が進められているプロファイルで、JapanColor 規格の印刷をシミュレーションするのに適したプロファイルです。

マッチング方法

マッチング方法とは、画像を印刷するときの色変換方法で、それぞれ、次のような変換方法です。

知覚的 : 変換前と変換後で、色のつながりを維持するようにすべての色を変換されます。色が多少変化しても階調性を維持した自然な感じの画像を印刷することができます。ただし、画像によっては全体的に彩度が変わることもあります。

相対的 : 変換前と変換後で、共通性のある色にはあまり変換を行いませんが、共通性のない色があるときは適正に変換されます。画像の大部分を占める共通性のある色は変化が少ないため、彩度があまり変化しない自然な感じの画像を印刷することができます。ただし、画像によっては共通性のない色やハイライト部分が変化するため、画像として少しトーンが変わることもあります。

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



索引

英数字

1 枚印刷	12、33
Adobe RGB	89
Apple RGB	89
bit (ビット) 数	88
CMYK シミュレーション	53、54、89
ColorMatch RGB	89
DPP の削除 (アンインストール)	79
DPP を閉じる (終了する)	12
DPP を開く (起動する)	6
Easy-PhotoPrint Pro との連携印刷	48
Easy-PhotoPrint で印刷する時のマッチング方法	53、54
Easy-PhotoPrint との連携印刷	30
EOS Utility	6、7
ICC プロファイル	88
JPEG 画像	88
JPEG 画像のノイズ緩和 (色ノイズ)	50、51
JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存	29、59、86、87
Photoshop への 1 枚画像転送	46
PIXUS / BJ プリンター以外での印刷	33
PIXUS / BJ プリンターでの印刷	30、48
RAW 画像	88
RAW 画像調整ツールパレット	10、83
RAW 画像のノイズ緩和 (輝度ノイズ、色ノイズ)	50
RGB 画像調整ツールパレット	63、83
sRGB	89
TIFF 画像	88
Wide Gamut RGB	89

あ

明るさ	18、65
一覧印刷 (コンタクトシート印刷)	47
一覧表示 (メイン画面)	8、80
表示を変える	8
一括してホワイトバランスを適用する (カスタムホワイトバランス)	58
一括保存設定画面	59、60、87
色あい	20、66
色温度	39
色空間	89
Adobe RGB	89
Apple RGB	89
ColorMatch RGB	89
sRGB	89
Wide Gamut RGB	89
画像ごとの色空間設定	46
初期設定の色空間	53
色の濃さ	20、66
印刷	
1 枚印刷	12、33
Easy-PhotoPrint Pro との連携印刷	48
Easy-PhotoPrint で印刷する時のマッチング方法	53、54
Easy-PhotoPrint との連携印刷	30
一覧印刷 (コンタクトシート印刷)	47
キヤノン製 PIXUS / BJ プリンターでの印刷	30、48
キヤノン製大判プリンターでの印刷	49
キヤノン製ハイエンドプリンターでの印刷	48
キヤノン製プリンター以外での印刷	33
撮影情報付き印刷 (詳細指定印刷)	47

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

大量の画像を
扱う機能

JPEG
画像編集

資料

索引



か

カードリーダーでの画像取り込み	35
画質	
JPEG 画像のノイズ緩和 (色ノイズ)	50、51
RAW 画像のノイズ緩和 (輝度ノイズ、色ノイズ)	50
画像の表示を鮮明にする (メイン画面)	17
動作モード	50
カスタムホワイトバランス	58
画像ごとの色空間設定	46
画像の一覧表示と拡大表示 (セレクト編集画面)	25
画像の一覧表示 (メイン画面)	8
表示を変える	8
画像の移動/コピー	35
画像の回転	8、18、80、84、85
画像の拡大表示 (クイックチェック画面)	84
画像の拡大表示 (編集画面)	9、82
画像の削除	33
画像の修正 (コピースタンプ機能)	46、75
画像の並べ替え	16
画像の表示を鮮明にする (メイン画面)	17
画像の分類 (チェックマーク)	15、16
画像枠表示内容 (画像のマーク)	81
画像を選ぶ	8、14、15、25
カメラからの画像取り込み	6
カラーホイール	39
カラーマネージメント (カラーマッチング)	88
ICC プロファイル	88
色空間	89
プリンターの色設定 (プロファイル設定)	53、54
モニターの色設定 (プロファイル設定)	53
カラーマネージメント (環境設定)	53

環境設定	49
カラーマネージメント	53
基本設定	50
ツールパレット	52
表示設定	51
基本設定 (環境設定)	50
キヤノン製 PIXUS / BJ プリンターでの印刷	30、48
キヤノン製大判プリンターでの印刷	49
キヤノン製ハイエンドプリンターでの印刷	48
切り抜き (トリミング)	26、70
クイックチェック画面	14、84
クリックホワイトバランス	23、68
コピースタンプ (画像修正)	46、75
ゴミ消し処理	
画像の修正 (コピースタンプ機能)	46、75
自動ゴミ消し処理	43、72
手動ゴミ消し (リペア機能)	44、73
コンタクトシート印刷 (一覧印刷)	47
コントラスト (明暗差)	20、65
さ	
撮影情報付き印刷 (詳細指定印刷)	47
撮影情報表示	8、17
色度図	89
自動ゴミ消し処理	43、72
自動調整 (トーンカーブアシスト)	24、64
シャープネス (鮮鋭度)	22、66
手動ゴミ消し (リペア機能)	44、73
詳細指定印刷 (撮影情報付き印刷)	47
ショートカットキー	1
初期設定の色空間	53

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



整理	33
画像の移動／コピー	35
画像の削除	33
フォルダの移動／コピー	35
フォルダの作成	34
フォルダのブックマーク登録	36
セレクト編集画面	25、85
た	
対応画像	3
ダイナミックレンジ（階調表現幅）	40、69
ダストデリートデータ	43、72
チェックマーク	15、16
調色	21
調整項目一覧	
JPEG 画像、TIFF 画像	63
RAW 画像	10
調整のやり直し	28、75
調整（JPEG 画像、TIFF 画像）	
RGB 画像調整ツールパレット	63、83
明るさ	65
色あい	66
色の濃さ	66
クリックホワイトバランス	68
コントラスト（明暗差）	65
自動調整（トーンカーブアシスト）	64
シャープネス（鮮鋭度）	66
ダイナミックレンジ（階調表現幅）	69
トーンカーブ調整	67
調整（RAW 画像）	
明るさ	18
色あい	20
色温度	39
色の濃さ	20
カスタムホワイトバランス	58

カラーホイール	39
クリックホワイトバランス	23
コントラスト（明暗差）	20
自動調整（トーンカーブアシスト）	24
シャープネス（鮮鋭度）	22
ダイナミックレンジ（階調表現幅）	40
調色	21
ツールパレット	10、83
トーンカーブ調整	41
ピクチャースタイル	19
フィルター効果	21
ホワイトバランス	22
モノクロ	21
ツールパレット	
RAW 画像調整ツールパレット	10、83
RGB 画像調整ツールパレット	63、83
ツールパレット（環境設定）	52
転送	
Photoshop への 1 枚画像転送	46
複数画像の一括転送	60
動作環境	3
動作モード	50
トーンカーブアシスト（自動調整）	24、64
トーンカーブ調整	41、67
トリミング（切り抜き）	26、70
な	
ノイズ緩和（JPEG 画像、TIFF 画像）	50、51
ノイズ緩和（RAW 画像）	50
は	
パソコンへの画像取り込み	6
カードリーダーでの画像取り込み	35
カメラからの画像取り込み	6
バッチ処理（一括して JPEG 画像、TIFF 画像で保存する）	59、87

はじめに

やりたいこと
目次1
基本操作2
応用操作3
高度な機能4
大量の画像を
扱う機能5
JPEG
画像編集

資料

索引



ピクチャースタイル.....	19
表示	
一覧表示と拡大表示（セレクト編集画面）.....	25、85
一覧表示（メイン画面）.....	8、80
拡大表示（クイックチェック画面）.....	14、84
拡大表示（編集画面）.....	9、82
撮影情報表示.....	8、17
編集前後比較表示.....	38
表示設定（環境設定）.....	51
フィルター効果.....	21
フォルダの移動／コピー.....	35
フォルダの作成.....	34
フォルダのブックマーク登録.....	36
複数画像の一括処理	
カスタムホワイトバランス.....	58
転送.....	60
ファイル名変更.....	61
変換／保存（バッチ処理）.....	59、87
レシピデータ.....	56
複数画像の一括転送.....	60
複数画像の一括ファイル名変更.....	61
複数画像の一括変換／保存（バッチ処理）.....	59
ブックマーク.....	36
プリンターの色設定（プロファイル設定）.....	53、54
プリント.....	→印刷
ヘルプ.....	1
編集.....	→調整
編集画面.....	9、82
編集前後比較表示.....	38
編集をやり直す.....	28、75

保存	
JPEG 画像、TIFF 画像に変換して保存.....	29、86
切り抜き（トリミング）やゴミ消した画像の保存.....	76
動作モード.....	50
複数画像の一括変換／保存（バッチ処理）.....	59、87
レシピを付けて保存.....	11、28、76
ホワイトバランス.....	22
ま	
マーク（画像枠表示内容）.....	81
マッチング方法.....	89
Easy-PhotoPrint で印刷する時のマッチング方法.....	53、54
メイン画面.....	8、80
モニターの色設定（プロファイル設定）.....	53
モノクロ.....	21
調色.....	21
フィルター効果.....	21
ら	
リネーム画面.....	61
リペア（手動ゴミ消し）.....	44、73
レシピ.....	88
レシピデータ.....	56
レシピのコピーとペースト（適用）.....	57
レシピの保存.....	57
レシピの読み込みとペースト（適用）.....	57
レシピのコピーとペースト（適用）.....	57
レシピの保存.....	57
レシピの読み込みとペースト（適用）.....	57
レシピを付けて保存.....	11、28、76

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

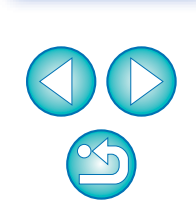
3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引



この使用説明書について

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ソフトウェアの仕様および、本書の内容を予告なく変更することがあります。
- 本書に掲載しているソフトウェアの画面や表示文言は、実際のソフトウェアと微小に相違することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一、誤りや記載もれなど、お気付きの点がありましたら、別紙のサービス窓口までご連絡ください。
- ソフトウェアを運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

登録商標について

- iBook および iMac、QuickTime は、米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Macintosh および PowerBook、Power Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe、Photoshop は、アドビシステムズ社の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

DPP を活用するためのホームページをご用意しています

<http://cweb.canon.jp/camera/workflow/index.html>

はじめに

やりたいこと
目次

1
基本操作

2
応用操作

3
高度な機能

4
大量の画像を
扱う機能

5
JPEG
画像編集

資料

索引

